

# NPO活動事業報告書

令和2年度



政策経営部 あだち未来支援室

協働・協創推進課

令和4年 3月

## 「NPO活動事業報告書」発行にあたって

足立区NPO活動支援センター（以下、「センター」という。）は、地域貢献を目指すNPO法人および任意団体等への支援と育成を行い、地域社会の活性化を図ることを目的に、平成15年6月に設置された施設です。

令和3年9月現在登録団体は211団体となり、センターを中心に、福祉・健康・子育て分野に104団体、教育・文化・芸術・スポーツ分野に58団体、まちづくり・環境分野に25団体、平和・人権・国際交流分野に11団体、その他13団体が区内各地で活動しています。

センターでは、「NPO団体の育成と活動支援」、「地域活動人材の発掘と育成」を目指し、「団体活動への支援やアドバイス」、「団体間連携のコーディネート」、「人材の発掘・育成」を3本の柱として、柱1「センター登録団体向け講座」、「相談業務」、「子ども食堂・フードパントリー団体への食品支援」、「情報発信」柱2「意見交流会」、「イベント開催」柱3「あだち皆援隊講座」の6つの事業を行っています。

令和2年度のNPO団体運営は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴い、「イベント等の自粛要請による活動の休止」、「収益活動の休止による資金不足」、「NPO活動を維持していくための活動人員の不足」など、大きな影響を受けました。一方、コロナ禍により収入が減少し経済的に困窮する世帯に対し、食の支援を始める団体も増えるなど、NPOの活動領域に広がりが見えました。

また、オンラインによるイベントや相談など、ICTを活用する取り組みを始める団体も増え、コロナ禍の「新しい生活様式」を取り入れる流れは、NPOの活動にも影響をもたらしています。

本報告書では、令和2年度にセンターが取り組んだこれらのNPO活動支援事業の概要や実績についてお知らせするとともに、令和2年度「足立区公益活動実態調査」(※)から見てきた課題を分析し、今後のNPO活動支援の方向性をお示しします。

(※) NPO活動団体等の現状や課題、行政の団体支援に対するニーズを把握するため隔年で実施しているアンケート調査

### 本文中の活動団体等に関する表記について

- NPO法人・・・都道府県及び政令指定都市で「特定非営利活動法人」と認証された団体
- 任意団体・・・法人格を持たない公益活動団体
- その他・・・一般社団法人、社会福祉法人、公益財団法人
- 登録団体・・・足立区NPO活動支援センターに登録している「NPO法人」「任意団体」「その他」

## 目 次

1	令和2年度の団体登録状況	1
2	柱ごとの事業実績等	
(1)	柱1「団体活動への支援やアドバイス」	2
(2)	柱2「団体間連携のコーディネート」	10
(3)	柱3「人材の発掘・育成」	14
3	令和2年度「公益活動実態調査」に基づく今後の対応方針	
(1)	調査の概要	16
(2)	調査結果から見えてきた課題	16
4	まとめ	
(1)	コロナ禍におけるNPO活動の変容	30
(2)	NPO活動支援の今後の方向性	31
(3)	NPO支援活動の評価と見直し	32

## 資 料 編

1	NPO活動支援センター登録団体および施設利用について	33
2	NPO法人認証の推移	37
3	足立区に事務所のあるNPO法人の活動分野	39
4	NPO活動支援センター登録団体一覧	40
5	NPO活動支援センター令和2年度実績一覧	53
6	令和2年度「足立区公益活動実態調査」調査結果	60

# NPO活動支援センター 事業体系図

## NPO活動支援センター

### 柱1 団体活動への支援やアドバイス

#### ア センター登録団体向け講座

掲載：2ページ 資料編：53ページ

#### イ 相談業務

掲載：3ページ 資料編：55ページ

#### ウ 子ども食堂・フードパントリー団体への食品支援

掲載：5ページ 資料編：56ページ

#### エ 情報発信

掲載：6ページ

### 柱2 団体間連携のコーディネート

#### ア 意見交流会

掲載：10ページ 資料編：57ページ

#### イ イベント開催

掲載：11ページ

### 柱3 人材の発掘・育成

#### ア あだち皆援隊講座

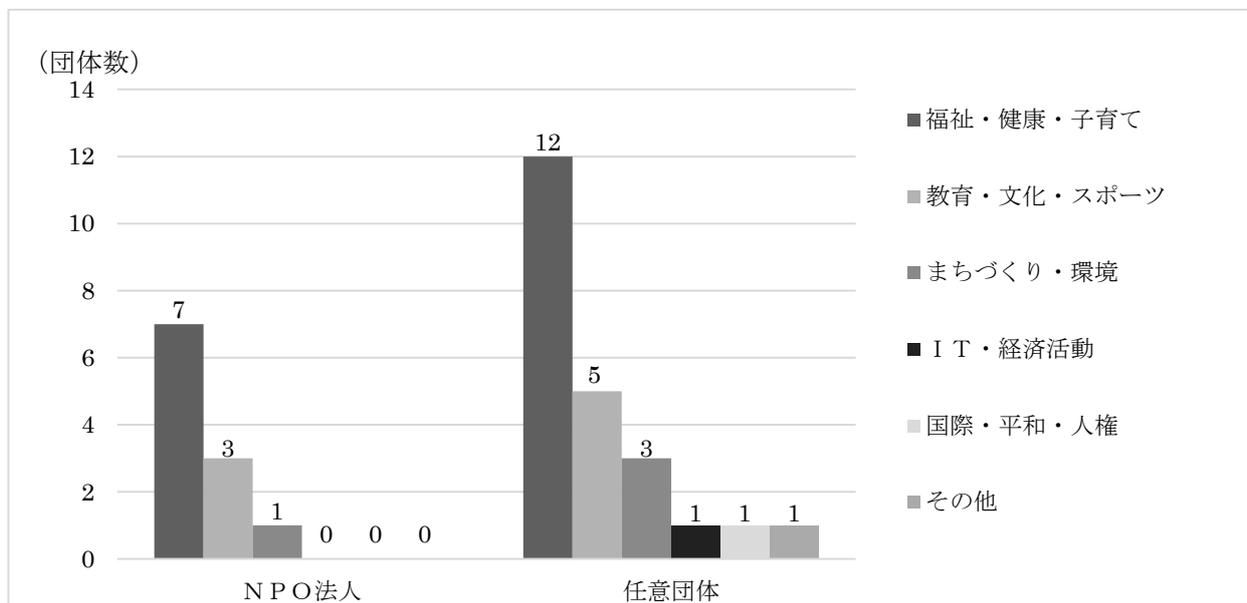
掲載：14ページ 資料編：58ページ

## 1 令和2年度の団体登録状況

令和2年度の登録団体総数は191団体、うち新規団体は34団体だった。

内訳は、コロナ禍で急速に広まりを見せた子ども食堂やフードパントリーの活動団体が増加し10団体となったことで、「福祉・健康・子育て」分野が19団体と最も多くなっている。また、分野別で2番目に多い「教育・文化・スポーツ」では、外国にルーツを持つ子どもの学習支援やプログラミングの学習支援、放課後学童保育などを主な事業とする団体が8団体中5団体と多く、子どもたちの学習や体験活動の機会を提供する活動を始めた団体が多いことがわかる。このように、コロナ禍の中で主に子どもを対象とした活動を開始する団体が増加した。

### 【令和2年度新規登録34団体の分野別内訳】



全登録団体の分野別内訳は資料編33ページに掲載

## 2 柱ごとの事業実績等

### (1) 柱1「団体活動への支援やアドバイス」

#### ア センター登録団体向け講座 【資料編53ページ参照】

##### (ア) 取り組みの状況

センター登録団体向け講座は、運営・助成金獲得・広報等、団体運営のサポートを目的として実施している。

令和2年度は、オンライン活用の支援に重点を置いたテーマで実施した。年間計画では13講座の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症対策により4講座を中止とした。また、9講座中7講座はZoomやYouTubeを活用し、オンラインで実施した。

##### (イ) 取り組みの成果

- ・ YouTube や Zoom などのオンラインツールの使い方、活動への活かし方を学ぶ講座を開催し、コロナ禍での団体総会やイベント開催等、団体活動の新たな実施方法の提案と支援をすることができた。
- ・ コロナ禍における団体運営の強化及び活動の継続を図ることを目的とし、オンラインを活用した活動方法に重点を置いたテーマで実施した結果、Web会議システムを用いて団体総会やイベントを行うなど、団体活動のオンライン化が進んだ。

##### (ウ) 見えてきた課題

- ・ ICTを活用できず、活動休止や解散する団体も存在した。
- ・ 初心者向けのYouTubeの使い方講座を開催したが、座学が中心であったため、「実際にワークをして学ぶことのできる内容だと良い」という声もあり、内容に課題が残った。

##### (エ) 事業改善の方向性

- ・ コロナ禍においてICT活用の格差が広がっているため、初級編、上級編など受講者のレベルに応じた講座を開催していく。
- ・ YouTube や Zoom などのオンラインツールを学ぶ講座を実施する際は、座学ではなく、実際に操作し体験してもらう内容で企画していく。

## イ 相談業務 【資料編55ページ参照】

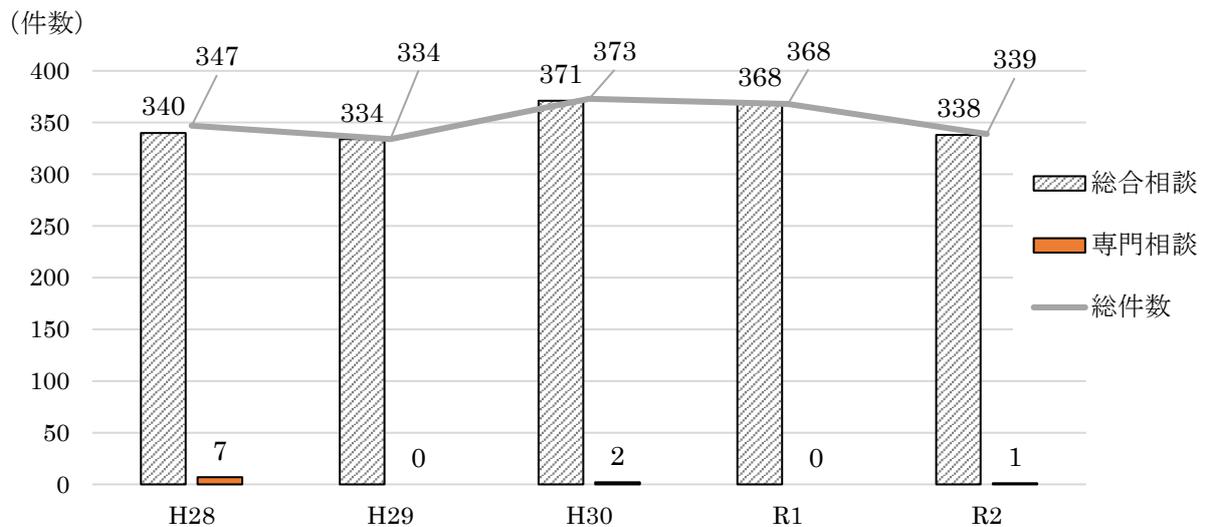
### (ア) 取り組みの状況

センターでは、登録団体および「NPO活動を始めてみたい」という思いを持った区民からの相談に随時受け付けている。令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、令和2年4月、5月が休館となったが、メールやWeb会議システムを活用し相談業務を継続した。

総合相談と専門相談の2部門を設け、団体や区民の方からの様々な相談に応じている。登録団体からの相談は主に定款改正や広報など団体運営関連、助成金申請、会計処理に関することが多く、登録団体以外からの相談は、主にNPO法人・任意団体設立やNPO団体の紹介などである。

<b>総合相談</b>	NPO法人の活動及び団体の事業運営等についてのノウハウを持つ相談スタッフが対応する。
<b>専門相談</b>	会計・税務、人事・労務、経営など専門性の高い相談に対し、税理士等の専門の資格を持った専門相談員が対応する。

### 【相談件数の推移】



年度	総合相談	専門相談	総件数
H28	340	7	347
H29	334	0	334
H30	371	2	373
R1	368	0	368
R2	338	1	339

**(イ) 取り組みの成果**

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、4月1日から5月31日まで休館となり、団体活動が縮小してアウトリーチ相談が実施できなかったが、Web会議システムや電話、メールを活用した相談業務を展開して、コロナ禍でのNPO活動を支援することができた。
- ・ 書面決議による総会やオンラインを活用した会議の開催方法など、団体活動に合わせた支援を行うことができた。
- ・ 活動資金の不足に対応するため、持続化給付金の申請やコロナ禍での活動を支援する助成金の活用を促すことができた。

**(ウ) 見えてきた課題**

- ・ 令和元年度の事業報告書において掲げた「イベント出展時の出張相談や団体活動場所への出前相談の実施」については、新型コロナウイルス感染症対策のため、対面での相談業務は実施することができなかった。

**(エ) 事業改善の方向性**

- ・ ウィズコロナでの支援を前提に、対面とオンラインを団体の要望や状況に応じて使い分け、細やかな相談業務を実施していく。
- ・ 団体の拠点や活動場所へ出向いてアウトリーチ相談を実施し、団体の活動状況と要望に応じた相談業務を展開していく。
- ・ 国や民間の助成金の情報を周知するとともに、区が実施する「公益活動げんき応援事業助成金」の利便性向上を図り、活用を促進していく。

## ウ 子ども食堂、フードパントリー団体への食品支援 【資料編56ページ参照】

### (ア) 取り組みの状況

センターでは、区民の方や企業等から提供を受けた物品・食品の一時保管、配付を希望する登録団体へのマッチング、受け渡しを行っている。主に子ども食堂など、食の提供事業を行う団体へ提供し、約15のセンター登録団体が活用している。

令和元年度と比べ、毎月提供数が決まっている米などを除くと、「青森県農家」のりんごが約200個、「株式会社ハリカエ」の鶏肉が約800キロ、「フードドライブ」のインスタント食品、缶詰等が約200個、提供数が増加した。また、「カルビー株式会社」「株式会社享屋」「東京東信用金庫」「ロート製薬株式会社」の企業4社が新たな提供元となった。

また、令和2年度は、フードパントリーが区民へ食品を配布しやすいよう、年度途中で「株式会社農友」のいろは米を5キロ袋から2キロ袋に変更して提供するなどの工夫をした。

### (イ) 取り組みの成果

- ・ 令和元年度よりも多くの食品提供元にご協力いただいたことで、活動が活発化した子ども食堂やフードパントリー関連団体に食品を提供することができた。
- ・ 企業から、売り物として適さないとされた食品（大きさが不揃いであるものや欠けているものなど）の寄附があり、関連団体に提供したことで、食品ロスの削減につなげることができた。

### (ウ) 見えてきた課題

- ・ 食品提供の数量増加や多様化が進み、保管設備や配送手段の確保が課題となっている。
- ・ 提供物品を有効に活用するため、活動団体同士の情報共有と連携を強化していく必要がある。

### (エ) 事業改善の方向性

- ・ 子ども食堂、フードパントリーなど、コロナ禍での食を支援する活動団体が連携を深める場として「子どもの未来プラットフォーム交流会」を開催し、企業や団体間のマッチングを進めていく。
- ・ 食品保管場所や配送手段を各団体で共有する仕組みづくりに取り組んでいく。
- ・ SDGsの推進に取り組む企業等と連携してフードドライブに取り組むなど、恒常的な食品の提供に努め、NPOによる食の支援活動を支えていく。
- ・ 区の災害備蓄品（生理用品・おむつ・アルファ米・水）の再活用を、食の支援をはじめとしたNPO団体へマッチングする仕組みを構築していく。

エ 情報発信

(ア) 取り組みの状況

a A-PARTNERS

「A-PARTNERS」は、平成22年度に区内NPOの認知度向上を目的として創刊した情報紙である。令和2年度はデザインを一新し、「NPOをより身近に感じることができる情報紙」をコンセプトに、登録団体の「NPO団体を立ち上げたきっかけ」や「活動への想い」などを取材した。

最新号は足立区公式ホームページ、バックナンバーはあだち協働パートナーサイトで閲覧できる。また、図書館や住区センターなどの区内公共施設のほか、区内駅スタンド、NPO活動支援センター近隣小学校、スーパー、飲食店等、区内全域の設置協力店で配布している。

【A-PARTNERS】

 <p>【 No. 30 】</p>	 <p>【 No. 31 】</p>	 <p>【 No. 32 】</p>	 <p>【 No. 33 】</p>
<p>特集：女性のキャリアと地域活動</p>	<p>特集：子どもを中心に地域を創る</p>	<p>特集：アクティブシニアの最前線</p>	<p>特集：カラフルな表現つながる心</p>

【A-PARTNERS 発行部数7,000部】

号数	発行日	配布先
No. 30	令和2年 6月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区内公共施設 (図書館、住区センター等)</li> <li>・ 区内駅スタンド</li> <li>・ 区内小学校 (梅島、梅島第二、亀田、弥生)</li> <li>・ 区内設置協力店 (スーパー、飲食店、病院等)</li> </ul>
No. 31	令和2年 9月15日	
No. 32	令和2年12月15日	
No. 33	令和3年 3月15日	

## b 機関紙「あだちの轍」の発行

登録団体向けの情報紙「あだちの轍(わだち)」を隔月で発行した。主な内容は、専門相談員による団体運営に関する助言、NPO活動支援センターの実施事業報告、区および他機関の助成金情報である。

### 【あだちの轍 発行部数200部】

号数	発行日	配布先
6・7月号	令和2年 5月31日	・ 足立区NPO活動支援センター全登録団体
8・9月号	令和2年 7月31日	
10・11月号	令和2年 9月31日	
12・1月号	令和2年11月30日	
2・3月号	令和3年 1月30日	

## c メールマガジンの配信

月1回のペースで登録団体のイベントやボランティア募集情報、助成金情報、センター主催事業などを情報発信しており、令和2度末の登録者数は706人。

## d SNSを活用した情報発信

Twitterや、令和2年度から新たに開設したFacebookを活用し、登録団体のイベント情報や活動報告、センター主催の講座情報や実績報告などを発信している。

あだちNPOフェスティバル2020では「#あだちNフェス」というハッシュタグをつけ、区内で活動するNPO団体の周知に力を入れた。

## e あだち協働パートナーサイト <<URL : <http://adachi-kyodo.genki365.net/>>>

あだち協働パートナーサイトは、区内のNPO法人・任意団体など公益活動団体の紹介及び活動内容についての情報発信ツールである。協働に関する区からの情報や助成事業紹介、NPO活動支援センターの事業案内、その他団体の事業・イベント紹介等を区民へ情報提供している。

デザイン性・利便性の低下など、サイトの老朽化に伴い、令和3年4月に利便性・操作性の向上等を目的にリニューアルして活用を進めている。

### 【あだち協働パートナーサイト利用団体（ID付与）数】

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
ID付与数	80	89	121	121	121

(平成22年7月サービス開始)

【あだち協働パートナーサイト】

・リニューアル前



・リニューアル後



主な改善点

- ・ 「マルチデバイス対応」「全ページの暗号化通信」「やさしい日本語対応」など、現在の市場に適合した仕様に変更した。
- ・ リニューアル前のトップページ検索タブが「教育」「スポーツ」「シニアライフ」など15項目あり、どの団体のどのような情報がどこに載っているのかわかりにくいつくりとなっていた。リニューアル後は「団体を探す」「イベントを探す」「活動報告を見る」など、目的別の検索タブをつくることで、求めている情報にたどり着きやすいつくりとした。
- ・ イベントの条件絞り込みによる検索機能がなかったため、対象年齢や開催日で絞り込んで検索できる機能を追加した。
- ・ 各団体が公開した記事の修正を一括してセンターが行っていたが、大部分の修正を各団体で個別に対応できるようになった。

**(イ) 取り組みの成果**

- ・ Facebookアカウントの開設や情報紙「A - PARTNERS」のリニューアル、登録団体の紹介動画をYouTubeで配信するなど、様々な媒体を活用して情報発信を進めることができた。
- ・ 令和元年度の事業報告書において掲げた「情報紙の内容充実、SNSの活用、協働パートナーサイトの改修等、情報発信の強化」については、全て実施できた。

**(ウ) 見えてきた課題**

- ・ SNSの発信回数と内容の改善が必要であり、特に掲載内容はセンター講座周知がメインとなっており、偏りが見られた。
- ・ 電子媒体と紙媒体の特性を活かした効果的な活動の周知が必要である。

**(エ) 事務改善の方向性**

- ・ SNSの発信回数を増やし定期的な発信に繋げるとともに、NPO団体の活動やセンター事業の周知等、講座周知にとどまらない新たな参画に結び付く情報を分かりやすく発信していく。
- ・ 講座、イベントの参加者アンケートにより、参加のきっかけとなった情報元（チラシ・あだち広報・SNSなど）を分析し、世代別・目的別に、最も情報が届きやすい効果的な発信手法を選定し、重点的に展開していく
- ・ 登録団体の紹介冊子を発行し、住区センター・図書館・小中学校・区民事務所等に配布して、NPO団体およびNPO活動の認知度を高めていく。
- ・ 現在紙ベースで集約している団体情報をデータベース化し、あだち協働パートナーサイト等で広く公開していく。
- ・ 学生ボランティアの参加を促進する情報発信（ボランティア啓発ポスターの掲示・大学生のNPO活動をSNSで発信等）を大学連携担当と連携して実施していく。

## (2) 柱2「団体間連携のコーディネート」

### ア 意見交流会 【資料編57ページ参照】

#### (ア) 取り組みの状況

主に登録団体を対象に、活動上の課題や地域課題の共有、団体間の交流等を目的に実施している。区民や社会福祉協議会など関係機関からの参加もあり、様々な立場からの意見が積極的に交わされる場となっている。

令和2年度は、コロナ禍における活動方法の検討や新たに出てきた課題、悩みを共有する場として実施した。年間計画では11回の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症対策により6回を中止とした。

#### (イ) 取り組みの成果

- ・ コロナ禍での活動に重点を置いた団体間の情報交換・共有の場として実施した結果、コロナ禍でつながりが希薄になった団体間のネットワークづくりを支援することができた。
- ・ コロナ禍で出てきた子どもの食の支援などの地域課題や、コロナ対策を行いながらの事業実施などについて意見を交わす場として活用できた。
- ・ 皆援隊講座との連動企画として、「女性視点の防災について考えよう」、「子ども食堂サミット」を実施した結果、例年区民の参加が0～1名程度のところ、平均2～3名増加した。区民の参加が増えたことで、団体が地域の意見を直接聞く場とすることができ、団体の活動に活かしていける取り組みとなった。

#### (ウ) 見えてきた課題

- ・ グループごとに話し合いの時間を設定していたが、最後にグループ間の情報共有の時間が設けられていないことがあったため、「他のグループの話も聞きたい」という意見があった。また、「他団体の情報を聞く時間がもっと欲しい」という意見もあった。

#### (エ) 事業改善の方向性

- ・ コロナ禍で生まれたネットワークの維持と拡大を図るため、センターが仲介となり、団体同士をつなぐための交流会を継続開催していく。
- ・ グループワーク後の情報共有や団体間の情報交換の時間をしっかり設けていく。

## イ イベント開催について

### (ア) 取り組みの状況

#### a あだちNPOフェスティバル

あだちNPOフェスティバルは、NPO活動団体と区民の交流の場、NPO活動の周知啓発事業として毎年開催しているイベントである。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、会場だけではなく、YouTubeでの生配信やJ:COM足立と連携した番組放送を行い、開催した。『あだちでつながる、あなたがつながる』をテーマに掲げ、区民が気軽にNPO活動に触れられる機会を創出し、区民と団体の交流の場とすることができた。また、多くの登録団体が久しぶりに顔を合わせ、コロナ禍における活動の情報交換をする場としても活用できた。

#### (a) 日時

令和2年10月31日(土) 10:30~16:00

#### (b) 場所

区役所庁舎ホール、ホワイエ、アトリウム

#### (c) 周知方法

あだち広報、区SNS、ポスター掲示、  
チラシ配布、J:COM足立CM

#### (d) 内容

**第1部 生トークセッション** (定員50名)

テーマ: あだちを支えるパワーの源「あだちのチカラ」を語りつくす

参加方法: 会場、YouTube生配信、J:COM足立生放送

ゲスト: 木曾さんちゅう氏<司会>、スマイリーキクチ氏<タレント>

村上純氏(しずる)<お笑い芸人>、吉満明子氏<出版社代表>

**第2部 ①リモート講演会** (定員A・B各25名) ※ひとつを選択

テーマ: A「超絶まちづくり～イノベーターの思考回路～」

B「コロナ禍のNPO活動～課題と可能性～」

参加方法: 会場、YouTube生配信

講師: A 谷中修吾氏<一般社団法人地方創生イノベータープラットフォーム INSPIRE 代表理事>

B 関口宏聡氏<認定NPO法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会 代表理事>

**第2部 ②交流会** ※ひとつを選択

テーマ: A1「自分の楽しみを地域活動に活かすには」

A2「リアルとオンラインを融合させた地域活動」

B1「コロナ禍で足立区に必要な活動を考える」

B2「NPOのつながりが生み出す可能性とは」

参加方法: 会場

#### (e) 参加者数

会場: 延べ145人/YouTube再生回数: 約2,700回

(令和元年度来場者数 約3,000人)



◇ フェスティバルの様子 ◇



第1部 生トークセッション（庁舎ホール）



第2部 リモート講演会（ホワイエ）



第2部 交流会（ホワイエ）



団体紹介コーナー（アトリウム）

**b イベント出展等**

平成30年度からNPO活動の周知および登録団体の活動発表を目的とした、「NPO夏まつり」「NPO冬まつり」を開催しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため中止とした。

また、NPO活動の周知・啓発を目的として、毎年「千本桜まつり」や「区民まつり」などの区内イベントに登録団体が2～3団体出展しているが、令和2年度はイベントが中止となったため、イベント出展等の事業は実施できなかった。

**(イ) 取り組みの成果**

- ・ 「あだちNPOフェスティバル」第2部リモート講演会では、庁舎ホールでのオンライン接続環境が一部不安定となったが、アーカイブ配信でフォローすることができた。

**(ウ) 見えてきた課題**

- ・ 「あだちNPOフェスティバル」第1部では、足立区の地域活動をテーマにした、著名人によるトークセッションをJ:COM足立の番組として制作し、区内NPO活動を広く周知することができたが、番組視聴者数がカウントできない等の課題があった。

**(エ) 事業改善の方向性**

- ・ 「あだちNPOフェスティバル」の内容が、「NPO活動を知っていただき、活動の参加へとつなげる」といった開催目的に寄与する内容となっているか、イベントの参加団体や参加者へのアンケート調査を実施し把握する。また、イベントに対する改善策等も抽出できる様に調査項目を検討し、効果的な実施内容となる様に適宜見直しを進めていく。
- ・ 「あだちNPOフェスティバル」の中で、団体活動の体験型ワークショップや1日活動体験など、各団体の活動を実体験できる仕組みを検討する。
- ・ 各団体が活動の分野を超え、「活動の周知や人材の確保」といった同じ目的を持った「あだちNPOフェスティバル」を共催することで、団体間の交流を深め、情報交換や事業連携を進めていく「きっかけの場」としていく。

### (3) 柱3「人材の発掘・育成」

#### ア あだち皆援隊講座について 【資料編58ページ参照】

##### (ア) 取り組みの状況

「あだち皆援隊講座」は受講生が地域活動に参加する起因となる内容で企画している。令和2年度の参加者数は321名で、そのうち166名が講座受講修了後に、既存のNPO法人やボランティア団体等への参加や、新たに団体を設立するなど、地域活動の担い手となっている。

##### (イ) 取り組みの成果

- ・ 「カードゲーム de SDGs体験」、「レゴ®でコミュニUP！レゴ®・シリアス・プレイ®体験」、「住みたいあだちをみんなで語るまちづくりワークショップ」などのゲームを用いた体験型の企画は、小学生から70代の方の参加があり、幅広い年代の方にNPOを知っていただくことができた。
- ・ 令和2年度に大きな広がりを見せた子ども食堂の現状や今後の活動について考える「あだち子ども食堂フォーラム」は、団体には活動のヒントを得てもらう場として、区民には区内で活動する子ども食堂団体を知ってもらうきっかけの場として、多くの方に参加していただくことができた。
- ・ 具体的な活動に結び付く機会の増大を目指し、区内の様々なNPO活動を紹介した。講義形式のみではなく、ワークショップや体験を多く取り入れたことで「地域課題をゲームで考えることができ楽しかった」といった声が多く聞かれ、参加者の満足度が高かったことがうかがえる。
- ・ 令和元年度の事業報告書において掲げた「アクセスの良い学習センターなどの区内施設を会場とするアウトリーチ講座の実施」については、梅田地域学習センター（4回）、ギャラクシティ（3回）、シアター1010（2回）など駅から近い会場を多く設定し、参加者からは「アクセスが良い会場だと参加しやすく良い」という声が聞かれた。

##### (ウ) 見えてきた課題

- ・ 受講生の約半数を、地域活動の参加につなげることができなかった。体験から実践につなげる工夫が必要である。
- ・ 3時間講座や午前午後の2部制の講座など、実施時間が長い場合、集中力の問題や託児の関係などで参加しにくいという声が多く聞かれた。

**(エ) 事業改善の方向性**

- ・ 受講生に実施しているアンケート調査から地域活動への不参加の理由を発掘して課題を抽出する。そのうえで、体験から実践につなげる工夫を検証・実施する。
- ・ 区民ライター講座など参加者を地域活動の実践者に育成していくための講座は、複数回の連続講座として重点的に開催し、講座終了後に、参加者と既存の団体とのマッチングや団体設立の支援を行うことで、地域活動の参加につなげていく。
- ・ 子ども食堂フォーラムの参加者など、地域活動に興味を持っている方をNPO団体とマッチングし、団体の活動体験などをセンターがコーディネートすることで、NPOの活動者を育成していく。
- ・ 参加者が地域活動実践者となるためのスキルを学ぶワークショップやNPO活動を体験できる講座を開催し、地域活動の人材を発掘していく。
- ・ 受講生の集中力が途切れぬようにアイスブレイクや休憩時間を講義に挟み、ボリュームのある内容の場合は、連続講座として別日に講義を設定するなど参加者の立場にたった工夫を凝らしていく。

### 3 令和2年度「公益活動実態調査」に基づく今後の対応方針

#### (1) 調査の概要

区内のNPO活動団体等の現状や課題、行政の団体支援に対するニーズを把握することを目的に平成22年度から隔年で実施しており、調査結果については、団体の継続的な運営や活動の発展に寄与する支援事業の見直し等に活用している。

【調査項目】

- ア 団体の運営や活動に関する事項について
- イ 足立区NPO活動支援センターについて
- ウ コロナ禍におけるWeb会議システムの活用状況について
- エ 町会・自治会との繋がりについて

#### (2) 調査結果から見えてきた課題

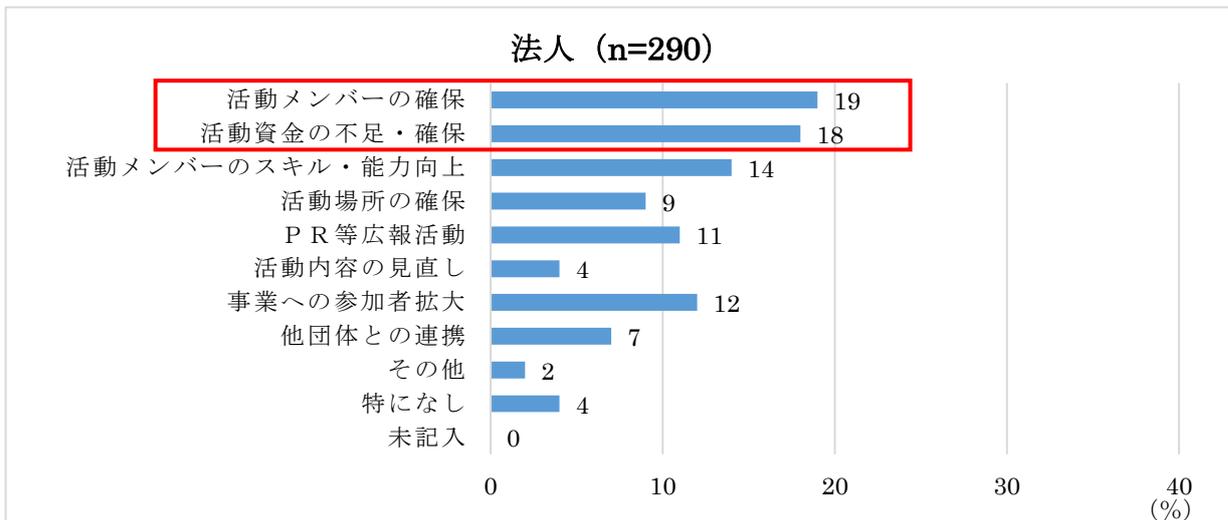
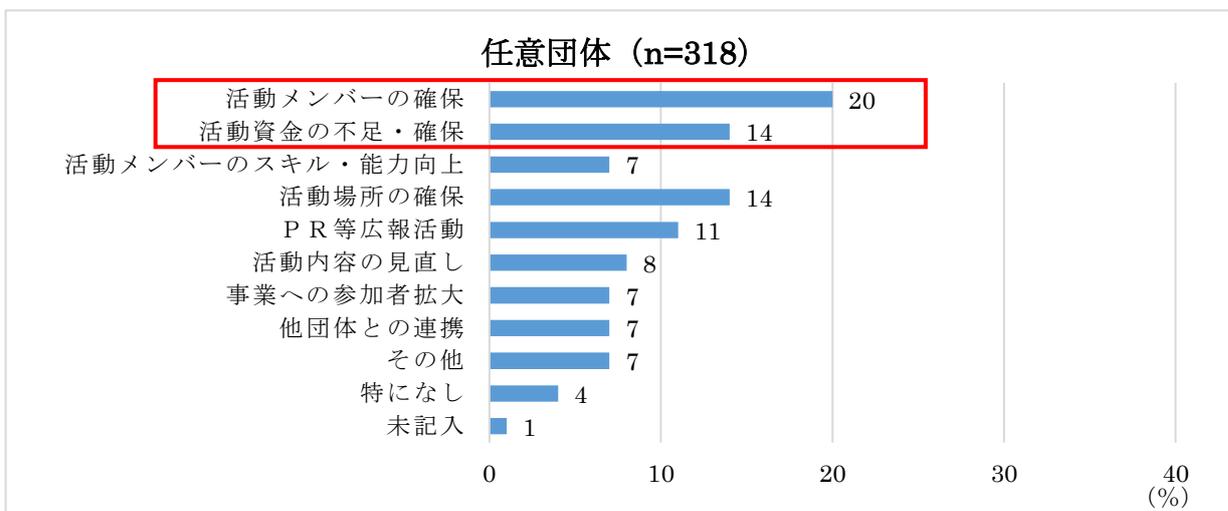
##### ア 団体の運営や活動に関する事項

##### (ア) 調査結果からみえてきたもの

<分析>

a 現在抱えている活動上の問題点や課題について（複数回答）

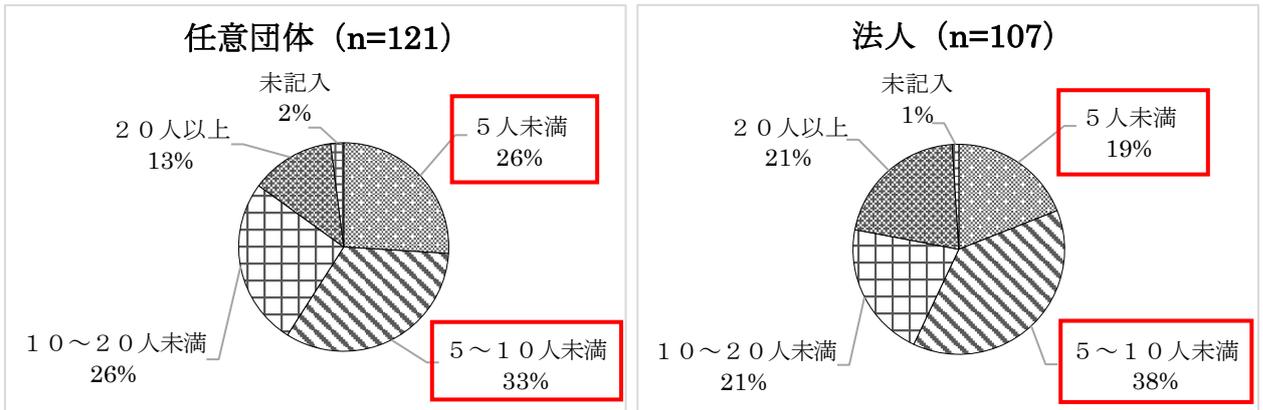
- ・ 活動メンバーの確保がトップ。次いで活動資金の不足・確保となっている。



【活動メンバー】

(a) 日頃の団体運営に関わるメンバーの人数について

- ・ 少人数の団体が多く、メンバーも高齢化している。



【メンバーの年代別構成】

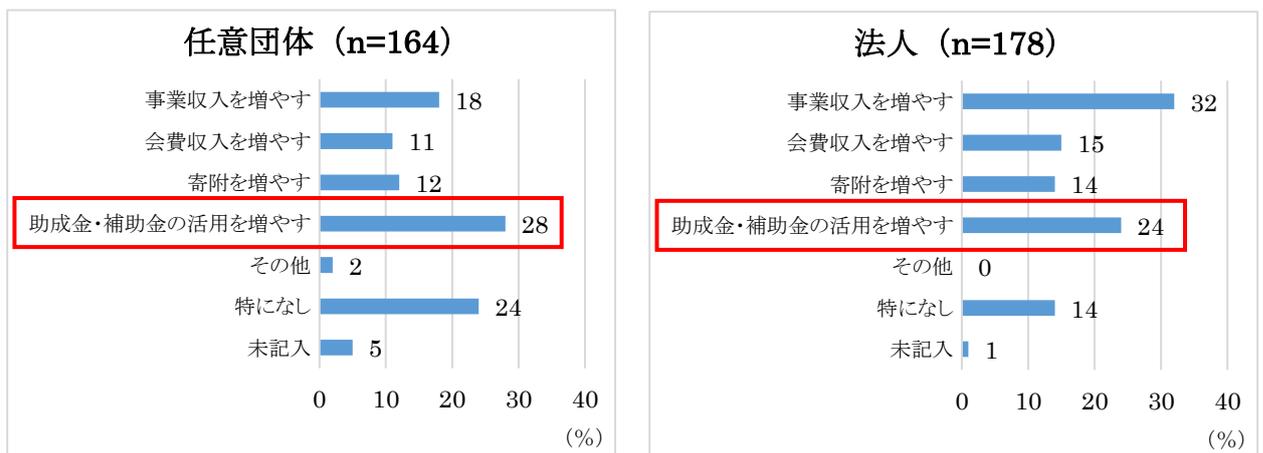
	全体人数 (割合)	任意団体 (割合)	法人 (割合)
20歳未満	82人 (3.1%)	43人 (3.7%)	39人 (2.6%)
20歳代	167人 (6.3%)	50人 (4.3%)	117人 (7.9%)
30歳代	326人 (12.3%)	109人 (9.3%)	217人 (14.6%)
40歳代	463人 (17.4%)	177人 (15.2%)	286人 (19.2%)
50歳代	505人 (19.0%)	170人 (14.6%)	335人 (22.5%)
60歳代	496人 (18.7%)	231人 (19.8%)	265人 (17.8%)
70歳代以上	616人 (23.2%)	386人 (33.1%)	230人 (15.4%)
合計	2,655人	1,166人	1,489人

※網掛け部分・・・各団体の最も多い年代層

【活動資金】

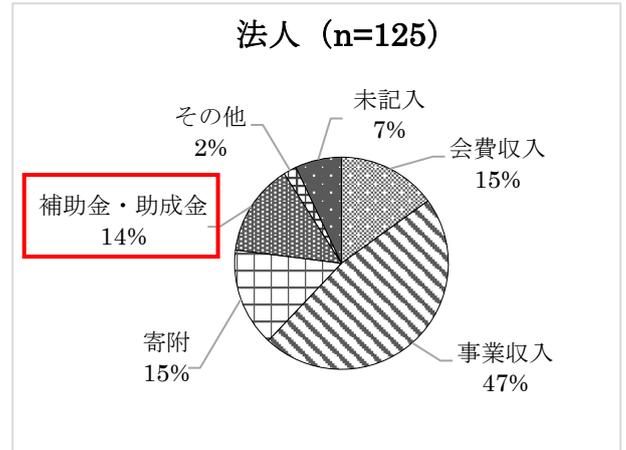
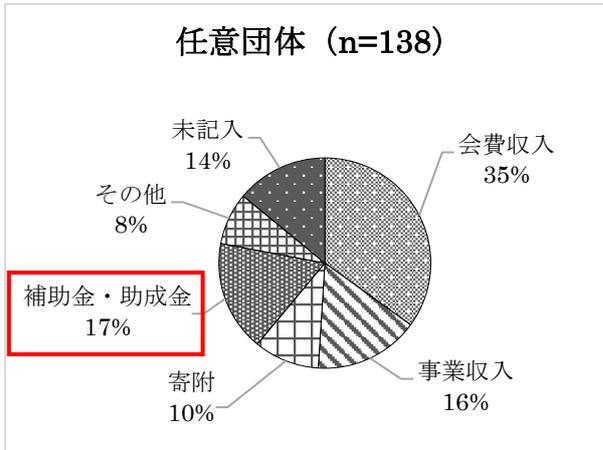
(b) 団体の資金調達に関する今後の方針について (複数回答)

- ・ 多くの団体が助成金・補助金の活用を検討している。



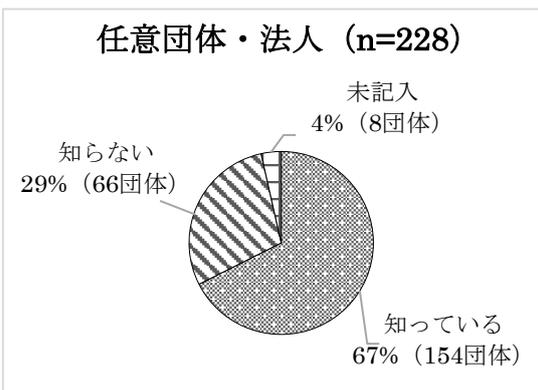
(c) 主な収入源について（複数回答） ※収入のある団体のみ

- ・ 補助金・助成金の活用が進んでいない。



(d) 「足立区公益活動げんき応援事業助成金」について

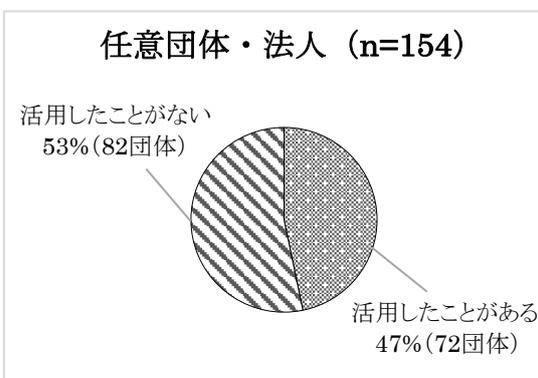
- ・ 多くの団体に認知されている。



回答内訳	全体	任意	法人
知っている	154	91	63
知らない	66	23	43
未記入	8	7	1
合計	228	121	107

(e) 「足立区公益活動げんき応援事業助成金」の活用について ※既知団体のみ

- ・ 認知度と実際の活用度にギャップがある。



回答内訳	全体	任意	法人
活用したことがある	72	45	27
活用したことがない	82	46	36
合計	154	91	63

## 「活用したことがない」と回答した理由（複数回答）

「活用したことがない」の理由	任意団体	法人
特に必要がない	15	8
申請手続きが面倒	11	11
対象となる事業がない	8	7
助成対象や時期など詳しい内容を知らない	3	8
申請時期が合わない	3	3
他の助成金を受ける予定があった	3	0
事業規模と助成金額が合わない	1	2
その他	11	8
未記入	2	2
合計	57	49

## (イ) 考察

## a 活動メンバー（特に若年層）の確保が急務

活動メンバーの人数は、10人未満が任意団体の59%、法人の57%を占めている一方、20人以上の規模は、全体のうち、任意団体が13%、法人が21%となっており、小規模の団体が多くなっている。年代別構成は、最も多い年代層は、任意団体、法人のいずれも60歳代以上(任意団体53%、法人33%)となっている。一方、20歳代以下は10%程度に留まっている。このことから、60歳代以上の高齢者が中心となって活動している状況であり、世代交代が進んでいないことが伺える。

また、活動上の課題としても、任意団体、法人ともに「活動メンバーの確保」が最も多くなっていることから、人材の確保（特に若年層）が急務であると考えられる。

## b 補助金・助成金の活用が進んでいない

主な収入源は、任意団体は会費収入、法人が事業収入となっているが、資金調達に関する今後の方針として「助成金・補助金の活用を増やす」と回答した団体は、任意団体は28%と最も多く、法人は「事業収入を増やす」に次ぐ24%と、多くの団体が活用を検討していることが伺える。

なお、「足立区公益活動げんき応援事業助成金」の認知度は67%となっているが、「助成金を活用したことがある」団体は47%に留まっている。また、「活用したことがない」と回答した理由として、「特に必要がない」を除き、「申請手続きが面倒」の回答が多いことから、申請手続きの簡素化を含め、活用しやすい助成金制度になるよう、早急な検討を行い、改善する必要がある。

### 3 令和2年度「公益活動実態調査」に基づく今後の対応方針

#### (ウ) 今後の対応方針

##### a 若年層を中心とした活動メンバーの発掘

若年層を地域活動参加に促すための啓発ポスターを作成し、区内高校や大学での掲示を進めていく。

また、総合ボランティアセンターや地域包括支援センターと連携し、若年層のNPO団体とのマッチングや、活動団体の設立を支援していく。

##### b 「足立区公益活動げんき応援事業助成金」の活用促進

任意団体や法人の財政面における自立を促しつつ、「足立区公益活動げんき応援事業助成金」が、団体の実情に即した助成金制度となるよう、申請書類や助成コースの見直しを進め、利便性の向上を図っていく。

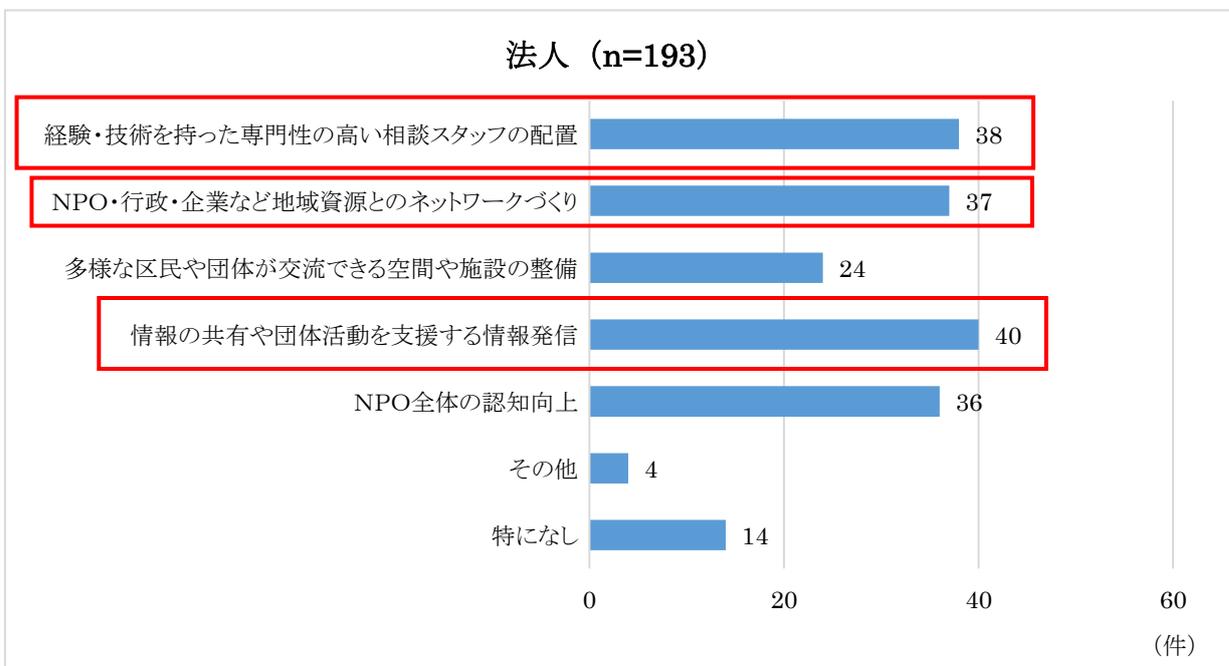
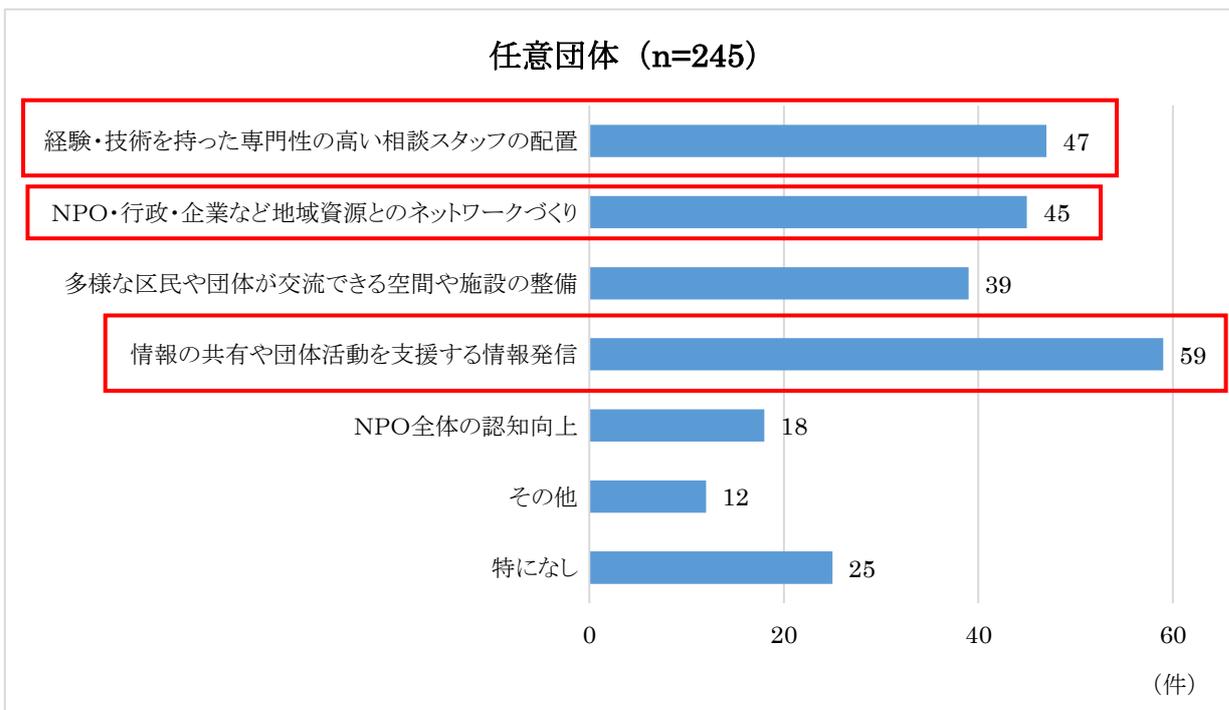
イ 足立区NPO活動支援センターについて

(ア) 調査結果からみえてきたもの

<分析>

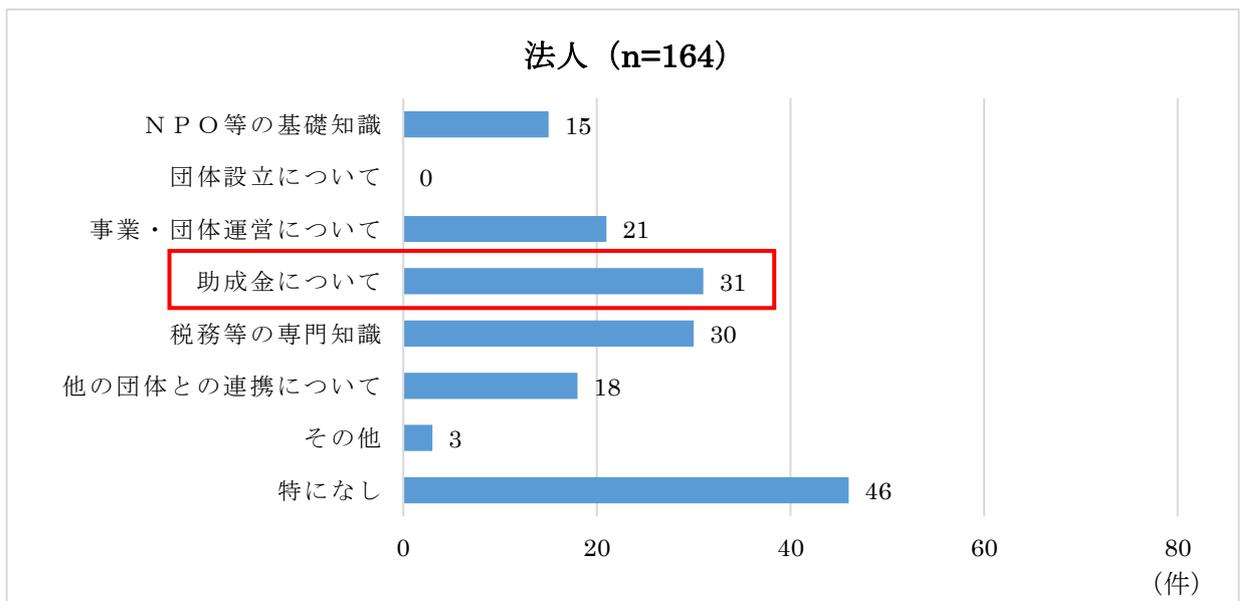
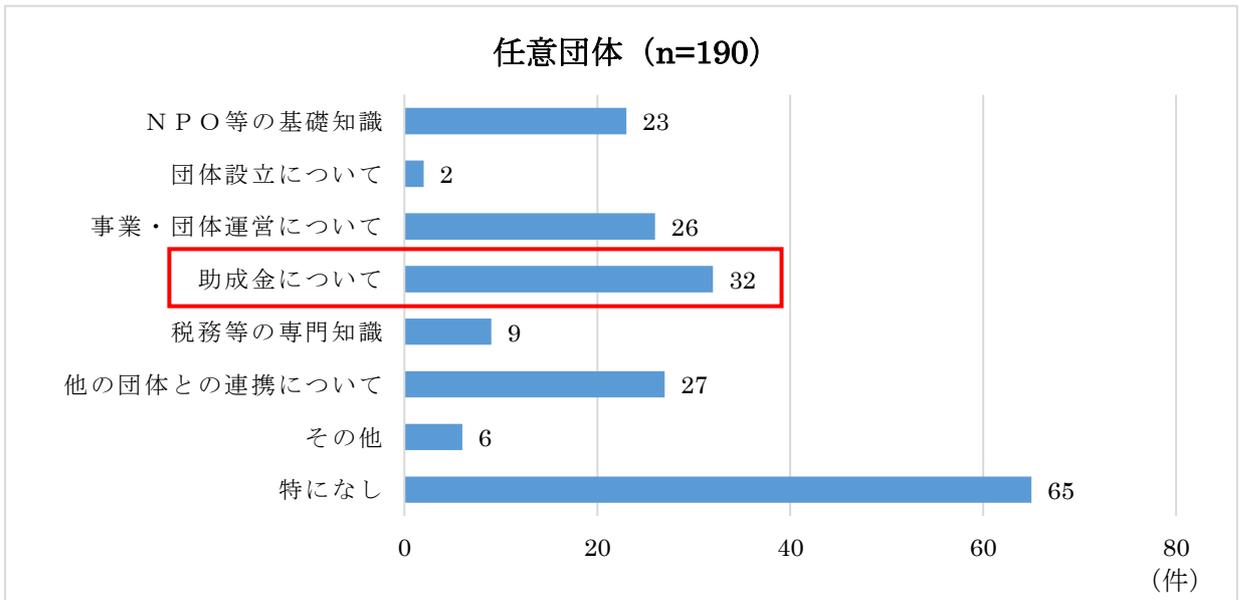
a センターに期待することについて（複数回答）

- ・ 情報の共有や団体支援の情報発信・専門性の高いスタッフによるNPO相談・地域資源とのネットワークづくりを期待されている。



**b センターに相談したい内容について（複数回答）**

- ・ 助成金情報に関する相談要望が多い。



**c センターへのご意見・ご要望 ※主なものを掲載**

- ・ 業務面だけでなく、施設面への要望もある。

**【業務面】**

- ・ 丁寧な支援や情報提供を受け、とても助かっています。
- ・ コロナ禍でもサポートして頂き、感謝しています。
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をしっかりと実施しており、安心して利用できました。
- ・ 団体設立の際だけでなく、その後も継続支援して頂きました。
- ・ 設備の使用について、感謝しています。
- ・ 今後オンラインセミナーを検討しているので、助言を頂きたい。
- ・ 専門性のある職員を配置して欲しい。
- ・ NPO活動やネットワークづくり等に詳しい職員を増やして欲しい。
- ・ 団体の紹介をして欲しい。
- ・ 足立区に必要な活動について、客観的な意見を頂きたい。

**【施設面】**

- ・ 50人収容可能な会議室を用意して欲しい。
- ・ 日曜日、月曜日、21時まで利用したい。
- ・ 障がいのある方でも利用しやすい施設にして欲しい。

**(イ) 考察****a 団体支援だけでなく、職員のスキルアップも期待されている**

任意団体、法人ともに、センターに期待することとして、「情報の共有や団体活動を支援する情報発信」の回答が最も多く、次いで「経験・技術を持った専門性の高い相談スタッフの配置」「NPO・行政・企業など地域資源とのネットワークづくり」の順となっており、相談したい内容としては、「助成金について」が最も多かった。

このことから、助成金情報をはじめとした情報発信・相談業務・ネットワークづくりの強化といった業務の面だけでなく、支援を実施するセンター職員のスキルアップも必要である。

**b 施設の開館に関する要望が多い**

開館日や開館時間に関する要望が多く、日曜日と月曜日の開館・開館時間の21時までの延長といった施設運営の面に対する改善が求められているため、業務の面と併せた両面から対応していく必要がある。

**(ウ) 今後の対応方針**

**a 期待・要望に応えることができる職員の配置及び育成**

団体からの期待に応えるべく、特に要望の多い、NPO活動団体が活用できる国や都区、民間団体による助成金情報等を重点的に、メールマガジンやあだち協働パートナーサイト<sup>※1</sup>を活用して発信する。

また、専門機関での研修等により職員がスキルアップ<sup>※2</sup>を図ることに加え、要望の多い分野に長ける相談員の配置を検討する等、相談業務の強化を進める。

※1 センターが管理運営しているサイトで、足立区を中心に活動しているNPOをはじめ、ボランティア団体や区民活動団体が登録し、団体の活動報告やイベント告知、会員募集などの情報を発信している。

※2 登録団体へのアンケートでNPO相談の「満足度」を調査し、職員のNPO支援スキルの習熟度を検証する。

**b 施設の利便性向上**

開館日等、施設自体の利便性の向上を図り、より利用しやすい施設になるよう改善する（令和3年4月1日より、開館日に日曜日を追加・開館時間の21時30分までの延長を実施した）。

ウ コロナ禍におけるWeb会議システム（以下、システム）の活用状況について

(ア) 調査結果からみえてきたもの

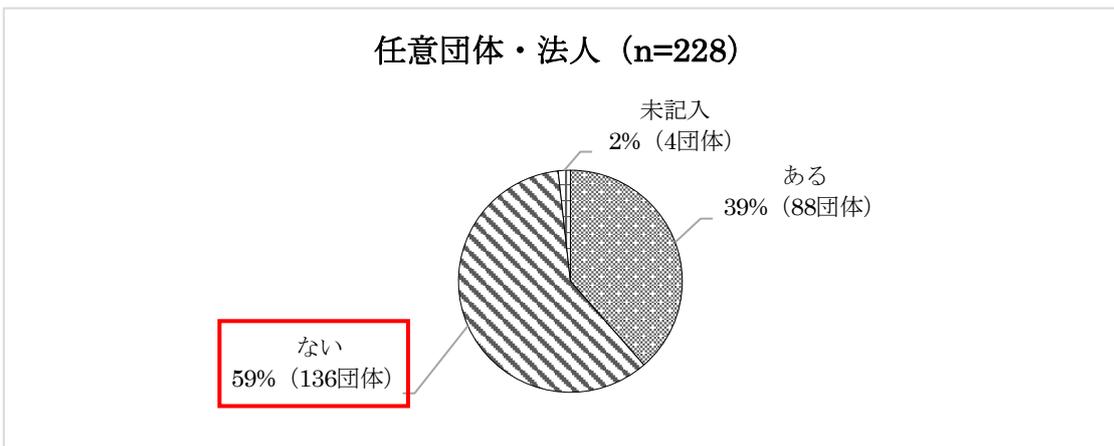
<みえてきた課題>

通信環境の整備及び活用後のトラブル対応が困難である。

<分析>

a システムの活用について

- ・ 未活用理由の多くが、通信環境の未整備である。

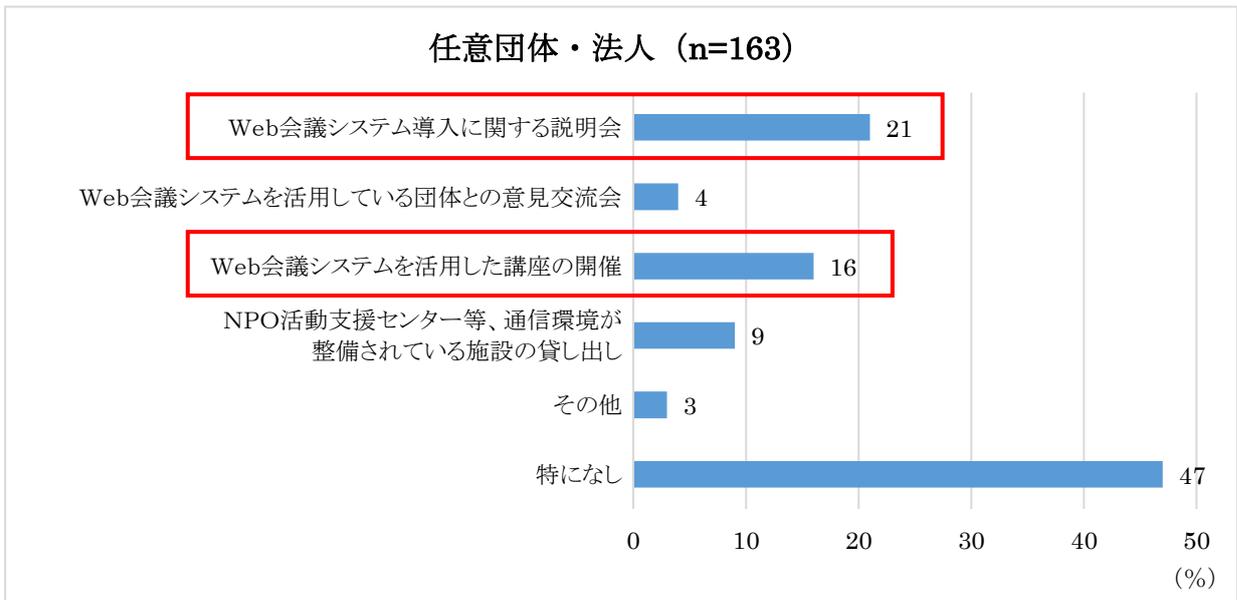


「ない」と回答した団体が活用していない理由（複数回答）

活用していない理由	全体	任意団体	法人
通信環境が整っていない	63	35	28
システムに精通しているメンバーがいない	57	29	28
必要性を感じない	50	34	16
活用方法がわからない	22	12	10
コストがかかる	14	8	6
その他	8	6	2
未記入	9	6	3
合計	223	130	93

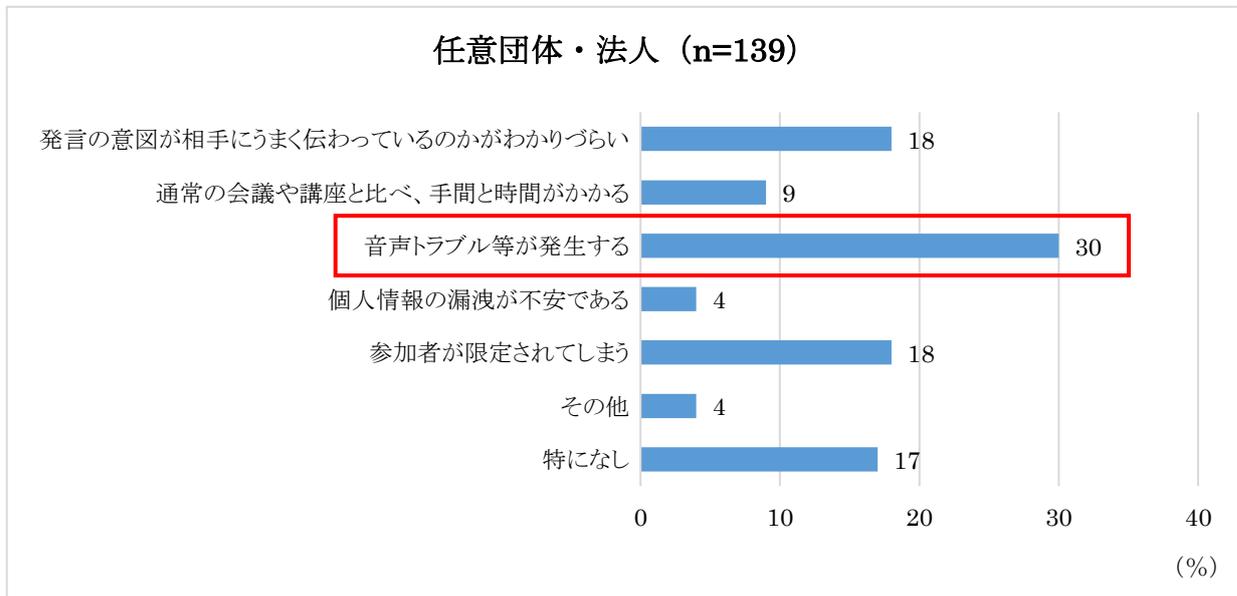
**b システムを活用するための支援について（複数回答） ※未活用団体のみ**

- ・ 導入及び活用に関する講座・説明会の開催要望が多い。



**c システムを活用している中での課題について（複数回答） ※活用団体のみ**

- ・ 課題の多くが、トラブルが発生した際の対処である。



**(イ) 考察****a システムの活用が進んでいない**

新型コロナウイルス感染症拡大防止による外出自粛のため、Web会議が急速に普及した今、NPO活動団体等のシステム活用状況は39%に留まっており、活用はまだまだ進んでいない。活用していない理由として、「通信環境が整っていない」が最も多く、次いで「システムに精通しているメンバーがいない」「必要性を感じない」の順となっている。

センターは、通信環境が整備されているため、団体がセンター内でWeb会議を活用する際の支援も実施しているが、調査結果から、支援制度を利用して実際に活用している団体は、まだまだ少ないと考えられる。このことから、Web会議の有効性と支援制度の周知を強化する必要がある。

**b システムの活用状況により異なる課題**

システムを活用している団体の課題は、「音声トラブル等が発生する」(30%)が最も多く、次いで「発信の意図が相手にうまく伝わっているのかがわかりづらい」(18%)、「参加者が限定されてしまう」(18%)と続いている。

未活用団体は「システム導入方法に関すること」、活用団体は「活用している中でのトラブル等の対処方法に関すること」と活用状況により課題が異なるという調査結果を踏まえ、団体の状況に応じた支援を実施する等、より重点的に支援を行っていく必要がある。

**(ウ) 今後の対応方針****a システムの活用を始めるための支援情報の周知**

センター内は、Wi-Fi環境を整備しており、Web会議活用講座や活用支援相談を実施している。今後はこのような支援事業の周知を進めていくため、あだち協働パートナーサイトやSNS等を活用して支援情報を発信する。

**b システムの活用状況に合わせた支援の実施**

未活用団体にはシステムの導入方法から、活用団体にはシステム利用の継続・発展と、団体の習熟度に合わせた支援を実施する。

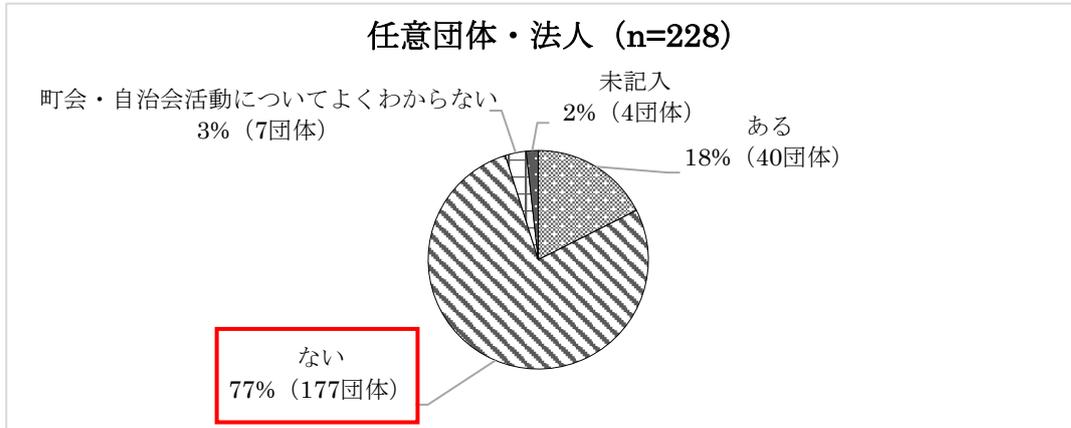
## エ 町会・自治会との繋がりについて

### (ア) 調査結果からみえてきたもの

#### <分析>

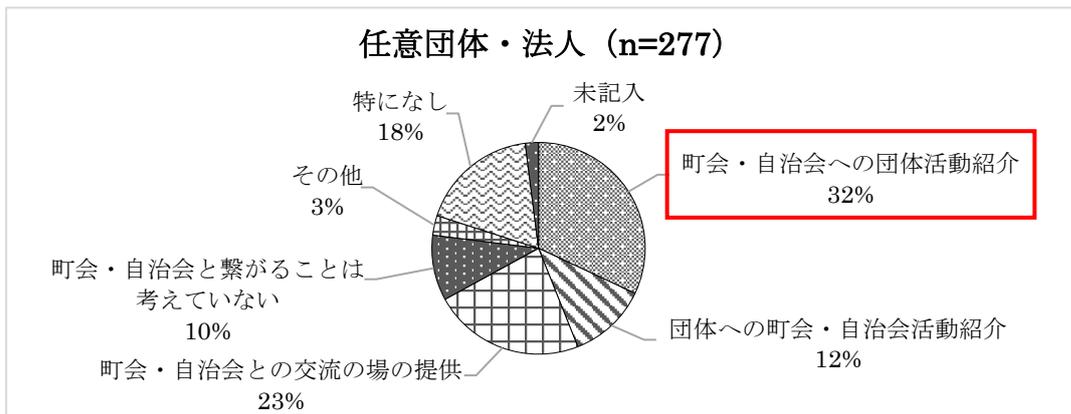
#### a 町会・自治会との連携について

- ・ 連携したことがない団体が多い。



#### b 町会・自治会と繋がるために必要な行政の支援について (複数回答)

- ・ 町会・自治会への団体活動の紹介を希望している。



### (イ) 考察

#### a 町会・自治会との連携が進んでいない

過去3年以内に町会・自治会と連携したことがある活動は「ない」と回答した割合は、77%と高い割合であることから、繋がるための支援が必要である。

#### b 町会・自治会と繋がるためのツールが必要

団体の活動が町会・自治会と繋がるために必要な行政の支援については、67%の団体が何らかの方法で、町会・自治会との連携を検討していることが伺える。中でも、「町会・自治会への団体活動紹介」が32%と最も多くなっていることから、団体活動を町会・自治会へ紹介するガイドブックの整備が必要である。

**(ウ) 今後の対応方針**

**a 町会・自治会との連携に向けた支援の強化**

町会・自治会をはじめとした地縁組織とNPOが交流する場を設定し、地域ごとの活動での連携を支援していく。

**b 町会・自治会と繋がるためのツールの整備**

センター登録団体のガイドブックを作成し、団体の活動を町会・自治会へ紹介するツールとして、積極的に周知していくことによりマッチングを進め、地域活動の活性化を図る。

## 4 まとめ

### (1) コロナ禍におけるNPO活動の変容

NPOの活動は現場で人と直接対面して活動することが取り組みの基本であるが、多くの活動が人との接触自体がリスクとなる新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度のNPO団体運営は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策に伴い、「イベント等の自粛要請による活動の休止」「収益活動の休止による資金不足」「NPO活動を維持していった活動人員の不足」など、大きな影響を受けた。

一方、コロナ禍により収入が減少し経済的に困窮する世帯に対し、食の支援を始める団体も増えるなど、NPOの活動領域に広がりが見えた。また、オンラインによるイベントや相談など、ICTを活用する取り組みを始める団体も増え、コロナ禍の「新しい生活様式」を取り入れる流れは、NPOの活動にも影響をもたらしている。

#### ア 生活困窮世帯への支援

子ども食堂を開催していた団体を中心に、生活困窮世帯にお弁当や食材を配布する「フードパントリー事業」が急速に拡大した。このような食の支援活動は、食材等の配布に留まらず、生活の相談や必要な支援機関につなぐ役割など、身近な相談所としての機能も担ってきている。令和2年度末に、子ども食堂からフードパントリーへ活動内容を広げる団体が徐々に増加し、令和3年度には、区内のフードパントリーも20を超え、対象世帯が450世帯以上まで拡大している。

#### イ ICTを活用したNPO活動

対面で実施する事業に制限がかかる中、イベント事業などのYouTubeによるオンライン配信や子育て世代の悩みごとへのZoomによる相談事業など、ICTを活用した事業が進み、来場者などの対象が限られていた事業に新たな広がりやつながりをつくることのできた。

一方、ICTの活用が難しい方へのアプローチが課題である。ICTに不慣れな方が多い高齢者だけでなく、学校でタブレットを活用する小・中学生にもICTツール活用の支援を必要とする方もいるため、NPOの中にはICT弱者の支援に取り組む団体も現れ始めた。

#### ウ 活動人材の確保

登録団体では、活動者の多くが高齢者のため、コロナ禍での活動が制限された。一方、フードパントリーや弁当配布事業などでは、地域の町会・自治会婦人部の協力や、大学生ボランティアの協力が進んでいる。

## (2) NPO活動支援の今後の方向性

センターは、令和9年度に図書館・子育てサロンと合築した複合施設として、梅田八丁目アパート建替えに伴う創出用地に移転する予定である。今後は複合施設として、それぞれが特徴のある事業を展開するとともに、複合施設ならではの魅力を放ち、3つの施設の連携による更なる相乗効果を上げることが求められている。

そのため、移転に向けて協働・協創の視点を踏まえ、NPO・区民・地域団体・企業・大学など多様なつながり、連携を強化することで、協働・協創を促進していくための団体活動の拠点となる施設を目指していくとともに、センターに登録されているNPO活動団体を中心とし、協創プラットフォームの運営や地域活動人材の育成を通じた社会的課題の解決を図っていく。

また、アフターコロナにおける新しい生活スタイルを視野に、団体活動への支援等や団体間連携のコーディネート、人材の発掘・育成など、活動支援の3本柱について、支援効果を検証するとともに、各種団体や区民等の意向把握を行いながら事業を推進していく。

### ア 柱1「団体活動への支援やアドバイス」について

#### (ア) センター登録団体向け講座

NPO団体全体を見ると、ICTスキルの高い団体は必ずしも多いとはいえないため、センターではNPO団体のICT活用を促進するために、登録団体のパソコン相談やSNS活用講座を開催するとともに、NPOフェスティバルでは、団体活動紹介の動画を制作し、自主製作が難しい団体には作り方から支援を行った。

今後は、増えつつあるICT支援団体間をつなぐ交流会等を開催し、子どもから高齢者までのICT弱者を支援するプラットフォームの創出を目指していく。また、団体が抱える課題解消に向けた、活動人材の開発・育成や団体の組織力、経営力、情報発信力向上に係る講座を実施していく。

#### (イ) 相談業務

コロナ禍での活動資金の確保については、NPO相談員による持続化給付金や文化庁のコロナ支援補助金など、団体の活動状況に合わせた助成制度の申請支援を実施するとともに、クラウドファンディング講座を実施するなど、団体が自ら資金調達する仕組みの紹介を行った。

センター登録団体の多くは任意団体であることから活動資金に乏しいため、今後も助成金の活用、寄附の勧奨等、活動の継続・発展に必要な資金調達を支援していく。

#### (ウ) 子ども食堂・フードパントリー団体への食品提供

センターでは、「食の支援」を支えるため、企業や区民から寄贈を受けた食材をNPO団体へ配布するなど、食材の新規提供企業の開拓がセンターの大きな役割を担うとともに、企業などから区に提供のあった消毒液やマスク、生理用品などを支援団体に配布した。

今後もセンターがハブとなり、各団体が持つ倉庫や寄贈品、物流などのリソースを団体同士で共有し、活動を拡大するための連携強化を進めていく。

## **(エ) 情報発信**

NPO団体の活動情報を集めて分野・地域ごとに団体情報や活動事例をデータベース化するとともに、NPO団体・区民等と連携してSNSやICTを活用し、地域活動情報を発信していく。このように集めた地域連携の種となる情報を活用して、センターがハブとなり、NPO団体を中心とした地域公益活動のネットワークを拡大していく。

## **イ 柱2「団体間連携のコーディネート」について**

### **(ア) 意見交流会・イベント開催**

新型コロナウイルスの終息が見えない中、団体同士や企業、大学等との連携を進めるための「新しい生活様式」に対応した交流会やイベントを開催し、NPO団体の育成とNPO活動の活性化を支援していく。

## **ウ 柱3「人材の発掘・育成」について**

### **(ア) あだち皆援隊講座**

地域活動人材を発掘・育成するため、地域活動参加の契機となる「皆援隊講座」でNPO活動を体験してスキルを学ぶことができる、より実践的な講座を実施していく。

また、今後はセンターが中心となり、ボランティアセンターや区内大学と連携しながら、大学生や高校生のボランティアとの情報共有を図り、地域活動人材の発掘と団体へのマッチングを進め若年世代の活動者を増やしていく。

## **(3) NPO支援活動の評価と見直し**

NPO団体等への活動に対する支援事業を実施する中で、新型コロナウイルス感染症の経験を経て、本当にそれがニーズや効果があるのか、効率的に実施できているのかを各団体や区民等の意向把握を行いながら評価・検証していく必要がある。そのため、柱ごとの支援事業の目的、意図をより明確に表現し、成果をとらえられるような「指標」を設定する。

今後は、評価・検証結果に基づき、より効率的・効果的な支援事業への見直しを行っていく。

# NPO活動支援評価調書

## 1 団体活動の継続・発展支援

### (1) 登録団体向け講座

①活動指標 (講座内容別)	実績		目標				達成状況	
	年度	R2	R3	R4	R2	R3		R4
団体運営・助成金 ・開催回数 ・参加人数	項目	回数	人数	回数	人数	回数	人数	遅れている
目標	5	50	5	50	6	60		
実績	4	42						
達成率	80.0%	84.0%						
広報関連 ・開催回数 ・参加人数	項目	回数	人数	回数	人数	回数	人数	遅れている
目標	2	20	2	20	3	30		
実績	1	9						
達成率	50.0%	45.0%						
ICT支援 ・開催回数 ・参加人数	項目	回数	人数	回数	人数	回数	人数	遅れている
目標	5	50	5	50	5	50		
実績	4	32						
達成率	80.0%	64.0%						

②成果指標	実績		目標				達成状況	
	年度	R2	R3	R4	R2	R3		R4
満足度(4段階平均) ・参加率	項目	満足度	参加率	満足度	参加率	満足度	参加率	順調
	目標	3.5	75.0%	3.6	75.0%	3.6	80.0%	
	実績	3.5	65.0%					
達成率	100.0%	86.7%						
満足度(4段階平均) ・参加率	項目	満足度	参加率	満足度	参加率	満足度	参加率	順調
	目標	3.5	75.0%	3.6	75.0%	3.6	80.0%	
	実績	3.6	80.0%					
達成率	102.9%	80.0%						
満足度(4段階平均) ・参加率	項目	満足度	参加率	満足度	参加率	満足度	参加率	順調
	目標	3.5	75.0%	3.6	75.0%	3.6	80.0%	
	実績	3.8	50.0%					
達成率	108.6%	66.7%						

③成果指標	実績		目標		達成状況
	年度	R2	R3	R4	
3年以上活動を継続している団体の割合	目標	80.0%	83.0%	85.0%	順調
	実績	78.9%			
	達成率	98.6%			
団体の情報発信回数	目標	-	1,500	1,800	
	実績	-			
	達成率	-			
団体のICT活用率	目標	-	70.0%	75.0%	
	実績	-			
	達成率	-			

### (2) 相談業務

①活動指標	実績		目標				達成状況
	年度	R2	R3	R4	R2	R3	
総合相談 ・件数 (団体設立・団体運営等)	目標	350	380	400	順調		
	実績	338					
	達成率	96.6%					
専門相談 ・件数 (税理士・社労士・中小企業診断士)	目標	1	2	3	達成		
	実績	1					
	達成率	100.0%					

②成果指標	実績		目標				達成状況	
	年度	R2	R3	R4	R2	R3		R4
満足度(参考値・解決率)	項目	満足度	解決率	満足度	解決率	満足度	解決率	
	目標	-	-	3.6	75.0%	3.6	80.0%	
	実績	-	-					
達成率	-	-						
満足度(参考値・解決率)	項目	満足度	解決率	満足度	解決率	満足度	解決率	
	目標	-	-	3.6	75.0%	3.6	80.0%	
	実績	-	-					
達成率	-	-						

③成果指標	実績		目標		達成状況
	年度	R2	R3	R4	
3年以上活動を継続している団体の割合(再掲)	目標	80.0%	83.0%	85.0%	順調
	実績	78.9%			
	達成率	98.6%			
新規団体設立数	目標	30	30	30	達成
	実績	34			
	達成率	113.3%			

### (3) 意見交流会

①活動指標	実績		目標				達成状況	
	年度	R2	R3	R4	R2	R3		R4
意見交流会 ・開催回数 ・参加人数	項目	回数	人数	回数	人数	回数	人数	順調
	目標	6	60	8	80	10	100	
	実績	5	67					
達成率	83.3%	111.7%						

②成果指標	実績		目標		達成状況
	年度	R2	R3	R4	
プラットフォームの数	目標	3	3	3	遅れている
	実績	1			
	達成率	33.3%			

③成果指標	実績		目標		達成状況
	年度	R2	R3	R4	
マッチングできた団体数(延べ)	目標	50	60	70	順調
	実績	46			
	達成率	92.0%			

※ 年間方針に基づき交流会の内容を調整する

## 2 新規活動人材・団体の発掘・育成支援

### 【皆援隊講座】

①活動指標 (講座内容別)	実績		目標				達成状況	
	年度	R2	R3	R4	R2	R3		R4
人材発掘・育成 ・開催回数 ・参加人数	項目	回数	人数	回数	人数	回数	人数	達成
	目標	6	200	6	210	6	220	
	実績	9	217					
達成率	150.0%	108.5%						
NPO活動啓発 ・開催回数 ・参加人数	項目	回数	人数	回数	人数	回数	人数	順調
	目標	6	200	6	210	6	220	
	実績	6	104					
達成率	100.0%	52.0%						

②成果指標	実績		目標				達成状況	
	年度	R2	R3	R4	R2	R3		R4
満足度(参考値・参加率)	項目	満足度	参加率	満足度	参加率	満足度	参加率	達成
	目標	3.5	75.0%	3.6	75.0%	3.6	80.0%	
	実績	3.6	76.0%					
達成率	102.9%	101.3%						
満足度(参考値・参加率)	項目	満足度	参加率	満足度	参加率	満足度	参加率	達成
	目標	3.5	75.0%	3.6	75.0%	3.6	80.0%	
	実績	3.9	88.0%					
達成率	111.4%	117.3%						

③成果指標	実績		目標		達成状況
	年度	R2	R3	R4	
地域活動の参加に結び付いた人数	目標	200	220	250	遅れている
	実績	166			
	達成率	83.0%			

### 【イベント開催・出展】

①活動指標	実績		目標				達成状況	
	年度	R2	R3	R4	R2	R3		R4
主催イベント (NPOフェスティバル等) ・開催回数 ・参加人数	項目	回数	人数	回数	人数	回数	人数	要検討
	目標	2	3,000	2	3,000	2	3,000	
	実績	1	228					
達成率	50.0%	7.6%						
出展イベント (A-FESTA等) ・開催回数 ・参加人数	項目	回数	人数	回数	人数	回数	人数	要検討
	目標	2	1,000	2	1,000	2	1,000	
	実績	0	0					
達成率	0.0%	0.0%						

②成果指標	実績		目標		達成状況
	年度	R2	R3	R4	
満足度(4段階平均) ・参加率	目標	3.5	3.5	3.5	遅れている
	実績	2.7			
	達成率	77.1%			

③成果指標	実績		目標		達成状況
	年度	R2	R3	R4	
地域課題解決に寄与する登録団体数	目標	195	200	205	順調
	実績	191			
	達成率	97.9%			

## 3 情報発信

①活動指標	実績		目標		達成状況
	年度	R2	R3	R4	
SNS(ツイッター・フェイスブック) ・発信件数	目標	500	600	700	達成
	実績	539			
	達成率	107.8%			
協働パートナーサイト ・団体登録件数	目標	120	130	140	達成
	実績	121			
	達成率	100.8%			

②成果指標	実績		目標		達成状況
	年度	R2	R3	R4	
閲覧数	目標	-	175,000	175,000	
	実績	-			
	達成率	-			
ページビュー数	目標	-	120,000	120,000	
	実績	-			
	達成率	-			

③成果指標	実績		目標		達成状況
	年度	R2	R3	R4	
SNS登録者数(合計)	目標	-	500	600	
	実績	-			
	達成率	-			
講座・イベント等参加者数(延べ)	目標	1,000	1,500	2,000	遅れている
	実績	699			
	達成率	69.9%			

## 4 食材支援

①活動指標	実績		目標				達成状況	
	年度	R2	R3	R4	R2	R3		R4
提供を受けた食材の量 ・重さ(kg) ・個数(個) (別々で積算)	項目	重さ	個数	重さ	個数	重さ	個数	達成
	目標	2,000	4,000	2,500	4,500	3,000	5,000	
	実績	2,241	4,478					
達成率	112.1%	112.0%						
食品提供企業等の数	目標	10	12	15	達成			
	実績	10						
	達成率	100.0%						

②成果指標	実績		目標		達成状況
	年度	R2	R3	R4	
食材を提供した団体数(延べ)	目標	120	130	140	達成
	実績	132			
	達成率	110.0%			
子ども食堂・フードパントリーの団体数	目標	15	20	25	達成
	実績	17			
	達成率	113.3%			

③成果指標	実績		目標		達成状況
	年度	R2	R3	R4	
団体が支援した人数(延べ)	目標	4,000	4,200	4,400	達成
	実績	4,113			
	達成率	102.8%			

④成果指標	実績		目標		達成状況
	年度	R2	R3	R4	
足立区を良いまちにするために何かの行動をした区民の割合(世論調査)	目標	-	25.0%	30.0%	
	実績	-			
	達成率	-			

# 資料編

- 1 NPO活動支援センター登録団体および施設利用について
- 2 NPO法人認証の推移
- 3 足立区に事務所のあるNPO法人の活動分野（複数選択）
- 4 NPO活動支援センター登録団体一覧（令和2年度末現在）
- 5 NPO活動支援センター令和2年度実績一覧
- 6 令和2年度「足立区公益活動実態調査」調査結果

# 1 NPO活動支援センター登録団体および施設利用について

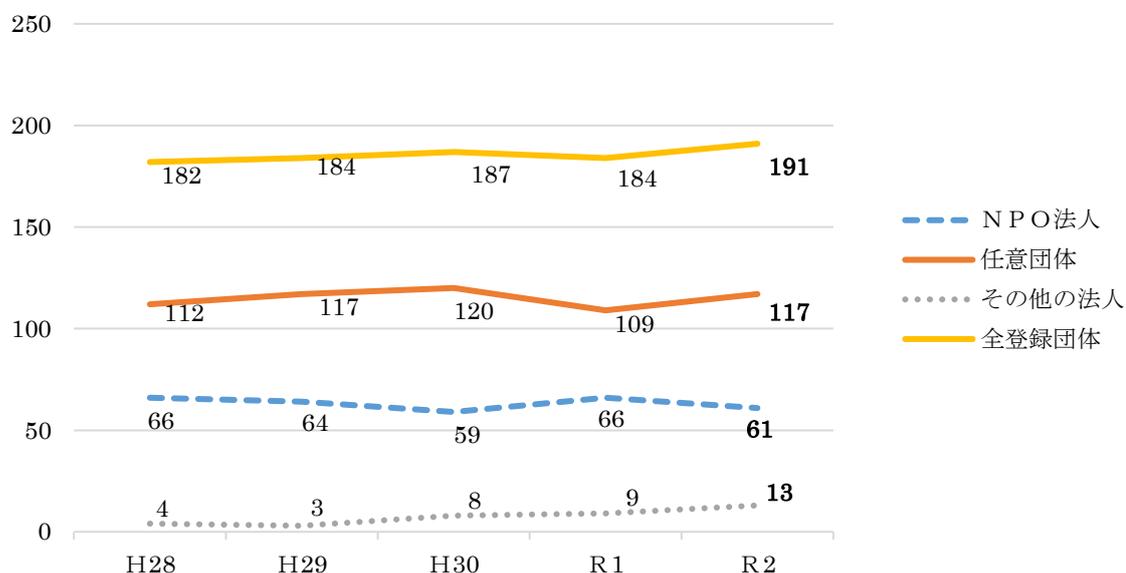
## (1) NPO活動支援センター登録団体

センターでは、各団体の活動状況を把握し、その団体に応じた支援を実施するため、団体登録制度を導入している。令和2年度からは、毎年行っていた団体登録申請を2年ごとに変更した。

### ア 登録団体数について

令和2年度は、新たに子ども食堂やフードパントリー関連の活動を始める団体が多数いたため、全体の登録団体数は微増した。

#### 【登録団体数の推移】

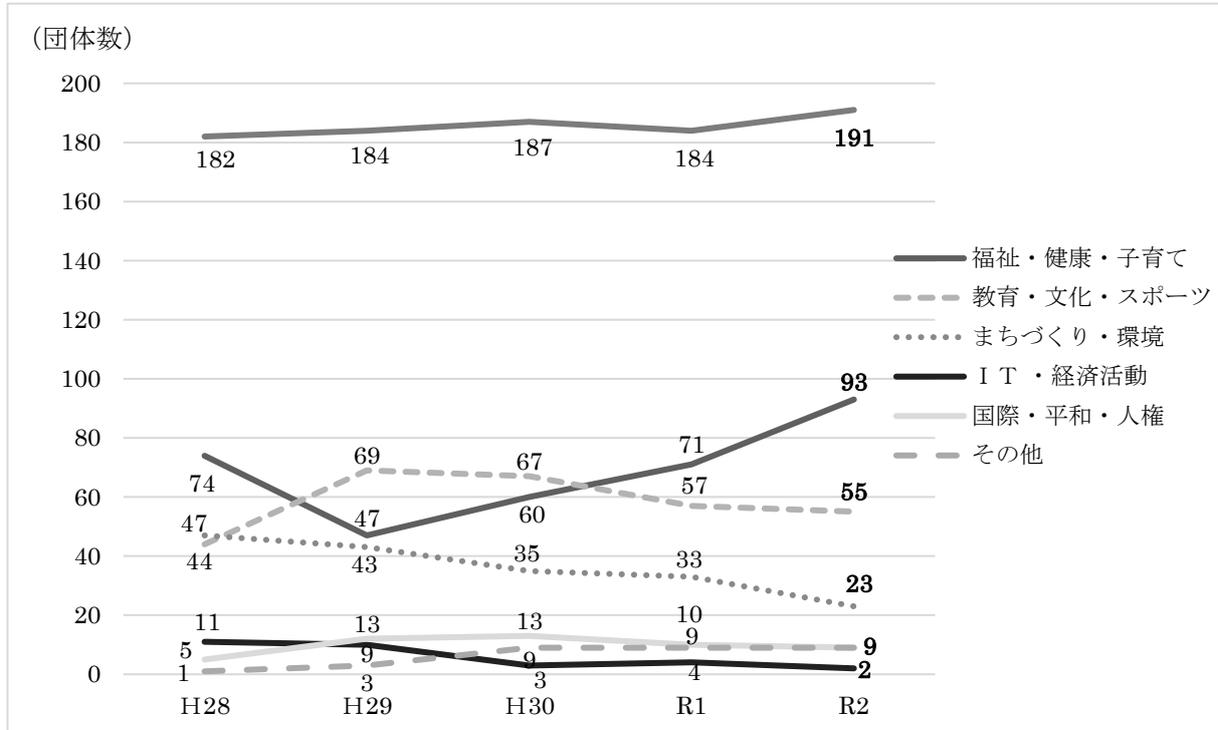


年度	NPO法人	任意団体	その他法人	総計
H28	66	112	4	182
H29	64	117	3	184
H30	59	120	8	187
R1	66	109	9	184
R2	61	117	13	191

## イ 登録団体の分野別団体数について

登録団体を主な活動分野別に分類すると「福祉・健康・子育て」「教育・文化・スポーツ」「まちづくり・環境」が上位であり、この3分野の登録団体が全体の約9割を占めている。

### 【活動分野別の登録団体数の推移】



年度	福祉・健康・子育て	教育・文化・スポーツ	まちづくり・環境	IT・経済活動	国際・平和・人権	その他	総数
H28	74 (40.7%)	44 (24.2%)	47 (25.8%)	11 (6.0%)	5 (2.7%)	1 (0.6%)	182 (100%)
H29	47 (25.5%)	69 (37.5%)	43 (23.4%)	9 (4.9%)	13 (7.1%)	3 (1.6%)	184 (100%)
H30	60 (32.0%)	67 (35.9%)	35 (18.7%)	3 (1.6%)	13 (6.9%)	9 (4.9%)	187 (100%)
R1	71 (38.6%)	57 (30.9%)	33 (18%)	4 (2.2%)	10 (5.4%)	9 (4.9%)	184 (100%)
R2	93 (48.7%)	55 (28.8%)	23 (12%)	2 (1.1%)	9 (4.7%)	9 (4.7%)	191 (100%)

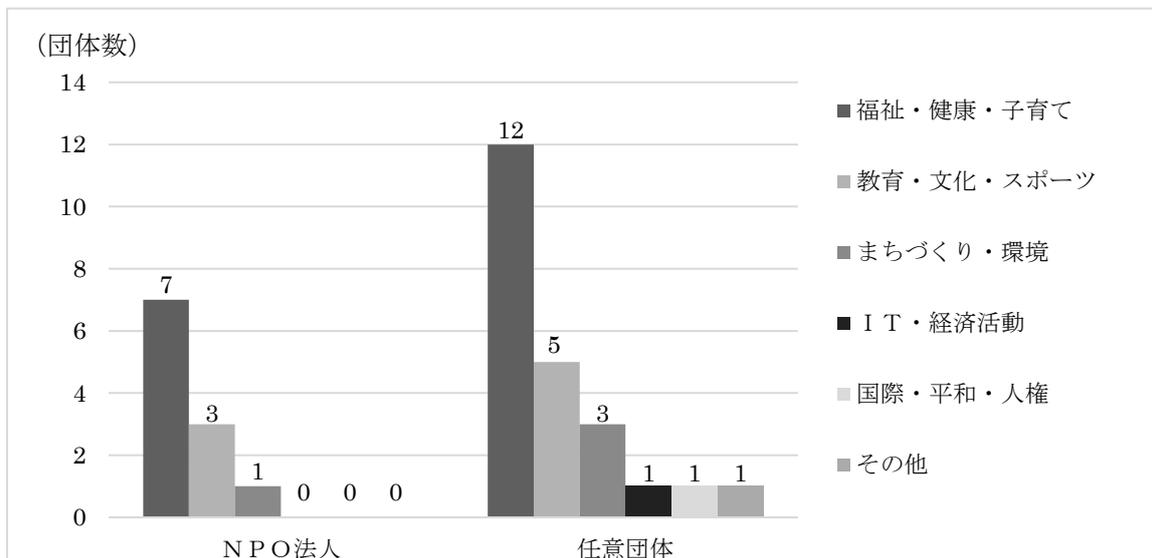
\* 上段：活動分野別の登録団体数

下段：登録団体総数における活動分野別の登録団体割合

### ウ 新規登録団体の分野別団体数について（再掲）

令和2年度は新規登録団体が34団体であり、NPO法人が11団体、任意団体が23団体だった。分野別では「福祉・健康・子育て」が半数以上を占めた。さらにその中でも子ども食堂やフードパントリー関連の活動団体が9団体あり、「福祉・健康・子育て」分野の約半数を占めている。

【令和2年度新規登録34団体の分野別内訳】



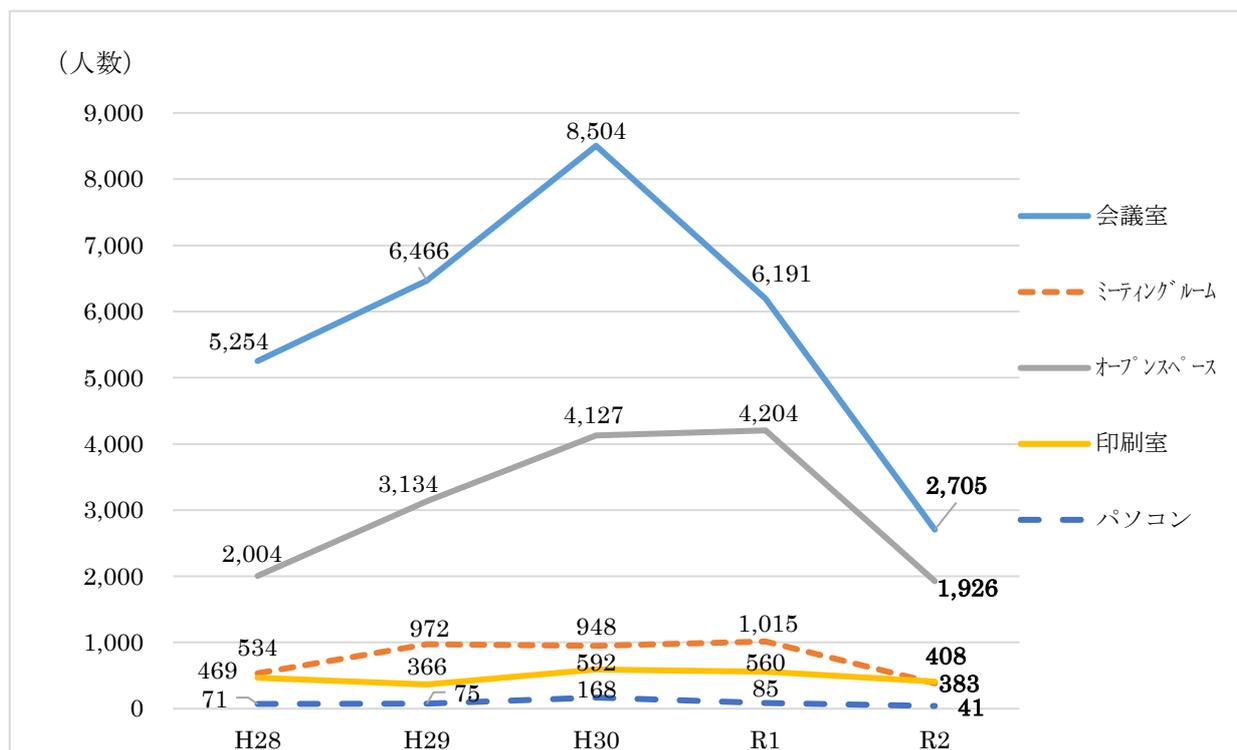
	福祉・健康・子育て	教育・文化・スポーツ	まちづくり・環境	IT・経済活動	国際・平和・人権	その他	総数
NPO法人	7	3	1	0	0	0	11
任意団体	12	5	3	1	1	1	23
総数	19	8	4	1	1	1	34

## (2) 施設利用について

センターには、会議室、ミーティングルーム、オープンスペース、印刷室等があり、登録団体の活動・交流の場の提供や講座等の参加の場として利用されている。令和2年4月、5月は新型コロナウイルス感染症対策として休館となったことや、緊急事態宣言が発出されている期間は会議室の利用人数を半数にする制限を設けたため、センター利用者数が大幅に減少した。

### 【施設設備の利用延人数】

年度	会議室	ミーティングルーム	オープンスペース	印刷室	パソコン	総利用人数
H28	5,254	534	2,004	469	71	8,332
H29	6,466	972	3,134	366	75	11,013
H30	8,504	948	4,127	592	168	14,339
R1	6,191	1,015	4,204	560	85	12,055
R2	2,705	383	1,926	408	41	5,463



## 2 NPO法人認証の推移

(令和3年3月末現在)

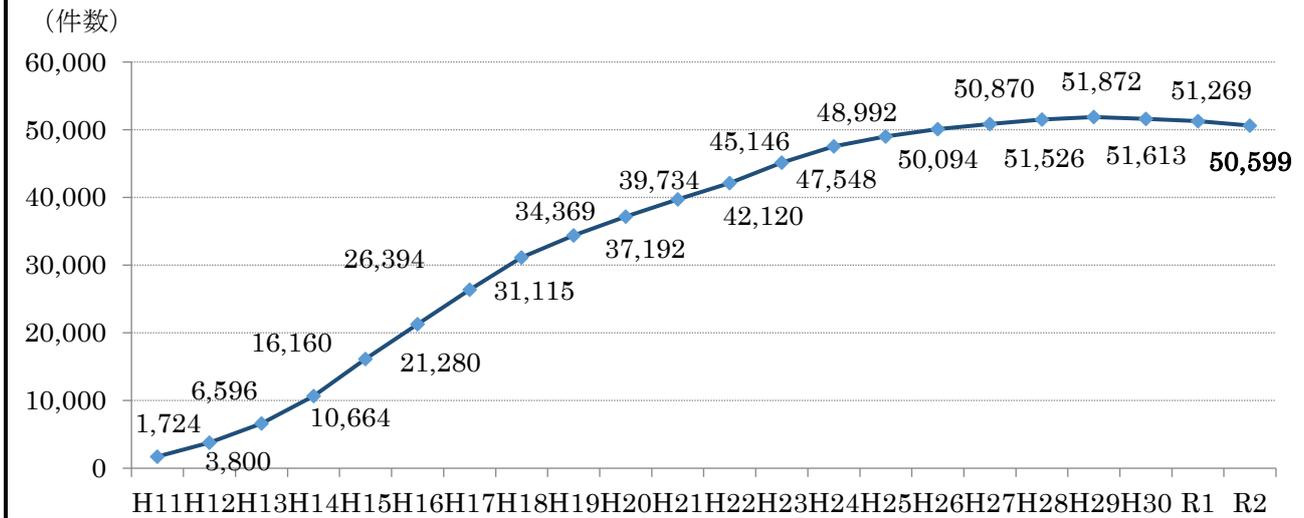
年度	全国法人数	東京都法人数	足立区法人数 (*1)	主たる事務所が 足立区(*2)
H11	1,724	386	0	—
H12	3,800	863	14	—
H13	6,596	1,459	29	—
H14	10,664	2,252	47	—
H15	16,160	3,248	70	68
H16	21,280	4,135	97	92
H17	26,394	4,839	114	107
H18	31,115	5,392	138	131
H19	34,369	5,836	141	133
H20	37,192	6,200	156	144
H21	39,734	6,494	163	150
H22	42,120	6,861	173	158
H23	45,146	7,247	190	171
H24	47,548	9,391	186	169
H25	48,992	9,360	186	167
H26	50,094	9,464	174	169
H27	50,870	9,501	186	180
H28	51,526	9,468	184	174
H29	51,872	9,452	191	179
H30	51,613	9,360	189	181
R1	51,269	9,286	190	182
<b>R2</b>	<b>50,599</b>	<b>9,151</b>	<b>185</b>	<b>177</b>

(「内閣府NPOホームページ」、「東京都NPO法人情報システム」を元に作成)

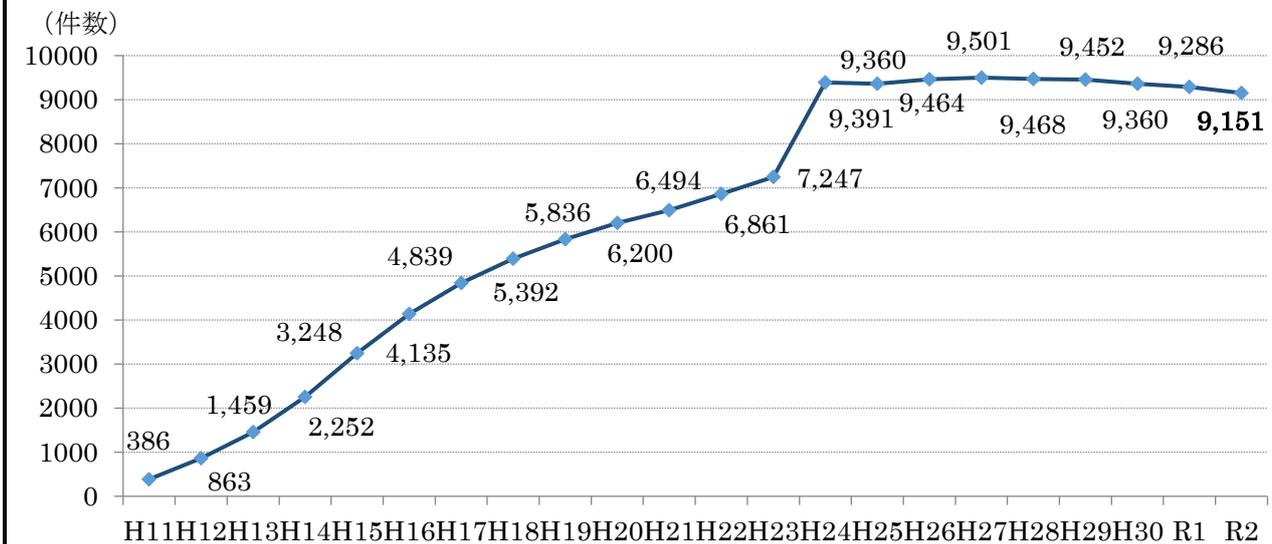
\*1・・・「主たる事務所が足立区」および「従たる事務所が足立区」の団体の総数。

\*2・・・「主たる事務所が足立区」の法人数については、平成15年度より集計を開始した。

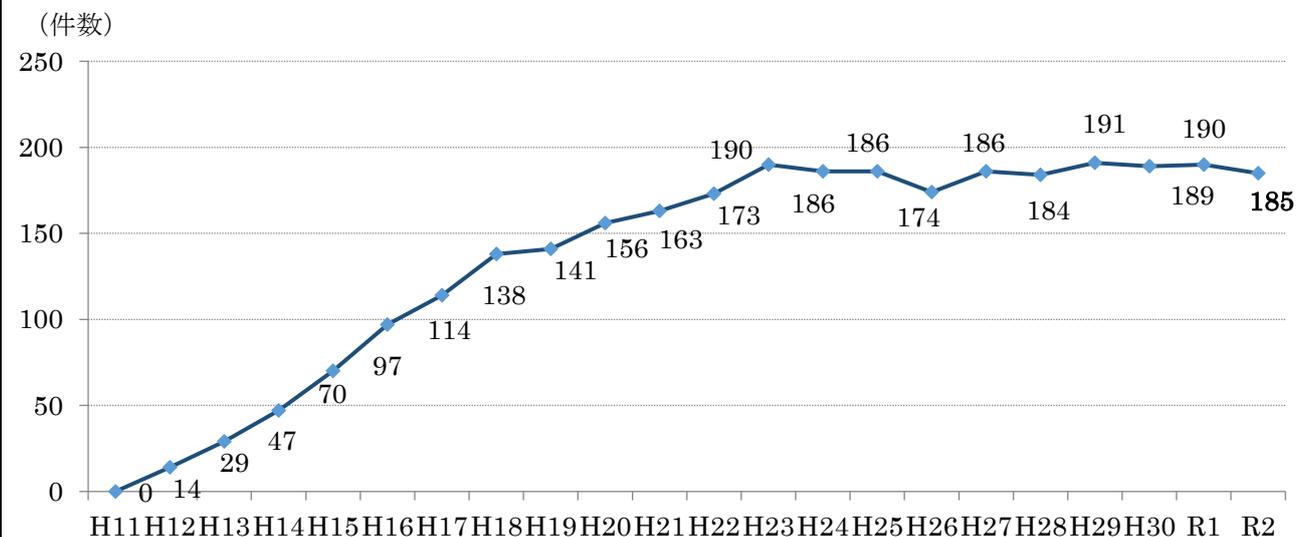
## 全国のNPO法人数



## 東京都のNPO法人数



## 足立区に事務所があるNPO法人数



## 3 足立区に事務所のあるNPO法人の活動分野（複数選択）

（令和3年3月末現在）

	活動分野	法人数
1	保健、医療又は福祉の増進を図る活動	105
2	社会教育の推進を図る活動	104
3	まちづくりの推進を図る活動	66
4	観光の振興を図る活動	6
5	農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動	5
6	学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動	69
7	環境の保全を図る活動	33
8	災害救援活動	14
9	地域安全活動	19
10	人権の擁護又は平和の推進を図る活動	38
11	国際協力の活動	40
12	男女共同参画社会の形成の促進を図る活動	22
13	子どもの健全育成を図る活動	95
14	情報社会の発展を図る活動	19
15	科学技術の振興を図る活動	7
16	経済活動の活性化を図る活動	29
17	職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動	46
18	消費者の保護を図る活動	10
19	前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動	128
20	前各号に掲げる活動に準ずる活動として都道府県又は指定都市の条例で定める活動	0
区内に事務所を置く NPO 法人数		185

\*18～20の活動分野は、平成24年4月より追加された。

## NPO法人の代表者氏名・事務所の所在地・連絡先・近年の事業報告書等について

「内閣府NPOホームページ」及び「東京都NPO法人情報システム」にて確認することができます。

## 4 NPO活動支援センター登録団体一覧（令和2年度末現在）

<p>《掲載順について》</p> <p>分野別に50音順で掲載している。</p> <p>《団体形態の表記について》</p> <p>法人・・・NPO法人 任意・・・任意団体 その他・・・一般社団法人ほか</p> <p>《具体的な事業内容について》</p> <p>足立区NPO活動支援センターへの団体登録時に団体より提出された「団体シート」の原文を元に記載している。</p>
---

## 【分野】福祉・健康・子育て（93団体）

No.	団体名	形態	事業内容
1	足立区更生保護女性会	任意	青少年の非行防止と立ち直りを支援。施設の慰問や研修を行う。
2	足立区竹ノ塚ママとベビー・キッズのコミュニティKoen	任意	「みんなで育てる」まちづくりの一環として子育て応援活動と地域の居場所づくりを行う。
3	足立区パーキンソン病友の会	任意	パーキンソン病患者の日常生活の質の向上を図るため、会員相互の情報交換・交流を図る。
4	足立区民の世代を繋げる会	任意	地域食堂等を開催することで、乳幼児から高齢者まで世代を超えて関われる場の提供を行う。
5	あだち子ども食堂	任意	様々な生きづらさを抱えた子どもたちのための地域の居場所「子ども食堂」の活動を行う。
6	あだち子ども食堂 たべるば	任意	地域の大人たちが子どもたちに食事を提供し、食育や子どもの自己肯定感を高める活動を行う。
7	足立子ども組織を育てる会	任意	小中学生を対象に、公園などでのあそび会や季節ごとの行事を行う。
8	足立さくら会	法人	誰もが安心感を持って生活できる社会づくりに寄与するため、誰にでも起こりうる高次脳機能障害に関する相談・支援、啓発、デイサービスを行う。
9	あだちシニア大学	任意	会員相互の親睦・健康維持向上を図り、スポーツ・座学等の活動を通じ介護予防と体力、意欲向上を図る。
10	あだち社会福祉士会	任意	社会福祉に関するテーマでの勉強会や意見交換会、講演会を通じて、地域福祉に貢献する。
11	あだちセブン会	任意	地域交流を目的にサロンを運営。交流による生きがい探しを行う。
12	足立たすけあいワーカーズつみき	法人	地域福祉の増進を目的として、子どもから高齢者まで、生活の支援を必要とする市民に対して自立援助、障がい福祉サービスを行う。

【分野】福祉・健康・子育て			
No.	団体名	形態	事業内容
13	あだち団塊ネットサエラ	任意	「うたごえ喫茶」を企画・開催するとともに、参加者との交流を図り、コミュニティづくりを行う。
14	あ★だちっこハウス実行委員会	任意	子どもやその保護者が安心して過ごせる居場所を提供する。
15	あだちTSネット	任意	障がいのある人の権利擁護および生きやすい地域をつくるため、相談や講演会を行う。
16	足立ひきこもり家族会	任意	不登校、引きこもりなど精神疾患を抱える子どもを持つ家族が集える場の提供を行う。
17	足立ほがらかネットワーク	法人	地域での支え合いを軸としたコミュニティづくりのために、高齢者や障がい者の生活支援サービスを行う。
18	ADMS	法人	「健康無関心層を減らす」をスローガンに生活習慣病対策を推進するため、勉強会、イベント、相談を行う。
19	あつまりどころ 「おじゃんせ」	任意	高齢者も子どもも障がいのある人もふれあい、交流できる「地域の交流の場」づくりを行う。
20	アトリエ ほ・ほっと	任意	ふれあい交流を推進するコミュニティカフェとしての場所と企画の提供をする。
21	アフォーラ	法人	子どもを産み育てることの負担や不安を地域で支え合うため、学び合う場を提供する。
22	綾瀬パントリー	任意	フードロスによる食材収集、生活困窮者への食糧配布、フードロスの普及、啓発を行う。
23	アンドスプーン	法人	女性や子どもの人生を取り巻く様々な環境において、情報やノウハウの共有ができる環境を構築し、問題解決に向けて支援する。
24	石綿被害者支援の会	法人	石綿による被害者の労災申請等、支援を行う。
25	WEL'S	法人	企業就労を目指す障がい者の就業準備訓練を行う。
26	ウットボディ・バランス体操 女性の笑顔で地域活性化の会	任意	肩こり、腰痛、バランスの悪さを改善する体操を普及する。
27	A-ステップ	任意	子育てに携わる世代、性別を超えた、地域に根付くネットワーク作りをする。
28	NPOさくら彩	任意	地域の親交を深めるため、イベントや交流会を開催するほか、フードパントリーによる生活困窮者への支援を行う。
29	NPOハレオリオリ	任意	障がい者とその家族、支援者が生き生きと過ごせる場の提供を行う。
30	OPeN DOORS	任意	区内の公益活動団体の連携を推進し、ネットワークを構築する。

【分野】 福祉・健康・子育て			
No.	団体名	形態	事業内容
31	おやじの会	任意	父親が子育てに関わる環境づくりや、障がい児の子育てに必要な知識の普及・啓発活動を行う。
32	かがやき	法人	地域福祉に寄与するため、高齢者（認知症も含む）や障がい者等に対する介護事業を行う。
33	家族を介護する人をつなぐ会	任意	在宅介護者の支援のため、介護に関する知識・理解を深める活動を行うとともに、会員相互の親睦を図る。
34	からしだね	その他	保健、医療・福祉の増進と子どもの健全育成を図るために、障がい児通所・相談支援、保育所の経営、子ども食堂、学習支援等の活動を行う。
35	キッズサポート	任意	子育て世代が生活しやすい地域を目指し、夏祭りの開催や子育て相談等の活動を行う。
36	グランファミリア	法人	地域の人々が孤立することなく安心して暮らせるよう地域交流事業、地域防災事業、地域福祉事業を行う。
37	健康プラチナコミュニティ	任意	地域の健康意識向上を図るため、介護予防、認知症予防、健康維持について学ぶ健康体操講座等を開催する。
38	国際ビフレンダーズ東京自殺防止センター	法人	自殺防止を図ることを目的とし、年中無休で夜間の電話相談を行う。
39	子育てカフェ eatoco	任意	カフェ事業を通じての子育て支援、空き店舗を活用した地域交流の場づくりをする。
40	子育てスタイル研究所	任意	親子で楽しむイベントの企画、意見交換、地域の子育てコミュニティづくりを行う。
41	子育てパレット	法人	子育て環境改善、子育て相談、情報提供、一時預かり、子育てシェアハウス運営をする。
42	鼓動	法人	健全な体を維持できる地域社会の実現のため、健康教室、歩こう会、健康まつり等を開催する。
43	こども食堂支援協議会	任意	子どもたちの健全育成を目的に活動する足立区内の子ども食堂へ青果物の支援、共に支え合う協議会の運営を行う。
44	こども食堂 ひよこ	任意	地域の子どもやその家族を対象に、無料や少額で「子ども食堂」を開催し、交流を図る。
45	子ども食堂 ポッポたつの子	任意	子どもの食育や自己肯定感を高めることを目的とし、食事・音楽の提供を通して交流を図る。
46	こまくさ歩こう会	任意	低山ハイキングや名所旧跡、街巡り等を通して自然と親しみ、健康向上と区域の高齢者のひきこもりや孤立化を解消する。
47	サポート倶楽部 絆	法人	生きがいづくりの支援事業、青少年育成事業、福祉サービス事業を行う。
48	しかはま自然観察会のらえもん	任意	親子で自然に親しみ、自然を楽しむことを目指し、田んぼ体験や里山体験などの自然体験を行う。

【分野】福祉・健康・子育て			
No.	団体名	形態	事業内容
49	出張キッズスペース m a m a t o	任意	母親が働きながら育児を楽しめる環境、出張キッズスペース等をつくる事で健やかな子どもの成長を促す。
50	スマイル・エイジングパートナー	法人	認知症高齢者等にやさしい地域づくりを推進するため、地域高齢者の認知症予防講座、脳の健康教室、地域食堂等を実施する。
51	Smile Kids ADACHI	任意	子どもの経済・社会活動や食育として、子どもたちが主体となって様々な体験活動を行う。
52	スマイルツインズ	任意	多胎児をもつ親同士での交流（ピクニックやクリスマス会等）やプレママ・新米ママ講習会を開催する。
53	スマイル・メイツ	任意	ハンデのある子を中心に交流の場づくり、居場所づくりを支援し、社会参加を目的とする。
54	スマイルリンク	任意	多世代の親睦と友好を深めることや社会貢献を目的とした講座やイベント等を開催し、多世代交流を図る。
55	成年後見支援センター ヒルフェあだち	その他	成年後見制度の専門職団体として、認知症高齢者や障がい者の権利擁護と福祉の増進に寄与する。
56	1010キッズ食堂	任意	子ども食堂を通して親子関係を深め、母親の気分転換の場となるようなイベントを実施する。
57	千住フードパントリー	任意	ひとり親、障がい者、外国籍、失業者など、暮らしに困っている方を対象に、生活相談の受付やフードバンクからの食品の無償提供を行う。
58	千住プレイス	任意	家庭や学校などの環境に問題を抱えている子どもに対して、居場所の提供や過ごしやすい環境づくりを行う。
59	育てよう！いのちの根っこ	任意	子どもたちと保護者に対し、妊娠・出産のしくみと命の大切さに関する知識の教育を行う。
60	たんぼぼ会	法人	高齢者・子育て支援事業を通じて地域社会の福祉に寄与するため、高齢者サロン、子ども食堂を行う。
61	地域の芽生え21	法人	ARを使った災害体験や避難所運営ゲームをするイベントや、区内公園にて「親子ふれあい教室」を開催する。
62	チョイふる	その他	「生まれ育った環境によって子どもの将来が左右されることのない社会」を実現するために、環境をより良くするための活動を行う。
63	つくしの郷	その他	障がい福祉事業をメインの事業とし、社会貢献活動として「子ども食堂」と「フードパントリー」の事業を行う。

<b>【分野】 福祉・健康・子育て</b>			
No.	団体名	形態	事業内容
64	つばさの会	法人	トランポリンを通して障がい者に運動の機会、健康・体力維持・余暇活動の場を提供し、機能改善・療育に関する事業を行う。
65	Dアドール	任意	ダウン症の子どもを持つ保護者間の情報交換、交流の場の提供を行う。
66	デフ・サポート足立	法人	市民に広く聴覚障がい者の生活・福祉に関する理解を働きかけ、聴覚障がい者の生活支援、情報保障、相談、啓発、交流、手話の普及活動をする。
67	「和」 nagomi	任意	癒しと健康を目指す活動として、子育て中の方や高齢者に対してのマッサージや小学校でのふれあいマッサージ等を行う。
68	虹色応援プロジェクト	任意	ありのままの自分でいられる環境作りや子どもの居場所の普及、その他（子ども食堂・バザー・講演会・ものづくり等）の活動を行う。
69	日本健身文化交流協会	法人	健康増進および国際協力の発展に寄与するために、中国の健康法（健身気功、太極拳、養生法）に関する講習会開催、指導員養成を行う。
70	ねっとワーキング	その他	障がい特性のある者を支える為の相談、情報、集いの場、余暇活動、家事支援を提供する事業を行う。
71	パークエンジェルの会	任意	子どもを含めた、多様な世代が気持ちよく過ごせるための公園あそびボランティアを行う。
72	はっぴ & 麦わら帽子	任意	高齢者の記憶力の維持・改善を図るため、レクリエーション（脳トレ、手遊び等）を高齢者施設で開催する。
73	ピースプロジェクト	法人	被災地での支援活動や『ピース食堂』を通して子どもたちを笑顔にする支援活動を行う。
74	東綾瀬子ども食堂	任意	貧困家庭の子どもだけに限らず多くの子どもと大人が集まる交流の場をつくる。
75	ひまわり運動の会	法人	環境保護啓発事業や健康推進のための健康セミナーを行う。
76	フォーエバーヘルスネットワーク	任意	親子、子ども、シニアを対象にした運動、体操を行うことで健康面のサポートをする。
77	ぶらちなくらぶ	法人	高齢者、障がい者、児童・幼児の豊かな暮らしをサポートすることを目的に、介護、子育て支援等をする。
78	フラワーセラピー研究会	法人	花を通じた生活の質の向上と環境保全意識の高揚を図るために、すべての人が花（植物）に親しむ機会を提供する。
79	Freedas&Links	その他	視覚障害がある方の外出に同行するガイドヘルパーを派遣する。

<b>【分野】 福祉・健康・子育て</b>			
No.	団体名	形態	事業内容
80	p r e s e n t s	法人	住民の健康増進を目的とし、子どもを中心とした体操教室や食育講演などを行う。
81	ヘルスケアサポート N Rehabilitation Labo	任意	区民の健康を増進するため、子ども姿勢改善教室等の開催や慢性的な痛みの対処法の知識の提供を行う。
82	ボードゲームズ	任意	ボードゲームを通し、その楽しさの普及を図り、コミュニケーション能力の向上とコミュニティの構築を図る。
83	ほっとカフェ虹	任意	不登校について子ども、親が支え合い学び合うための活動を行う。
84	ぽぽらーと	法人	障がい者（児）の介助や生活支援、保健・医療・福祉の増進を図る活動を行う。
85	まなびやなかま実行委員会	任意	困難を抱えた子どもたちが、大人とのつながりを作ることで生き抜く力を持てるよう、月2回の食事と学習の場を通して支援する。
86	みみより会	法人	聴覚障がい者が地域で自立生活できる社会の実現を目指し、情報発信、講演会、野外活動などを実施する。
87	みらいママ	任意	ママやママになる人が安心して子育てをするために必要な知識や情報を習得するための支援をする。
88	やなかパントリー実行委員会	任意	フードパントリーを通じて、ひとり親世帯等生活困窮者の支援を行う。
89	読み語りボランティア	任意	子どもの健やかな成長のため、子どもと共に読み読みの世界を楽しみ学びあう。
90	L I L A子どもの学びを支援する 会 リエゾン・アダチ	法人	貧困・親の無関心で学びのサポートが得られない子どもに学びや体験の環境を提供する。
91	レスポワール	法人	精神障がい者の「はたらく」場（就労継続支援B型）社会復帰と心身ともに健康になれるようお手伝いする福祉作業所。
92	Yーベース	任意	地域親子のコミュニティの拠点作り、小中学生の遊びと学びの支援、イベント、講演会、講座等を開催する。
93	O n e シード ぽけっと	任意	こども食堂「カムカムごはん」、フードパントリー「夢ぽけっと」の運営・食育、家庭学習等のサポートで子どもたちを支援。

## 【分野】教育・文化・芸術・スポーツ（５５団体）

No.	団体名	形態	事業内容
1	足立インターナショナルアカデミー	法人	海外からの移住者の子どもたちが、日本社会に適応するため実践的知識の習得、相談、交流の場作りをする。
2	あだち音楽文化指導者の会	法人	地域の音楽・文化の振興を図るため、音楽コンクールや学校、企業での演奏会等を行う。
3	あだち学習支援ボランティア「楽学の会」	法人	生涯学習センターの講座・講演会の運営ボランティア、あだち区民大学塾の企画・運営を行う。
4	足立区演劇連盟	任意	青少年の健全育成、演劇文化の向上、区民による「竹の塚劇団」の運営等を行う。
5	足立区書道連盟	任意	展覧会、講演会、研究会の開催。書道の普及と会員相互の親睦を図る。
6	足立区ラグビーフットボール協会	任意	区内でラグビーの体験会を開催し、生涯にわたる健康の増進を図る。
7	あだち子ども支援ネット	その他	子ども・若者・家族・家庭の生きづらさに関わる団体・個人のネットワークや交流の場を作る。
8	足立フレンドリーマラソン実行委員会	任意	マラソン大会の企画、運営やランニングの普及、健康増進活動を行う。
9	ADISC（アディスク）	任意	障がい者（主に知的）に対し体を動かす場所を提供し、サッカーを通じて心身共に健康増進を図ることを目的とする。
10	綾瀬こども文庫	任意	綾瀬地域の子どもたちが身近なところで本に親しめるための環境づくりを行う。
11	安藤昌益と千住宿の関係を調べる会	任意	安藤昌益と千住宿の関係を調査、研究、発表する活動とそれによる街おこしをする。
12	International Antique Institute	法人	日本及び世界各地のアンティークや美術品、骨董品に関する理解推進活動を行う。
13	NPO ナナツホシ	任意	親子を対象に区内外で自然観察や農業体験の実施をするとともに子どもの居場所づくりを行う。
14	NPO EUREKA	任意	子どもたちが本気で夢中になれることを見つけるきっかけとなる教育活動を行い、たくましく生きる人材を育成する。
15	おたまじゃくしクラブ	法人	若手の音楽家の育成のためのイベントを企画し実施する。
16	音まち計画	法人	足立区内の資源を有効活用し、まちを主体とした企画やイベントの立案と運営を行う。
17	おはなしのにな	任意	子どもたちの健全な情緒の発達に貢献していくために、保育園・学童保育室などを起点として、絵本の読み語り、手遊びを行う。

<b>【分野】 教育・文化・芸術・スポーツ</b>			
No.	団体名	形態	事業内容
18	キッズドア	法人	中学生のための放課後居場所づくり、大学生によるマンツーマンの学習支援をする。
19	C o d e r D o j o 足立	任意	定期的に子どもたちの主体的なプログラミング学習をサポートする活動を行う。
20	コーチングバリュー協会	その他	社会と教育の発展に寄与することを目的とし、子どもから高齢者を対象にコーディネーション運動指導を行う。
21	五色桜の会	法人	五色桜をテーマにした研究、芸術文化の発掘、創造。桜のまち足立の認知度向上に取り組む。
22	c o t o c a の楽校	任意	不登校、登校拒否、または自由な活動場所を必要とされている小学生の子どもたちに様々な体験を通して社会性の育成を目指す。
23	コミュニティーカフェ studio Re・BORN	任意	コミュニティーカフェとして地域活性化のための場所を提供する。
24	コミュニティー・サロン 「トゥギャザー」	任意	健康で楽しみを持ち、社会に貢献したいと考えるシニア世代の集まる場所をつくる。
25	サザンさわやか倶楽部	任意	団塊世代の生きがい・仲間づくりに寄与することを目的とし、スポーツ吹き矢、ウォーキングを通して交流を図る。
26	下町文化ウェディング協議会	任意	外国人観光客に対する体験イベント、区役所での届け出挙式などの婚活事業を行う。
27	承認力体操の会	任意	保育園や体育館において、体操指導を行う。希望団体に対し、承認力育成講演を行う。
28	千住文化普及会	法人	千住宿、芭蕉文学など郷土文化の伝承のため文化解説員の登録・養成をする。
29	全日本シニアアンサンブル連盟	法人	中高年を中心とするアンサンブル演奏（器楽）の振興を図り、生涯学習活動の向上発展を図る。
30	ソノ・エデュケーション	法人	学校におけるキャリア教育の充実を目的とし、学校での講演会や生徒への職業体験、就労支援を行う。
31	大衆芸術開拓組合	任意	工作や創作の講師を行い、健全なコミュニティの維持・発展に協力する。
32	C h a n c e F o r A l l	法人	小学生が放課後通う学童保育を運営する。
33	集もろう会	任意	古民家、ギャラリーを利用し、イベント、交流会、ワークショップを開催する。
34	哲学かふえ P a r a m 風	任意	月1～2回、ゲストを招いた講演会や意見交換会、哲学に関する勉強会を都内や地方に出向いて開催する。

<b>【分野】 教育・文化・芸術・スポーツ</b>			
No.	団体名	形態	事業内容
35	東京芸術着物協会	法人	日本の民族衣装着物の着付けを指導し、伝統文化の継承につとめる。銭太鼓を着物発表の場に取り入れている。
36	東京スケッチ会	その他	芸術活動への振興を目的に、スケッチ作品を作成する。
37	日本バトントワリング協会	法人	バトントワリングに関する教育普及、技術の向上、指導者育成に関する事業を行う。
38	日本ライフナビゲーター協会	法人	人間教育を行うことでライフナビゲートの普及啓発を促進する。
39	P a s t e l ・ S w i t c h	法人	演劇、朗読の公演、アテレコ等の話術演習を通じ、子どもの健全育成、より良い社会教育を推進する。
40	発達障がい児余暇活動クラブ カラフルキッズ	任意	発達障がい児や保護者の親睦、さまざまな経験を通して心を豊かにする活動としてデイキャンプ、調理実習、ゲーム大会等を行う。
41	P C N北千住	任意	無料のプログラミング教育を実施。子どもたちにプログラミングの楽しさを伝える。
42	ヒューマンラブエイド	その他	いじめ・虐待・引きこもり問題を中心に、子どもや保護者、学校支援を行う。
43	ふるさと学舎	法人	文化芸術およびスポーツ等の振興を目的とし、高齢者施設での文化活動等を行う。
44	ほしかぜ	その他	地域活性化を目的に、地域の子どもたちが様々なパフォーマンスを学び、イベントでの発表を行う。
45	マケナイズ	任意	デイケアサービス施設を中心に音楽活動を実施し、余生に元気を与える活動をする。
46	学びすとサロン学友会	任意	学習情報の提供、学習活動の継続化、学習実践者の相互交流、ネットワークづくりを行う。
47	ムジカ・フレスカ	法人	声楽に関する研究・育成・普及・交流をし、音楽家を志す若者の活動支援を行う。
48	メタノイア	法人	外国にルーツをもつ子どもの保育や日本語教育等の学習支援、外国人家庭や野宿生活者等の生活相談および支援する。
49	モアプレジャー	法人	SNS等を通して普段スポーツする機会が無い人達で集まり、誰でも気軽にスポーツできる環境を作る。
50	彌生プロ 舞踊ユニットてんつく+	任意	伝統的な日本舞踊に触れることで真のグローバルな日本人になれるよう尽力し、社会に貢献する。
51	やわらかアートアカデミー	任意	五感を使って絵を描くアートレッスンや作品の展覧会を開催することで、芸術に触れる機会の提供を行う。

**【分野】 教育・文化・芸術・スポーツ**

No.	団体名	形態	事業内容
52	～豊かな人生 CREATE～ akari's家	任意	働き方改革の提案やハンドメイド雑貨の販売、子ども向けワークショップを行う。
53	RUN JO KAI	任意	ランニングを通じた幅広い年代層へのスポーツの振興および市民の交流を行う。
54	朗読ユニットぽらりす	法人	「音」と「ことば」を通して、日本語の豊かな表現を広める活動、朗読講演、声の練習会等を開催する。
55	和文化継承委員会まほろば	任意	和文化のイベントを通じて地域の歴史に興味を持ってもらい、親や子どもの学びの場、地域の交流の場を提供する。

**【分野】 まちづくり・環境（23団体）**

No.	団体名	形態	事業内容
1	あだち・まちづくり・コモンズ	法人	自治体や地域住民と協働した新しい「あだちまちづくり」の推進をする。
2	足立活き活き会	任意	高齢者、障がい者、子どもたちの見守りや、地域活性化のための行事を行う。
3	足立区で歳を重ねるパートナーズ	任意	「Adachi Love」をコンセプトに足立区の魅力や足立区民にとって役立つ情報を発信する。
4	足立区本木・水辺の会	任意	本木ワンドの自然保護と活用。憩の水辺、環境学習の場としての維持管理を行う。
5	あだち動物共生ネットワーク	法人	ペットの飼育マナー向上、ペット防災、地域の野良猫問題の解決のため、啓発や情報発信を行う。
6	足立パドラーズ	任意	綾瀬川、毛長川、花畑川の美化活動（ゴミ拾い）やカヌー教室を開催する。
7	足立平成五色桜を育む会	任意	荒川づつみに植栽された五色桜を足立区の誇りとなるよう桜並木の成長を見守り、育む活動を行う。
8	綾瀬サロンほっとミックス	任意	年齢や性別にかかわらず、顔の見える関係を大切にしたい地域コミュニティをつくる。
9	あやせもりのひろば	任意	子どもまたはその家族の貧困や孤食の軽減を目指し「食育」や「交流」等の企画・運営を通じて健全な地域づくりを進める。
10	あらかわ学会	法人	荒川に関する調査や研究活動の報告、情報の交換ならびに交流の場を持つ。
11	エコロジー夢企画	法人	綾瀬川の環境調査と提言活動、生物生息環境調査、再生可能エネルギーの普及啓発を行う。
12	NPO 綾瀬わんわんサポーター	任意	公園内での犬と飼い主のマナーの向上や、犬を通じた住民の世代を超えた交流を行う。

<b>【分野】 まちづくり・環境</b>			
No.	団体名	形態	事業内容
13	“がきんちょ”ファミリー	任意	地域の大人と青少年の交流を目的に、誰もが出入りできる多世代交流の居場所運営を行う。
14	五反野ワンドの自然再生を考える会	任意	五反野ワンドを完成当時のように復元し、自然再生を目指す。
15	子ども食堂 ちゅーりっぷ	任意	子どもの孤食を減らし、子どもやその保護者が安心できる居場所づくりのため子ども食堂を実施する。
16	森林インストラクター会 フォレスト	法人	森林インストラクターの視点から森林環境生態系に関する啓発や教育、森林保全や再生に向けた活動を行う。
17	スマイル農園・食談会	任意	農業の体験と収穫物を食材として会食する活動を通じて、地域の人と人の絆をつなげる。
18	ナナシノ商店街	任意	商店から出る廃材を活用した買い物バッグの開発・製造・販売や、商店と顧客を繋げるイベントの開催を行う。
19	日本防災士会 足立区支部	法人	防災啓発活動、地域防災力向上、災害時における支援活動を行う。
20	ニャンコTNRの会	任意	TNR活動（飼い主のいない猫の不妊、去勢手術）によって野良猫を減らし、人と猫との共生、調和のとれた街づくりを目指す。
21	ベーゴマ普及協会	法人	ベーゴマを通じて世代、地域、伝統文化をつなぐ事を理念に、日々ベーゴマ回しを普及する。
22	防災ラジオ足立区準備会	任意	「災害に強いまち足立区」に貢献のため地域防災メディアの構築を目指し情報の発信、自治体との連携・協働の確立を進める。
23	UD社会創生社	任意	誰もが使いやすい、暮らしやすいデザイン（ユニバーサルデザイン）による社会を創生するための講演会等を行う。

**【分野】 IT/経済活動（2団体）**

No.	団体名	形態	事業内容
1	Code for Adachi	任意	ITを活用し、オープンデータの活用推進、プログラミング学習支援等を行う。
2	デジタル生活研究所	任意	デジタル化の利用動向に関する調査と研究や、デジタル機器の普及活動を行う。

## 【分野】国際交流・平和・人権（9団体）

No.	団体名	形態	事業内容
1	足立区女性団体連合会	任意	足立区の女性団体が連帯協力し、男女共同参画の推進と平和で豊かなまちづくりを目指し活動する。
2	Alliance YouToo	任意	ジェンダー平等を目指す講座や研修会の開催や、マガジン発行、対話会・読書会を行う。
3	人権問題研究協議会	その他	差別や人権侵害の防止と被害者の支援を行い、エンパワメントを高めることを目的とする。
4	なりわいプロジェクト	法人	働き方、生き方の活性化を目的とし、キャリアに関する情報発信や支援を行う。
5	日中経済技術促進会	任意	日中両国の経済、技術、文化、産業界をはじめ、産官学研の連携により両国の共なる発展に寄与する活動を行う。
6	日本語教室ともだち	任意	日本語の勉強を通じた相互理解の向上と親睦。外国人対象に日本語を教える。
7	M. U. M	任意	東アフリカ諸国の活動を支援する。地域（足立区）の環境問題に取り組む。
8	ミナー	その他	難民および難民申請者への支援を行い、日本の地域社会における難民との共生を目的とする活動を行う。
9	遺言相続後見ネット足立	任意	相続、遺言に関して、専門家による「無料相談会」「無料講習会」などの活動により、助言や支援を行う。

## 【分野】その他（9団体）

No.	団体名	形態	事業内容
1	愛着あだちの会	任意	足立区に愛着を感じるために何が必要かを研究。自主的な学習活動の場を作る。
2	アットホーム婚活ハウス	任意	ひとり親の結婚活動を支援するための相談、イベント、婚活セミナー等を開催する。
3	綾瀬学園綾瀬生涯センター	法人	障がい者（児）に対して通所治療教育を行う。
4	えがお	その他	相続、遺言、成年後見等に関する無料相談会を実施する。
5	職業能力開発支援機構	法人	再就職やキャリアアップ等を目的としたIT関連分野の職業訓練、教育訓練を行う。
6	団塊綾瀬ネットワーク「だんだん」	任意	団塊世代シニアの社会的参加を促進。子どもたちに物づくりの楽しさ、感動を伝える。

【分野】 その他			
No.	団体名	形態	事業内容
7	日本防災推進機構	法人	災害救援活動に役立つ講習会やイベントを開催し、地域の防災力を高める活動を行う。
8	F l e t c h e r	任意	小松菜のPR活動を行い、健康・食育・食品ロスへの関心を高める。子ども食堂や食育イベント、介護施設へ小松菜の提供をする。
9	ポルテホール連絡協議会	任意	地域づくりの為にNPOや地域の方が活動する場を提供し、住民全体の活動を広く社会に伝え地域の活性化に寄与する。

## 5 NPO活動支援センター令和2年度実績一覧

## (1) センター登録団体向け講座一覧

	実施日場 会	講座名 講 師 名	参加人数 (会場定員)
1	令和2年5月15日(金)	【中止】団体の労務管理	
2	令和2年6月25日(木)	【オンライン】NPO入門講座オンライン 「NPOの価値と『新しい日常』」 【講師】NPO活動支援センターコーディネーター 影山 貴大	YouTube13名
3	令和2年7月17日(金)	【中止】架空のイベントを題材にチラシを作成しよう	
4	令和2年7月31日(金)	【オンライン】『Zoom』を使ってみよう」 【講師】NPO法人埼玉情報センター秋元 創	YouTube13名
5	令和2年8月21日(金)	【中止】会計講座	
6	令和2年8月28日(金)	【オンライン】これからの団体活動 続け方と 終わり方 【講師】NPO活動支援センター コーディネーター 影山 貴大 相談員 田沼 繁	YouTube14名
7	令和2年8月28日(金)	【中止】助成金講座	
8	令和2年10月16日(金)	【オンライン】自分たちに合ったオンラインの 活用の仕方を見つけよう！ 【講師】NPO活動支援センター コーディネーター 野際 里枝	Zoom 6名
9	令和2年11月20日(金)	【オンライン】明日から試せる！ 参加しやすいオンラインの場の作り方 【講師】NPO活動支援センター コーディネーター 影山 貴大	Zoom 6名
10	令和2年12月5日(土) 梅田地域学習センター	【対面】新しい仲間の探し方「クラウドソーシ ング」 【講師】NPO法人いちかわライフネットワーククラブ 熊野 健志	8名 (15名)
11	令和2年12月12日(土)	【オンライン】はじめてのクラウドファンディ ング 【講師】FAAVO千葉幕張プロジェクトディレクター 上原 一紀	Zoom 7名

	実 施 日 場	講 座 名 講 師 名	参加人数 (会場定員)
12	令和3年 2月 6日(土) NPO 活動支援センター	【対面】YouTube ではじめてみよう！動画で身近な団体紹介 【講師】NPO 法人横浜コミュニティデザイン・ラボ 小泉 学	9名 (15名)
13	令和3年 2月 25日(木)	【オンライン】いよいよリニューアル！ 新あだち協働パートナーサイト操作説明会	Zoom 7名
合計			83名

年間計画：13回 ※新型コロナウイルス感染症対策により4講座中止

## (2) 相談事例等

分野・件数	主な相談・支援内容
団体運営関連 【96件】	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動、事業展開への助言</li> <li>活動場所等の紹介</li> </ul>
その他 (区民・新規団体等からのお問合せ) 【71件】	<ul style="list-style-type: none"> <li>団体登録設立</li> <li>団体登録申請</li> <li>講座の紹介</li> </ul>
団体の紹介関連 【66件】	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動団体の紹介</li> <li>他団体との事業連携</li> </ul>
助成金・補助金関連 【52件】	<ul style="list-style-type: none"> <li>げんき応援事業助成金申請内容の助言</li> <li>民間団体助成金の紹介、申請への助言</li> <li>申請書類作成及びプレゼンテーションへの助言</li> </ul>
法人化手続き 【46件】	<ul style="list-style-type: none"> <li>法人化への助言（メリット、デメリット等）</li> <li>事業報告書作成、定款変更等の助言および作成支援</li> </ul>
都・法務局関連 【8件】	<ul style="list-style-type: none"> <li>登記関係書類作成の助言</li> <li>事業報告書作成の助言</li> </ul>

## 【総合相談事例1】

毎月事業を行っているが、参加者数も増え、継続的に費用が掛かっている。コロナ禍で感染対策での出費も増えているため、団体の資金確保について相談したい。

## ■支援及び実現内容

以下のような対応策を提案した。①役員・会員と相談し、会費を徴収する（会則の変更が必要になることを説明。）②都度、必要経費を参加費として徴収する（参加費は必要最小限に抑えるよう助言。）③助成金を活用する（区の「公益活動げんき応援事業助成金」やセンターのメルマガ、機関紙「あだちの轍」で発信している助成金情報を再度提供。）

後日、助成金の申請を検討しているとの回答があり、申請書類の確認や手続き方法等、助成金申請に向けた支援を行った。

## 【総合相談事例2】

今年度の総会を行うにあたり、会員数が多く、通常の方法では密な状況が避けられないため、方法を相談したい。

## ■支援及び実現内容

以下のような対応策を提案した。①センターのA会議室およびB会議室間で Zoom による中継を行うことで、会員を分散し1部屋内の人数を減らす（Zoom の仕様を説明。）②書類決議により「みなし総会」を行う（必要書類や手順を案内。）

後日、会議室間の中継により総会を行いたいという回答があったため、機材の貸出やリハーサルの支援を行った。

## (3) 子ども食堂・フードパントリー団体への提供食品一覧

食品提供元	主な提供食品	提供数（年間）	提供団体数 （重複あり）
青森県農家	・ りんご	480個	14団体
阿久津ブロイラー株式会社	・ 鶏むね肉	60キロ (2キロ×30袋)	11団体
有限会社浅野商店	・ 冷凍食品 ・ 加工用食品 ・ 調味料 他	265個	16団体
カルビー株式会社	・ フルーツ グラノーラ	45キロ (50グラム×900袋)	9団体
株式会社享屋	・ 生麺 等	約500食	4団体
津軽みらい農業協同組合	・ 津軽みらい米	400キロ (5キロ×80袋)	13団体
東京東信用金庫	・ アルファ米 ・ 非常用水 等	826個	5団体
株式会社農友	・ いろは米	360キロ (5キロ×48袋) (2キロ×60袋)	18団体
株式会社ハリカエ	・ 鶏もも肉 ・ 鶏むね肉	732キロ (2キロ×366袋) 644キロ (2キロ×322袋)	18団体
フードドライブ (未利用食品の回収)	・ インスタント食品 ・ 缶詰 ・ 菓子類 ・ 調味料 ・ 飲料 他	1,007個	12団体
ロート製薬株式会社	・ 栄養補助飲料	1,400袋	12団体

## (4) 意見交流会一覧

	実施 会 場	タイトル	参加団体・人数
1	令和2年6月18日(木) NPO活動支援センター	【対面+オンライン】 コロナ後に向けた地域の取り組み会議	会場 4名 Webex 24名
2	令和2年6月21日(木)	【中止】まちづくりゲームをやってみよう	
3	令和2年7月25日(土)	【中止】SSWとの交流会	
4	令和2年8月7日(金)	【中止】広報担当者による意見交流会	
5	令和2年8月29日(土)	【中止】若者や学生に求められるもの求めるもの	
6	令和2年9月5日(土) NPO活動支援センター	【対面】新型コロナウイルス感染症を受けて これからのための情報交換会	11名
7	令和2年10月3日(土) ギャラクシティ	【対面】女性視点の防災について考えよう (皆援隊講座連動企画)	7名
8	令和2年11月7日(土) 梅田地域学習センター	【対面】子ども食堂サミット (皆援隊講座連動企画)	14名
9	令和2年11月21日(土)	【中止】あだちNPOフェスティバル 2020振り返り会	
10	令和3年2月13日(土) NPO活動支援センター	【対面】子どもへつなげるオンライン	7名
11	令和3年3月13日(土)	【中止】足立区公益活動げんき応援事業助成 金説明会	
合計			67名

年間計画：11回 ※新型コロナウイルス感染症対策により6交流会中止

## (5) あだち皆援隊講座一覧

	実 施 日 場 会 場	講 座 名 講 師 名	参加人数 (会場定員)
1	令和2年4月25日(土)	【中止】まちを知り まちとつながる はじめの一步 【講師】愛着あだちの会	
2	令和2年6月14日(日)	【中止】「地元」を楽しむゲーム作り 【講師】FAAVO 千葉幕張プロジェクトディレクター 上原 一紀	
3	令和2年6月21日(日)	【中止】学んで活かすやさしい日本語 【講師】東京日本語ボランティア・ネットワーク	
4	令和2年8月8日(土) 梅田地域学習センター	【対面】地域とまなぼう！キッズ★ラボ～親子 で楽しむ体験教室～ 「天然の木を使って工作しよう」 【講師】NPO 法人森林インストラクター会フォレスト	5組10名 (5組10名)
5	令和2年8月22日(土) NPO 活動支援センター	【対面】地域とまなぼう！キッズ★ラボ～親 子で楽しむ体験教室～ 「ゴッホ気分でキャンパスにひまわりを描こう」 【講師】やわらかアートアカデミー	4組8名 (5組10名)
6	令和2年8月23日(日) NPO 活動支援センター	【対面】地域とまなぼう！キッズ★ラボ～親 子で楽しむ体験教室～ 「太陽パワーで温水実験」 【講師】NPO 法人エコロジー夢企画	4組8名 (5組10名)
7	令和2年8月29日(土) 梅田地域学習センター	【対面】地域とまなぼう！キッズ★ラボ～親 子で楽しむ体験教室～ 「自分で作る『みんなのまち』」 【講師】NPO 法人あだち・まちづくり・コモンズ	3組8名 (5組10名)
8	令和2年9月26日(土) ギャラクシティ	【対面】女性視点の防災を知る 【講師】足立区総合防災室災害対策課 下川 貴行 聖路加国際大学大学院看護研究科教授 五十嵐 ゆかり	23名 (30名)
9	令和2年10月10日(土) ギャラクシティ	【対面】カードゲーム de SDGs 体験 【講師】千葉商科大学教授 朽木 量	20名 (25名)
10	令和2年11月14日(土)	【中止】子ども食堂スタッフ体験	
11	令和2年11月23日(月) ギャラクシティ	【対面】子どもの虐待防止のためにあなたができ ること 【講師】社会福祉法人子どもの虐待防止センター 青木 幸子	22名 (25名)
12	令和2年12月5日(土)	【中止】寄附文化の歴史から学ぶ～あなたも できる社会貢献～	

【あだち皆援隊講座一覧】			
	実施 会 場	講座名 講 師 名	参加人数 (会場定員)
13	令和2年12月12日(土)	【中止】太極拳を通じて健康づくりの輪を広げよう！	
14	令和2年12月19日(土) 足立区役所庁舎ホール	【対面+オンライン】あだち子ども食堂フォーラム 【講師】NPO法人全国子ども食堂支援センター むすびえ 森谷 哲 一般社団法人ともしび at だんだん 代表理事 近藤 博子	会場 43名 (50名) YouTube 生放送 視聴数 17名
15	令和3年1月16日(土) NPO活動支援センター	【対面+オンライン】あなたの「得意」が地域のチカラになる プロボノ入門講座 【講師】認定NPO法人サービスグラント 上原 一紀	会場 4名 (20名) Zoom 24名
16	令和3年1月23日(土) シアター1010	【対面】レゴ®でコミュカUP！ レゴ®・シリアスプレイ®体験 【講師】NPO活動支援センターコーディネーター 影山 貴大	7名 (20名)
17	令和3年2月11日(木) 梅田地域学習センター	【対面】地域課題をビジネスで解決する コミュニティビジネス講座 アイデア創出編 【講師】CALICO LEGAL 行政書士事務所 所長/ (株)CALICO DESIGN 代表取締役 藤井 祐剛	21名 (20名)
18	令和3年2月11日(木) 梅田地域学習センター	【対面】地域課題をビジネスで解決する コミュニティビジネス講座 ビジネスモデル づくり編 【講師】CALICO LEGAL 行政書士事務所 所長/ (株)CALICO DESIGN 代表取締役 藤井 祐剛	20名 (20名)
19	令和3年2月27日(土) シアター1010	【対面+オンライン】人生100年時代 ～誰もがゆるやかにつながる地域のつくり方～ 【講師】東京大学大学院 教育学研究科教授 牧野 篤	会場 22名 (30名) Zoom 35名
20	令和3年3月13日(土) NPO活動支援センター	【対面+オンライン】住みたいあだちをみんな で語る まちづくりワークショップ 【講師】NPO活動支援センターコーディネーター 影山 貴大	会場 14名 (20名) Zoom 5名
21	令和3年3月14日(日) 生涯学習センター	【対面】親子でコンピュータープログラミング 体験 【講師】Code for Adachi	5組 10名 (5組 10名)
合計			321名

年間計画：21回 ※新型コロナウイルス感染症対策により6講座中止

## 6 令和2年度「足立区公益活動実態調査」調査結果

### (1) 調査の目的

本調査は、区内のNPO活動団体等の現状や課題、行政の団体支援に対するニーズを把握することを目的に平成22年度から隔年で実施しており、調査結果については団体の継続的な運営や活動の発展に寄与する支援事業の見直し等に活用していく。

### (2) 調査方法

「令和2年度足立区公益活動実態調査票」（資料編参照）により、365団体に対し個別に調査し、228団体から回答を得た。

### (3) 調査対象団体

法人格の有無により、課題や今後の支援が異なるため、以下の種別に調査を行った。

#### ア 任意団体（121団体から回答）

NPO活動支援センターまたは総合ボランティアセンターに登録している法人格を持たない公益活動団体

#### イ 法人（107団体から回答）

区内に「主たる事務所」または「従たる事務所」があるNPO法人、一般社団法人、社会福祉法人および公益社団法人

### (4) 調査実施期間

令和2年8月26日～令和2年11月30日

### (5) 回収結果

対象団体	送付団体数	回答団体数	送付不能・未回答団体数	回収率
任意団体	157	121	36	77%
法人	208	107	101	51%
合計	365	228	137	62%

※ NPO活動支援センターと総合ボランティアセンターに重複登録している場合は、総合ボランティアセンター分を送付団体数から除く。

### (6) 調査項目

#### ア 団体の運営や活動に関する事項

- (ア) 団体の概要（活動分野・組織等）について
- (イ) 資金状況について
- (ウ) 運営状況について
- (エ) 今後の活動について
- (オ) 団体のPR方法について
- (カ) NPO法人化（一般社団法人化を含む）について
- (キ) 資金調達と助成金等の活用について
- (ク) 行政との連携・協働・協創について

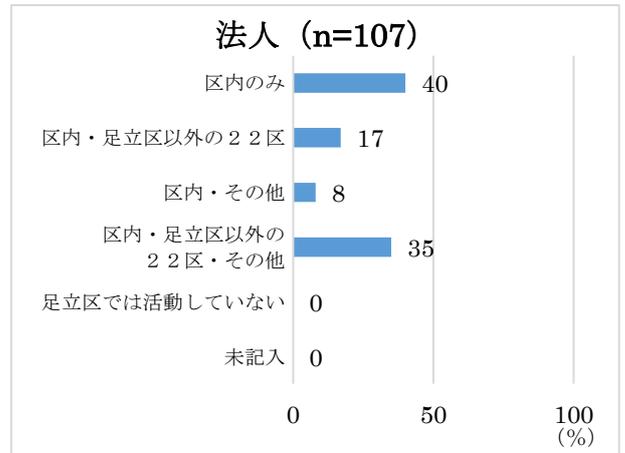
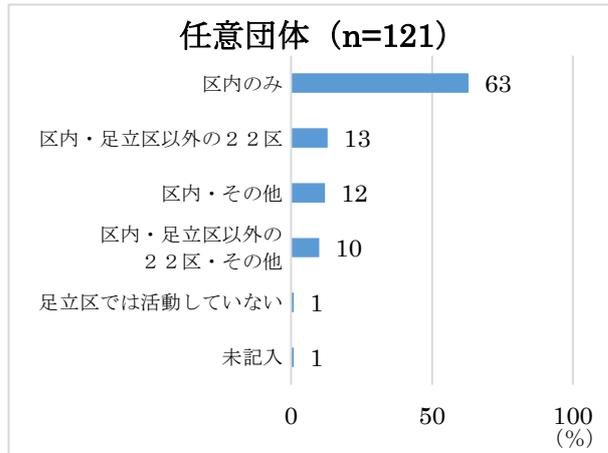
#### イ 足立区NPO活動支援センターについて

#### ウ コロナ禍におけるWeb会議システムの活用状況について

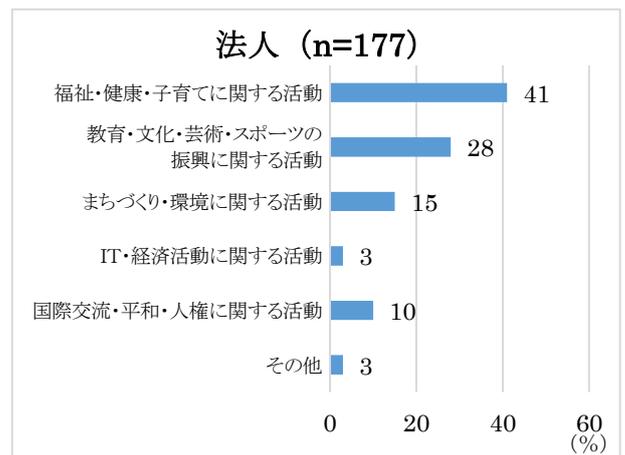
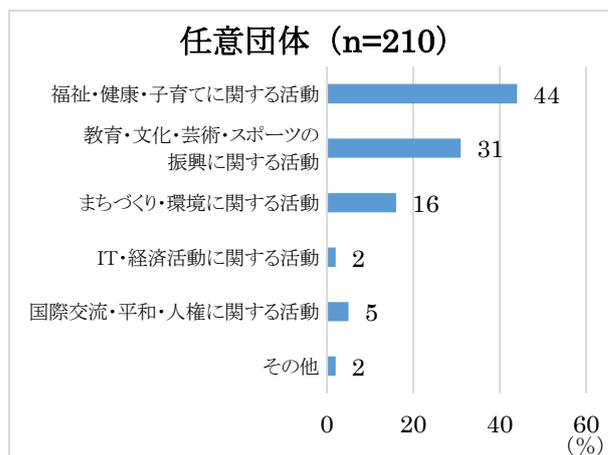
#### エ 町会・自治会との繋がりについて

【団体の運営や活動に関する事項】

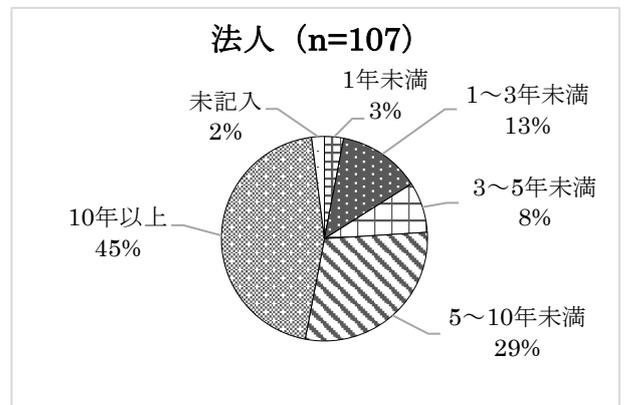
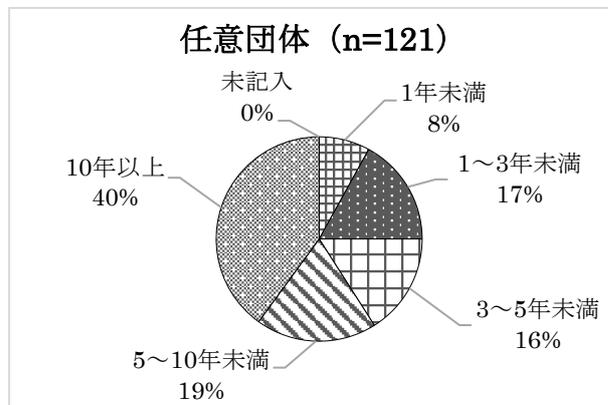
問1 団体の活動エリアについて



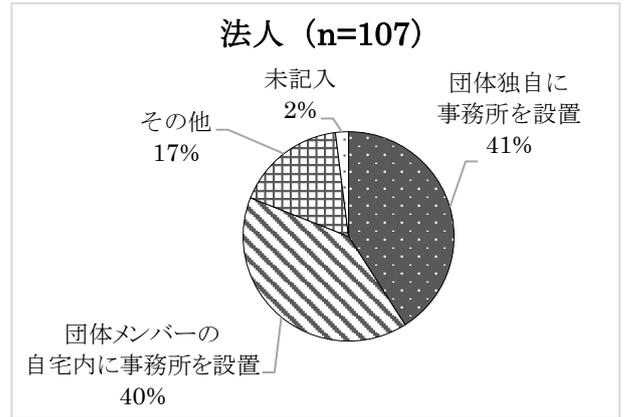
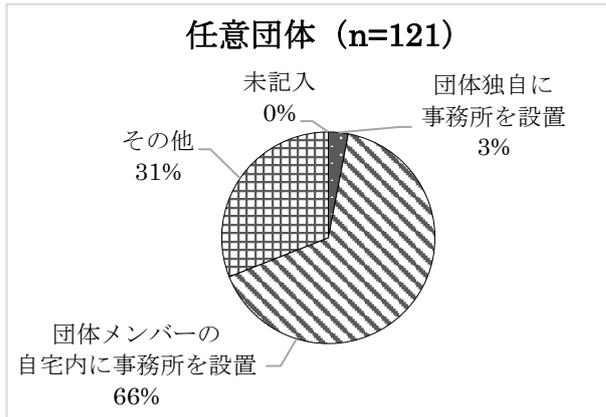
問2 団体の活動分野について (複数回答)



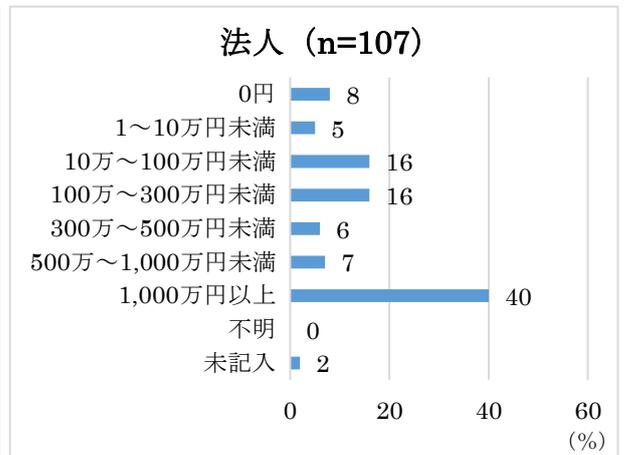
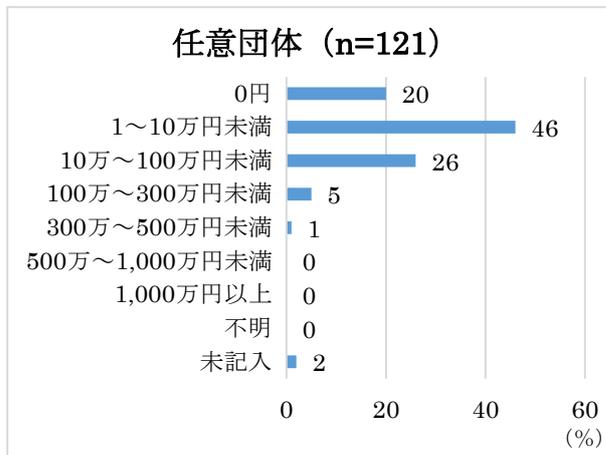
問3 団体を設立してからの期間について



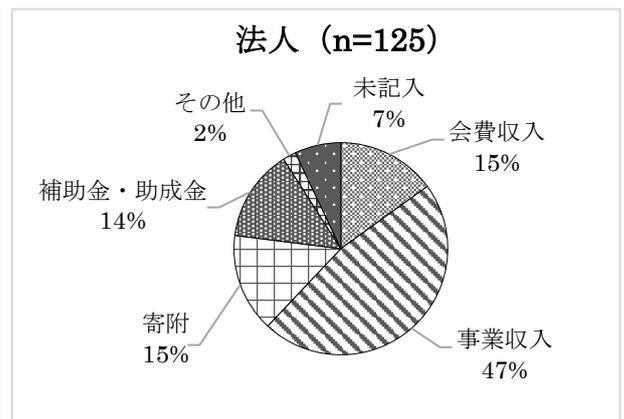
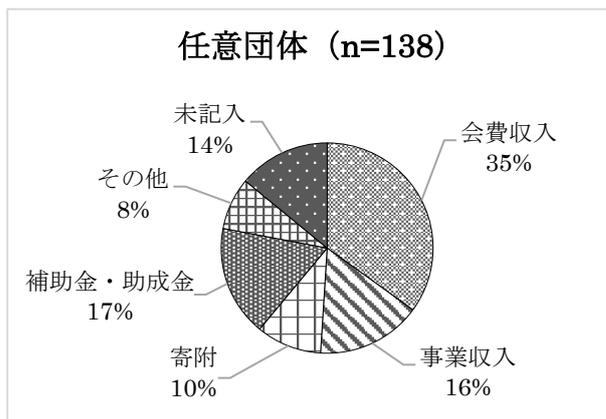
**問4 団体事務所の設置形態について**



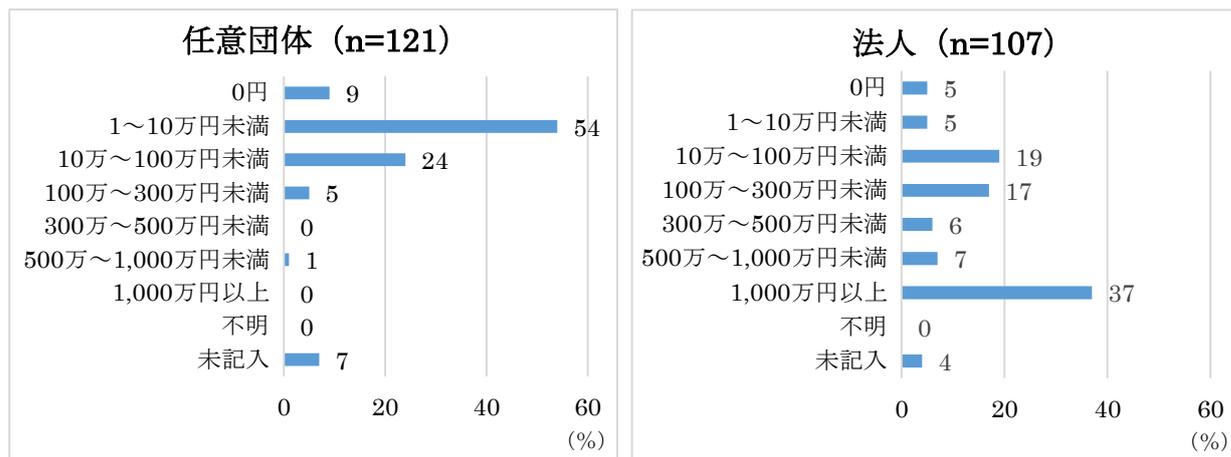
**問5 昨年度の収入総額について**



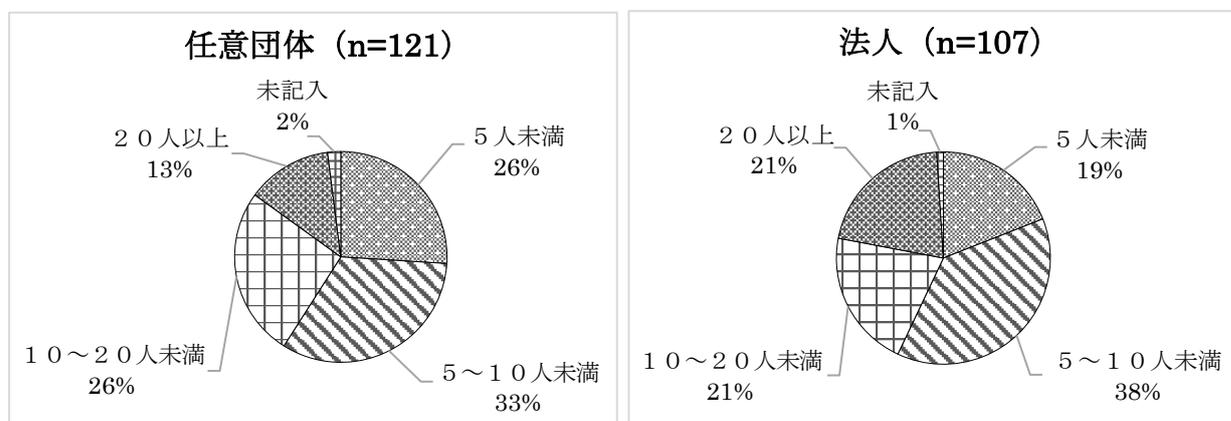
**問6 主な収入源について (複数回答) ※収入のある団体のみ**



**問7 昨年度の支出総額について**



**問8 日頃の団体運営に関わるメンバーの人数について**

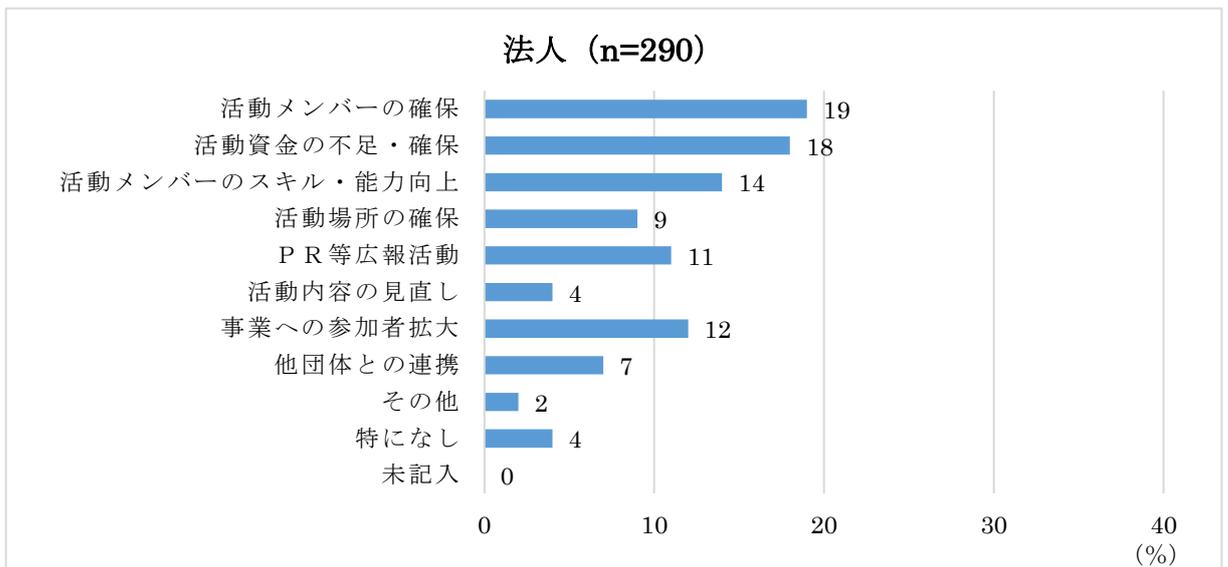
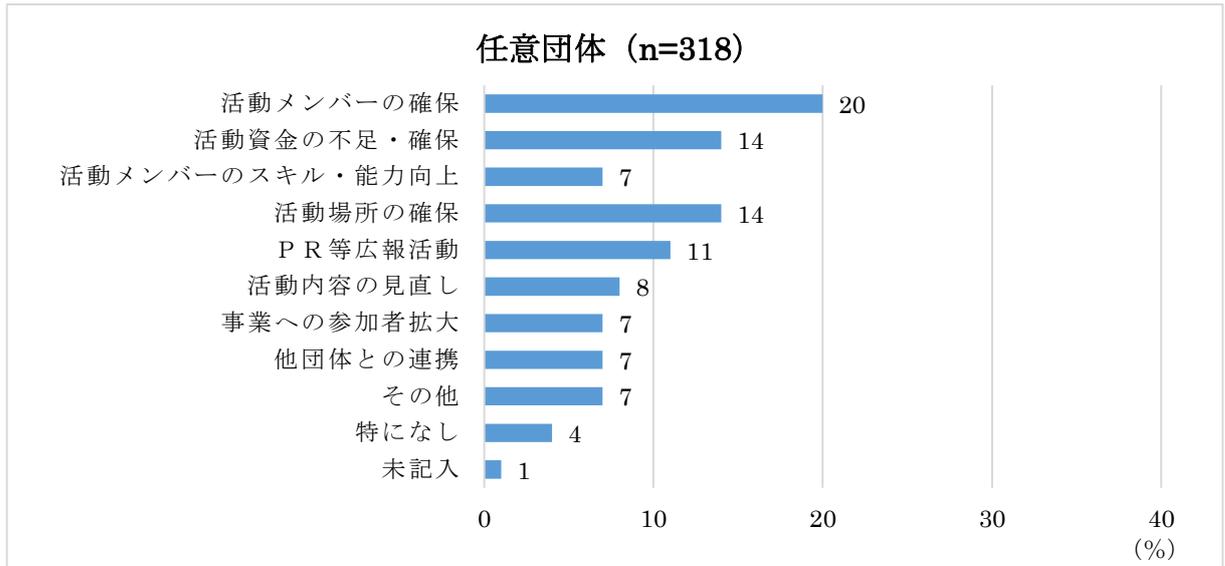


**【メンバーの年代別構成】**

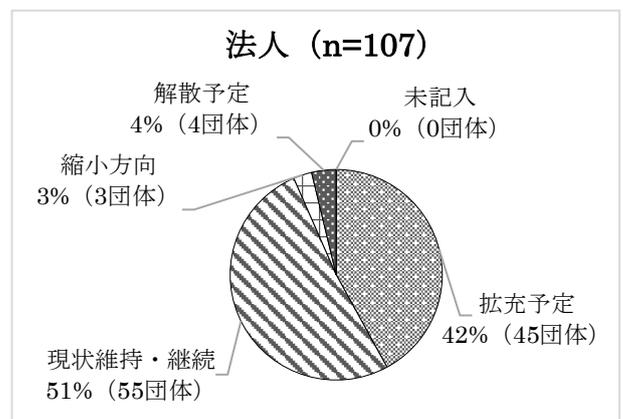
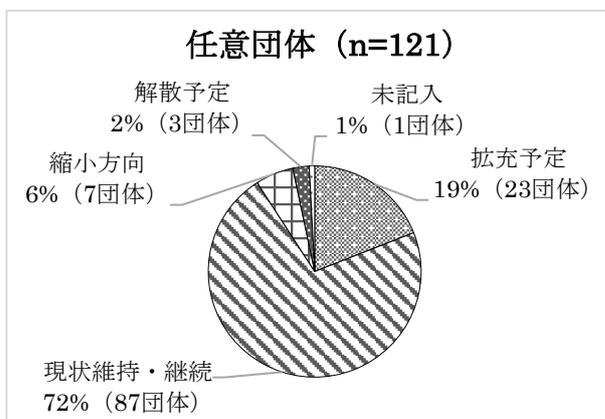
	全体人数 (割合)	任意団体 (割合)	法人 (割合)
20歳未満	82人 (3.1%)	43人 (3.7%)	39人 (2.6%)
20歳代	167人 (6.3%)	50人 (4.3%)	117人 (7.9%)
30歳代	326人 (12.3%)	109人 (9.3%)	217人 (14.6%)
40歳代	463人 (17.4%)	177人 (15.2%)	286人 (19.2%)
50歳代	505人 (19.0%)	170人 (14.6%)	<b>335人 (22.5%)</b>
60歳代	496人 (18.7%)	231人 (19.8%)	265人 (17.8%)
70歳代以上	<b>616人 (23.2%)</b>	<b>386人 (33.1%)</b>	230人 (15.4%)
合計	2,655人	1,166人	1,489人

※網掛け部分・・・各団体の最も多い年代層

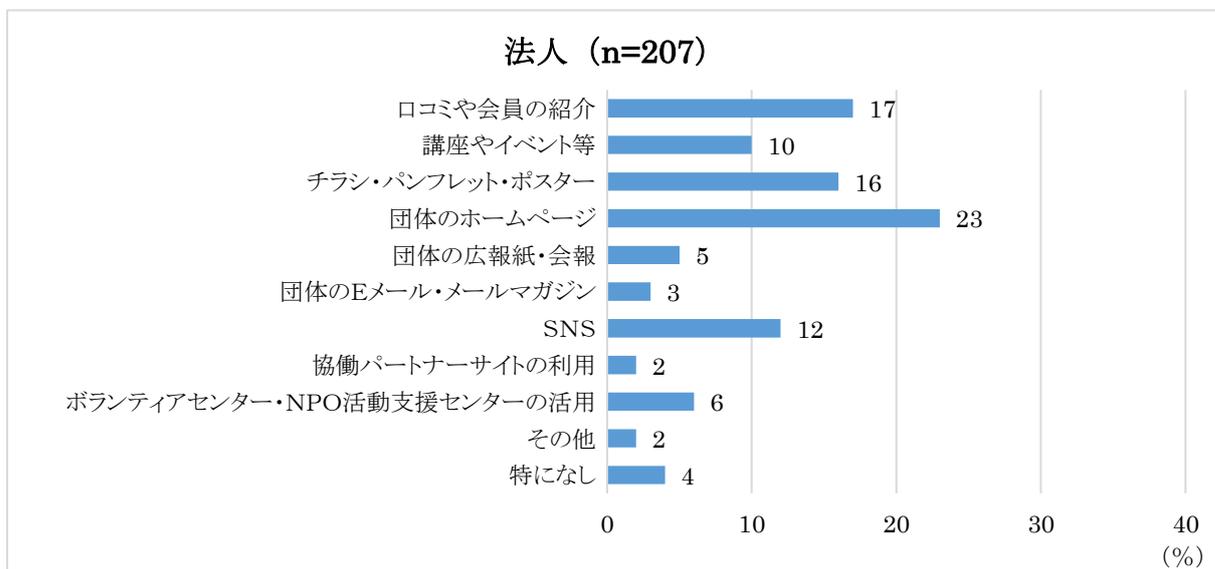
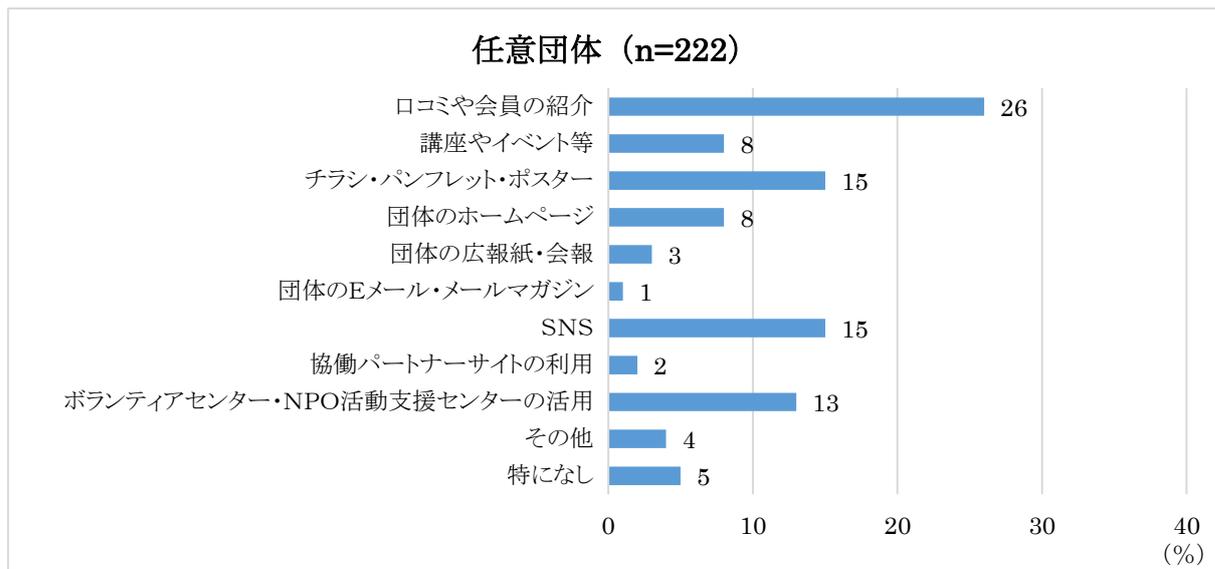
**問9 現在抱えている活動上の問題点や課題について（複数回答）**



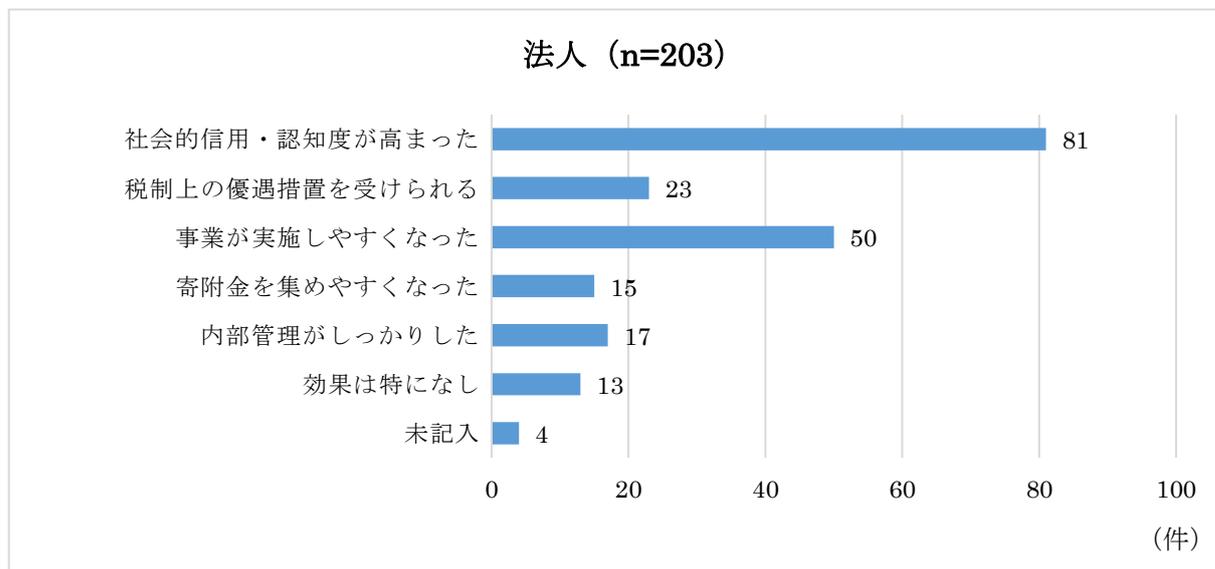
**問10 今後の活動方針・展望について**



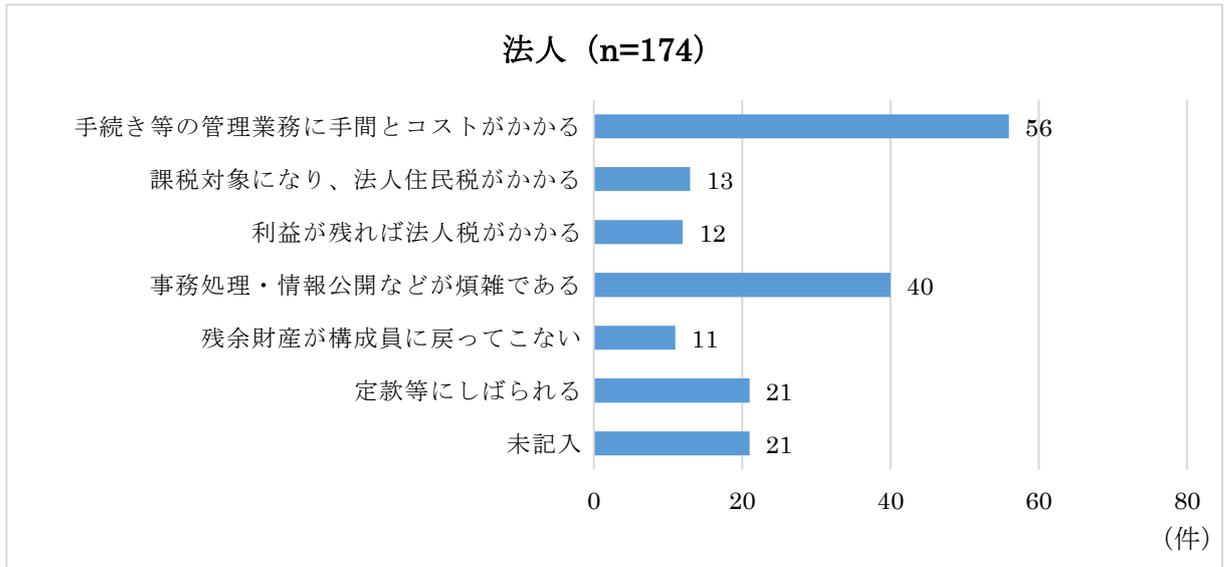
**問11 現在の主なPR方法について（複数回答）**



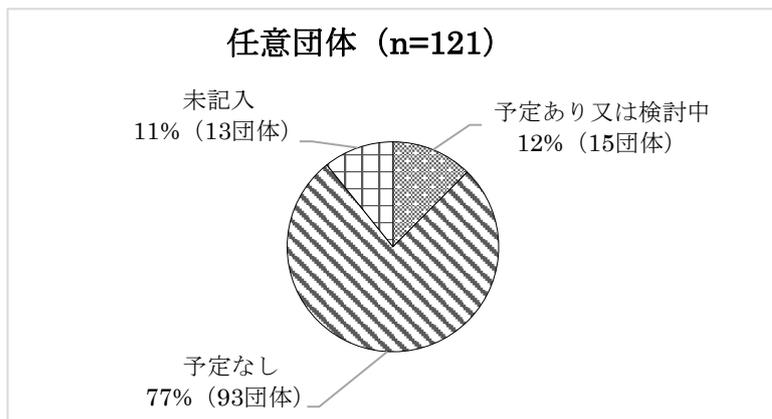
**問12 法人化により得られた効果について（複数回答） ※法人のみ**



**問13 法人化によるデメリットについて（複数回答） ※法人のみ**



**問14 今後NPO法人格取得の予定について ※任意団体のみ**



**「予定あり又は検討中」と回答した理由（複数回答）**

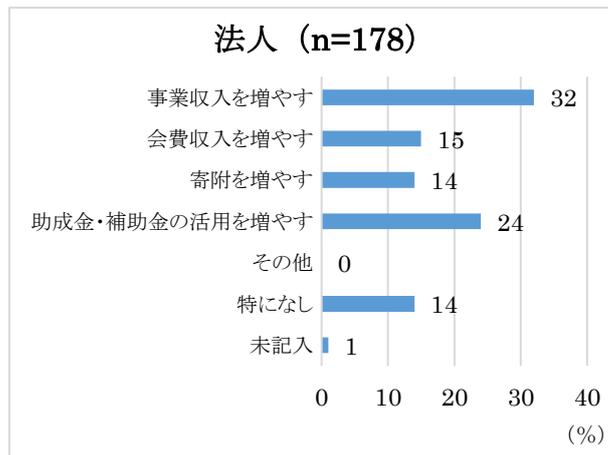
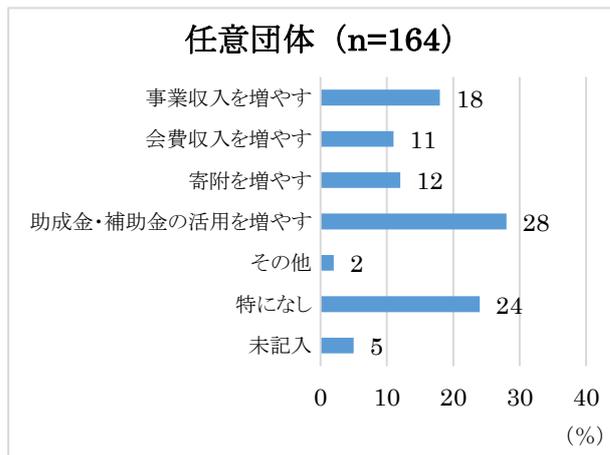
「予定あり又は検討中」の理由	任意団体
社会的な信用がつく	12
法人名義で契約できる	7
法人として従業員が雇用できる	6
法人として法的なルールに則って活動できる	5
法人名義で財産が保有できる	4
未記入	0
合 計	34

**問14 今後NPO法人格取得の予定について ※任意団体のみ（続き）**

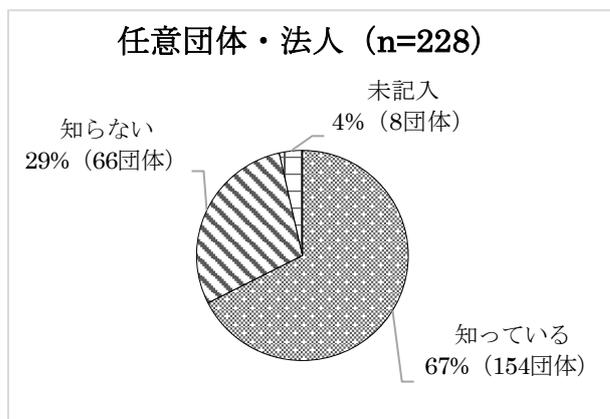
「予定なし」と回答した理由（複数回答）

「予定なし」の理由	任意団体
現在の活動形態を変えたくない	45
事務処理上の負担が増える	43
メリットが少ない	25
NPO法の定める諸条件に満たない	14
NPO法の詳細が分からない	13
団体の自主性が損なわれる	8
未記入	6
合 計	154

**問15 団体の資金調達に関する今後の方針について（複数回答）**

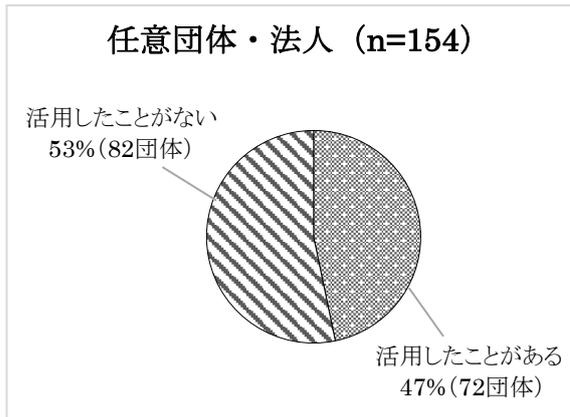


**問16 「足立区公益活動げんき応援事業助成金」について**



回答内訳	全体	任意	法人
知っている	154	91	63
知らない	66	23	43
未記入	8	7	1
合 計	228	121	107

## 問17 「足立区公益活動げんき応援事業助成金」の活用について ※既知団体のみ

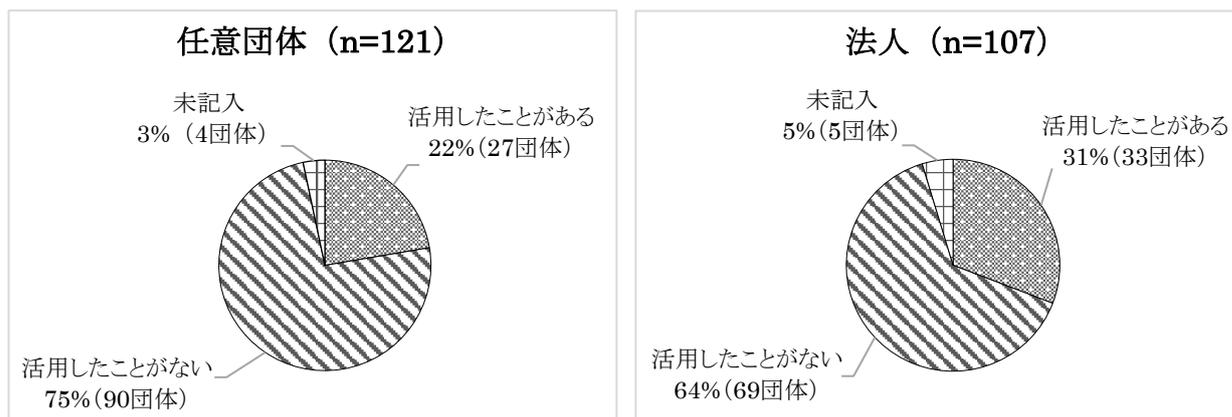


回答内訳	全体	任意	法人
活用したことがある	72	45	27
活用したことがない	82	46	36
合計	154	91	63

## 「活用したことがない」と回答した理由（複数回答）

「活用したことがない」の理由	任意団体	法人
特に必要がない	15	8
申請手続きが面倒	11	11
対象となる事業がない	8	7
助成対象や時期など詳しい内容を知らない	3	8
申請時期が合わない	3	3
他の助成金を受ける予定があった	3	0
事業規模と助成金額が合わない	1	2
その他	11	8
未記入	2	2
合計	57	49

**問18 国や都区、民間団体等による助成金等の活用について**



**【活用した主な助成金例】**

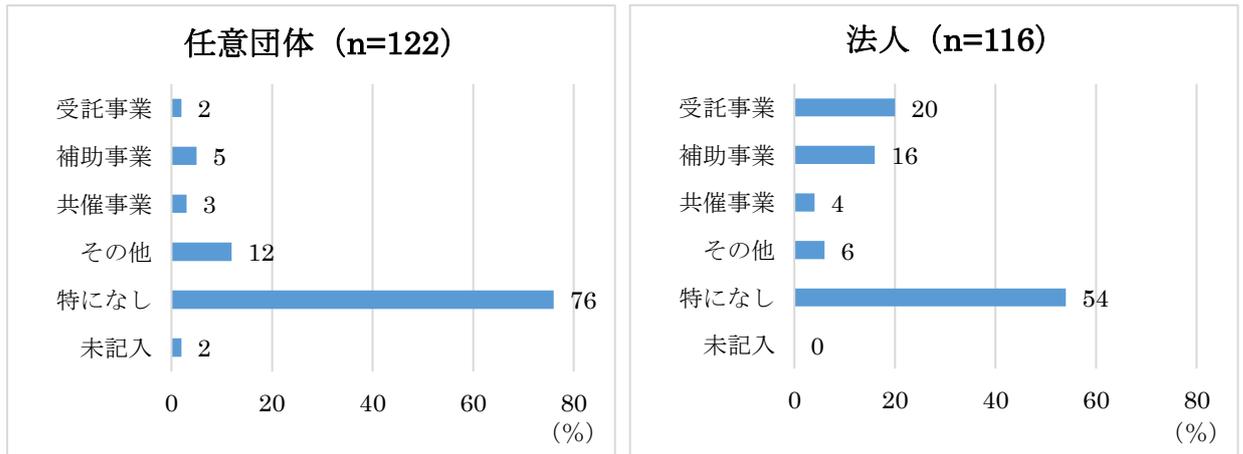
団体種別	助成金名称等
任意団体	足立区まちづくりトラスト助成金
	足立区社会福祉協議会補助金
	麒麟福祉財団助成金
	東京ボランティア・市民活動支援総合基金「ゆめ応援ファンド」
	子どもゆめ基金助成金
	日本財団助成金
法人	足立区精神障がい者日中活動サービス推進事業補助金
	足立区障がい者日中活動系サービス推進事業補助金
	足立区子育てサロン事業補助金
	日工組社会安全研究財団広域安全事業助成金
	麒麟福祉財団助成金
	丸紅基金助成金

**問19 「足立区公益活動げんき応援事業助成金」へのご意見・ご要望**

**※主なものを掲載**

- ・ 素晴らしい制度です。大変助かりました。
- ・ 収益の見込みのない地域活動もあるので、恒久的に利用できるようにしてほしい。
- ・ 助成額が少ない。
- ・ 手続きを簡素化してほしい。
- ・ 申請受付期間を延ばしてほしい。
- ・ 助成回数を増やしてほしい。
- ・ ステップアップコースにおいて、年々事業は拡大しているのに、助成額は減額されていくことが理解し難い。
- ・ 詳しく知りたい。

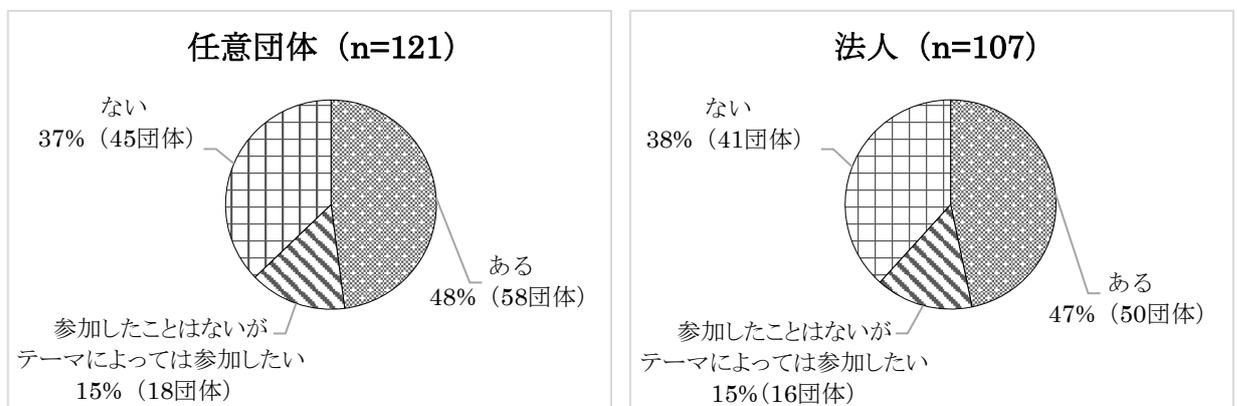
**問20 行政との連携・協働・協創状況について（複数回答）**



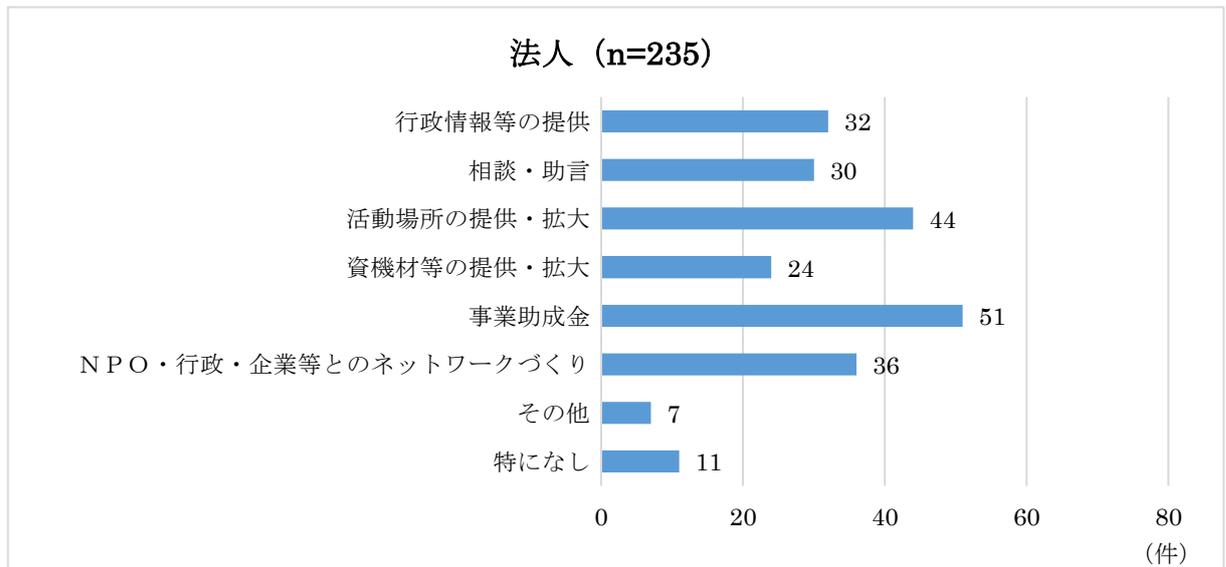
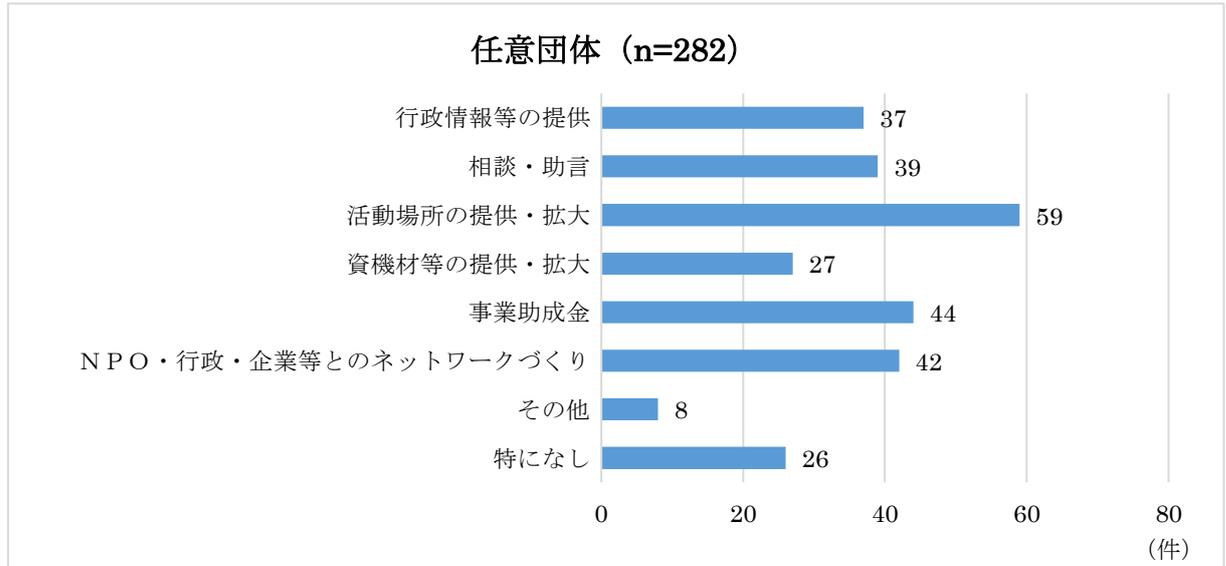
**【主な連携・協働・協創事業例】**

連携・協働・協創の活動形態	事業名等
受託事業	日中保護事業
	学童保育室
	子育てサロン事業
	ペアレントメンター事業
補助事業	資源回収
	日本語ボランティアグループ
	精神障がい者日中活動系サービス推進事業
共催事業	足立区凧まつり
	アートアクセスあだち音まち千住の縁事業

**問21 行政との情報共有の場となる定期的な交流会の参加について**

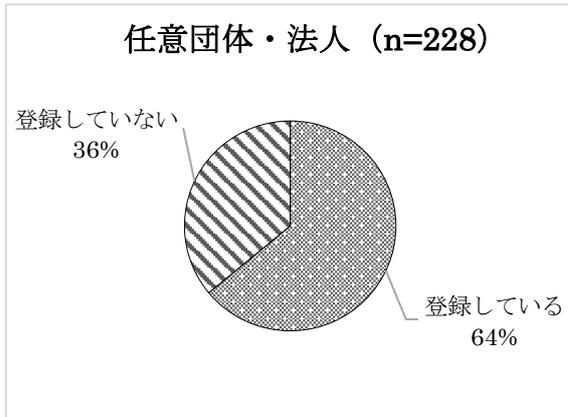


**問22 行政に期待する支援について（複数回答）**



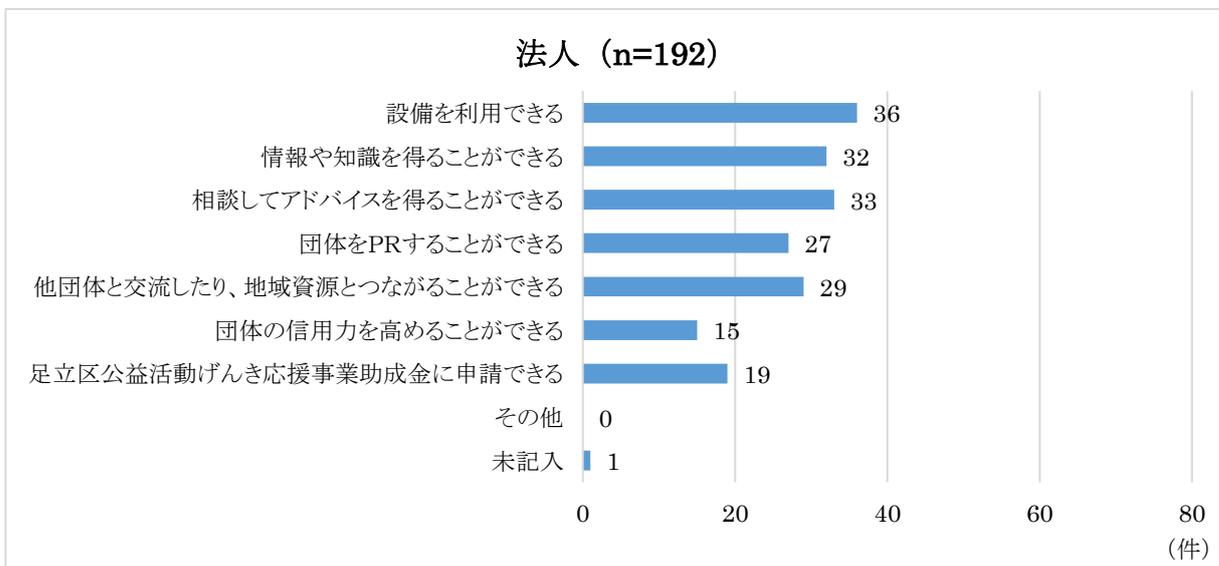
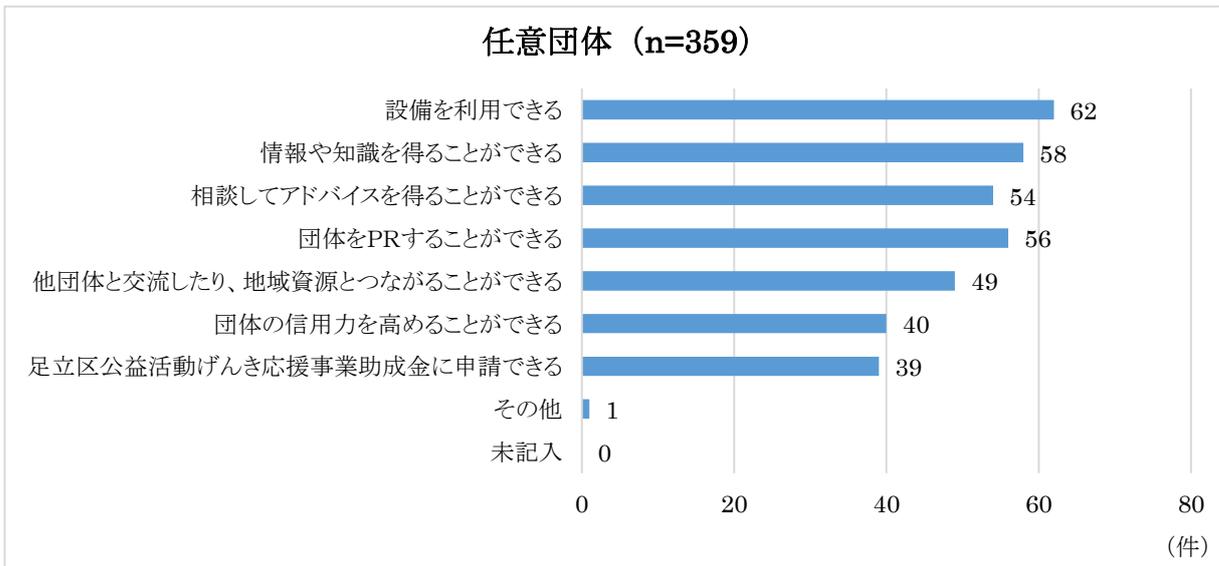
【足立区NPO活動支援センター（以下、センター）について】

問23 センター登録の有無について

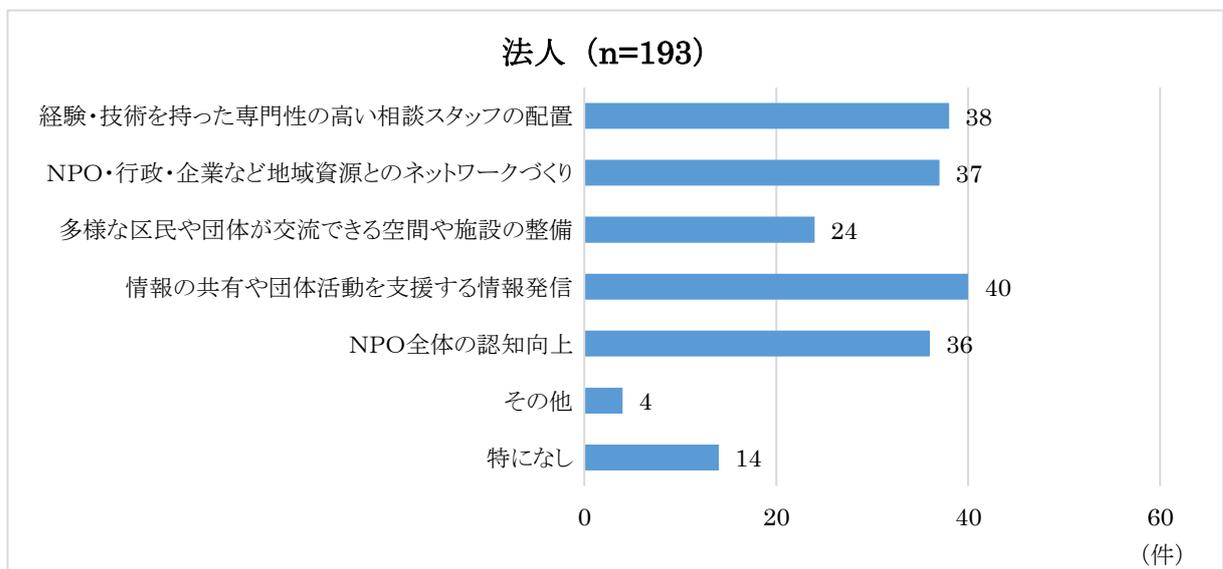
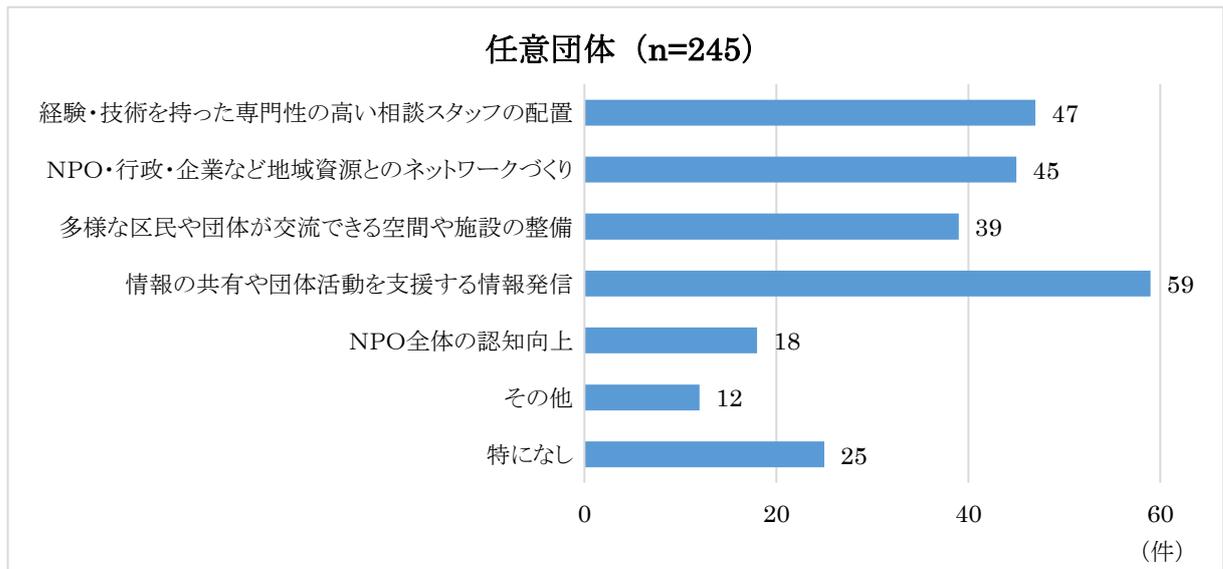


回答内訳	全体	任意	法人
登録している	145	88	57
登録していない	83	33	50
合計	228	121	107

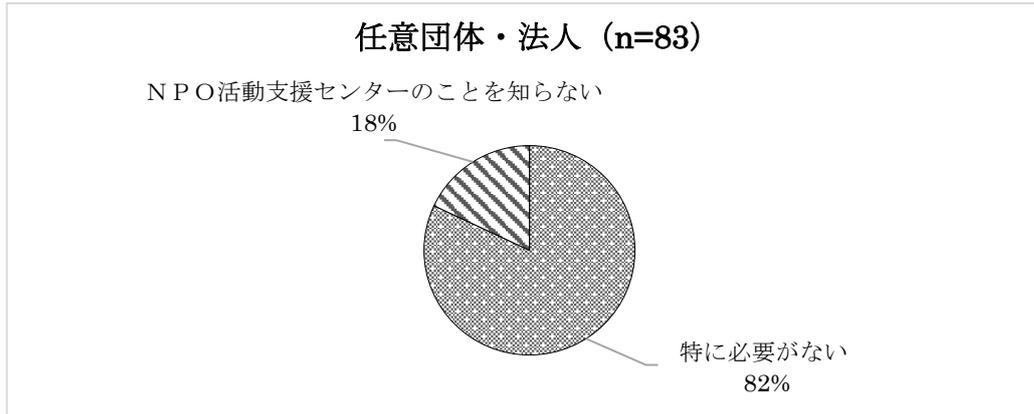
問24 センター登録している動機について（複数回答） ※登録団体のみ



**問25 センターに期待することについて（複数回答）**



## 問26 センターに登録していない理由について ※未登録団体のみ



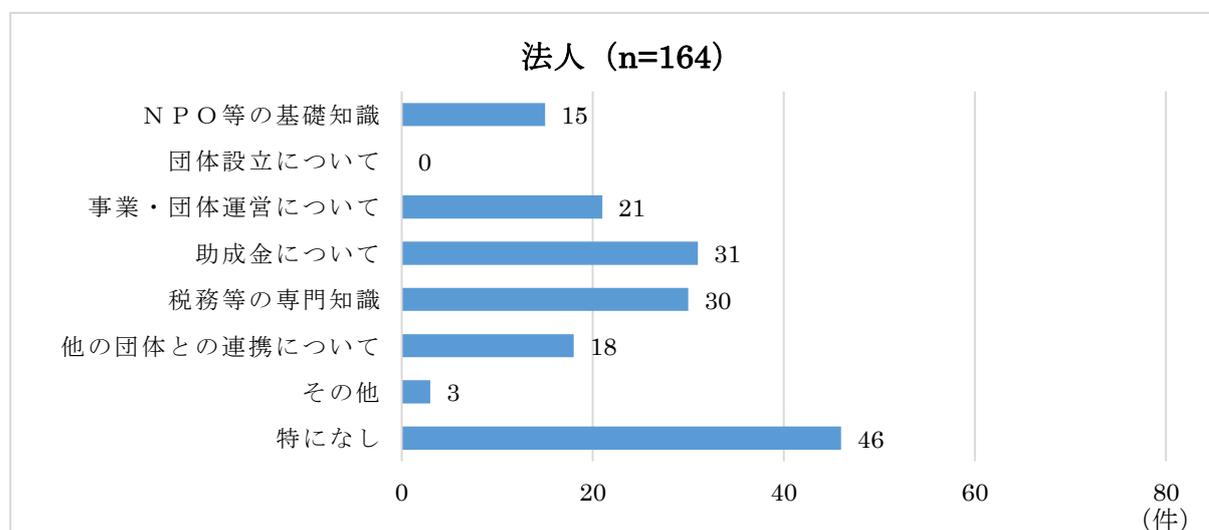
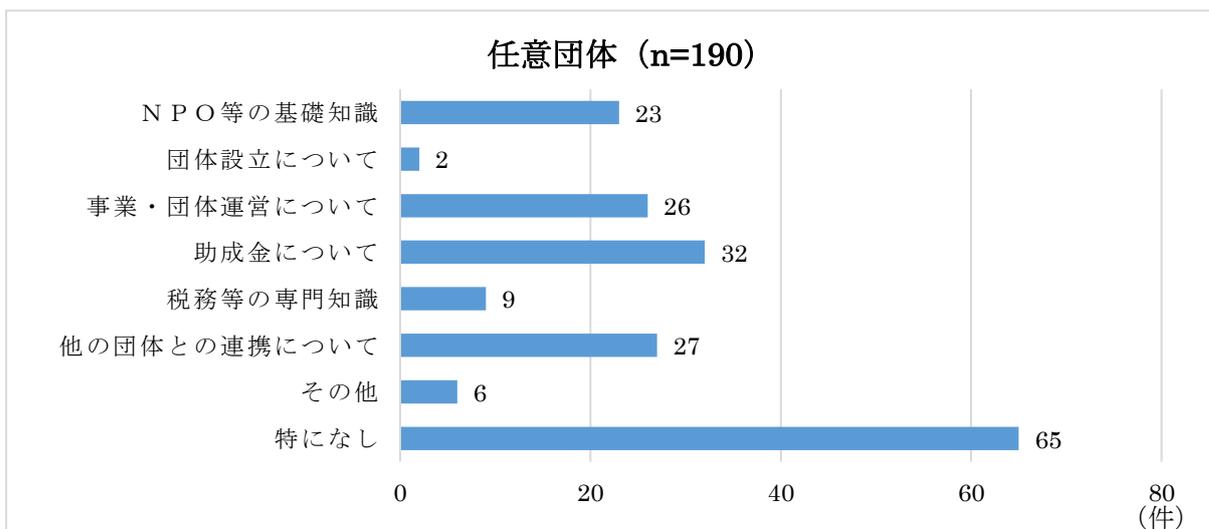
## 「特に必要がない」と回答した理由（複数回答）

「特に必要がない」の理由	全体	任意団体	法人
相談することがない	16	11	5
利用できる施設・設備がない	5	1	4
登録などの手続きが煩雑	4	1	3
センターの場所が遠い	3	1	2
センターの利用時間が合わない	2	0	2
センターの情報は不要	1	0	1
その他	6	2	4
未記入	37	12	25
合計	74	28	46

## 「センターのことを知らない」と回答したが、案内を受けた場合の登録の検討について

回答内訳	全体	任意団体	法人
検討する	8	2	6
どちらともいえない・わからない	5	3	2
検討しない	1	1	0
未記入	1	0	1
合計	15	6	9

**問27 センターに相談したい内容について（複数回答）**

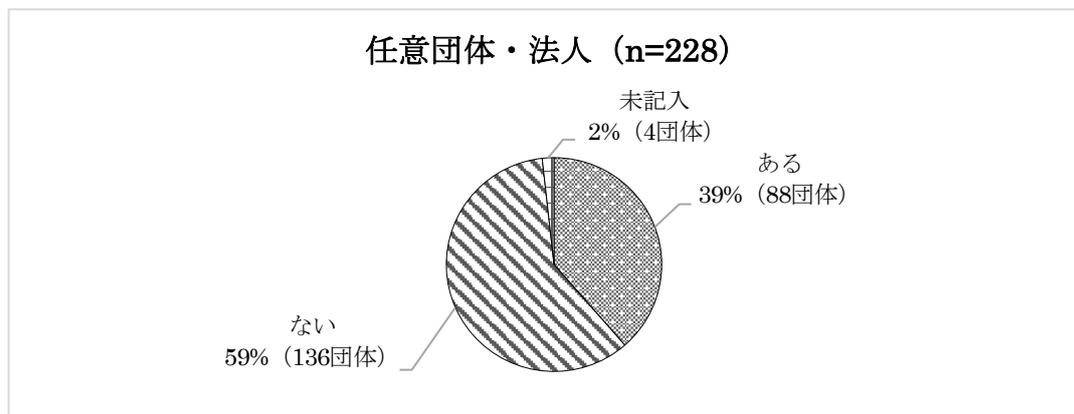


**問28 センターへのご意見・ご要望 ※主なものを掲載**

- ・ 丁寧な支援や情報提供を受け、とても助かっています。
- ・ コロナ禍でもサポートして頂き、感謝しています。
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をしっかりと実施しており、安心して利用できました。
- ・ 団体設立の際だけでなく、その後も継続支援して頂きました。
- ・ 設備の使用について、感謝しています
- ・ 50人収容可能な会議室を用意して欲しい。
- ・ 日曜日、月曜日、21時まで利用したい。
- ・ 今後オンラインセミナーを検討しているので、助言を頂きたい。
- ・ 専門性のある職員を配置して欲しい。
- ・ NPO活動やネットワークづくり等に詳しい職員を増やして欲しい。
- ・ 団体の紹介をして欲しい。
- ・ 足立区に必要な活動について、客観的な意見を頂きたい。
- ・ 障がいのある方でも利用しやすい施設にして欲しい。

## 【コロナ禍におけるWeb会議システム（以下、システム）の活用状況について】

## 問29 システムの活用について



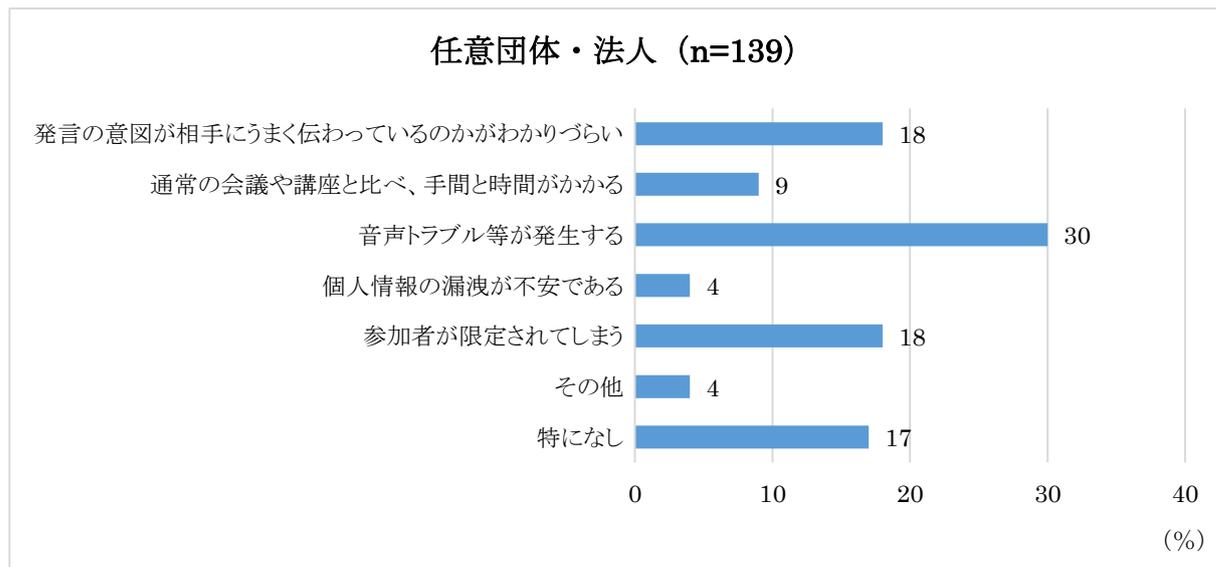
## 「ある」と回答した団体が活用しているシステム（複数回答）

活用しているシステム	全体	任意団体	法人
Z o o m	80	33	47
S k y p e	18	4	14
ハングアウト	11	7	4
W e b e x	8	3	5
T e a m s	7	1	6
その他	13	4	9
未記入	1	1	0
合 計	138	53	85

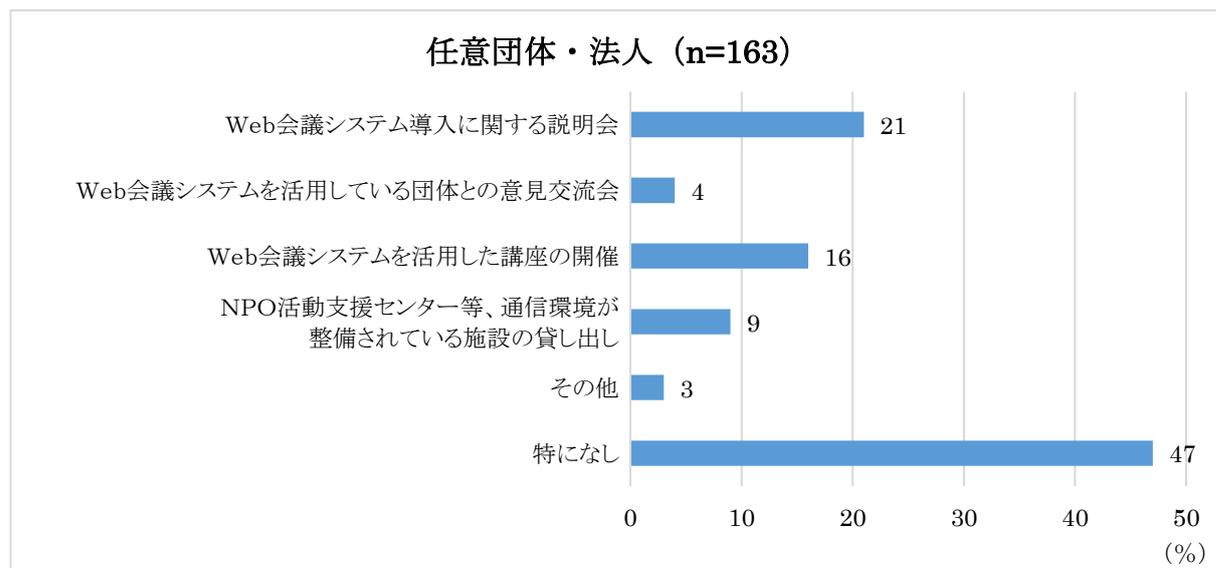
## 「ない」と回答した団体が活用していない理由（複数回答）

活用していない理由	全体	任意団体	法人
通信環境が整っていない	63	35	28
システムに精通しているメンバーがいない	57	29	28
必要性を感じない	50	34	16
活用方法がわからない	22	12	10
コストがかかる	14	8	6
その他	8	6	2
未記入	9	6	3
合 計	223	130	93

**問30 システムを活用している中での課題について（複数回答） ※活用団体のみ**

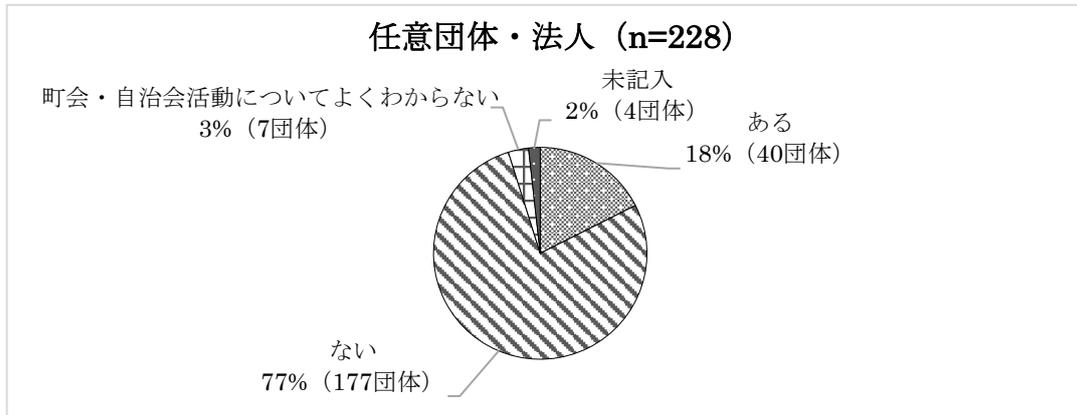


**問31 システムを活用するための支援について（複数回答） ※未活用団体のみ**

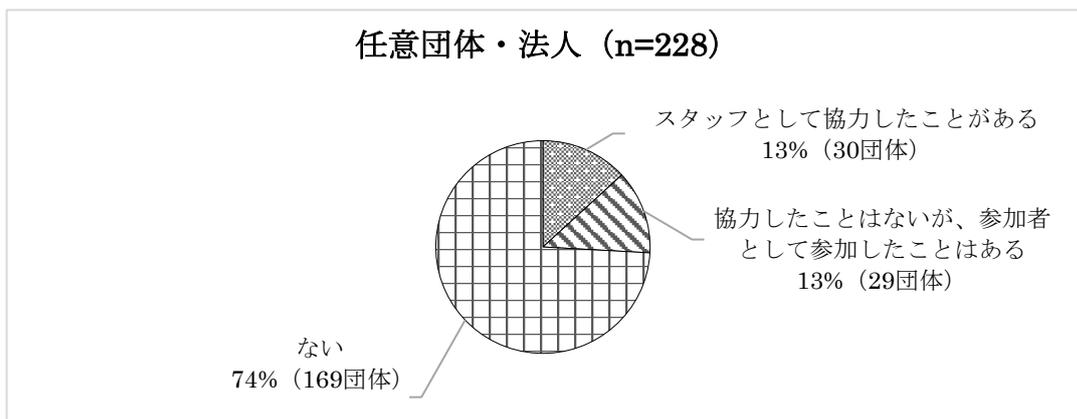


【町会・自治会との繋がりについて】

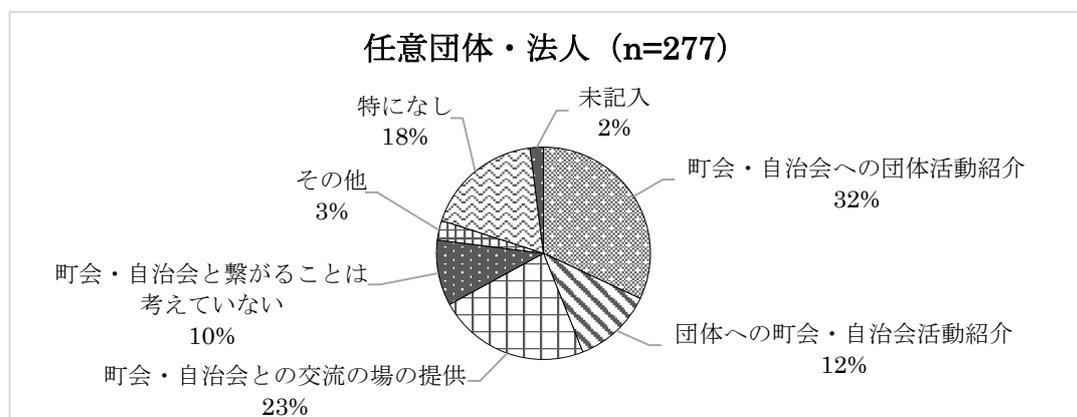
問32 町会・自治会との連携について



問33 町会・自治会の事業への協力・参加について



問34 町会・自治会と繋がるために必要な行政の支援について（複数回答）



## 令和2年度 NPO活動支援事業報告書

令和4年3月発行

発行 足立区

編集 足立区 政策経営部 あだち未来支援室  
協働・協創推進課 区民協働推進係

〒120-8510

足立区中央本町 1-17-1 (本庁舎南館9階)

電話 : 03-3880-5020

F A X : 03-3880-5610